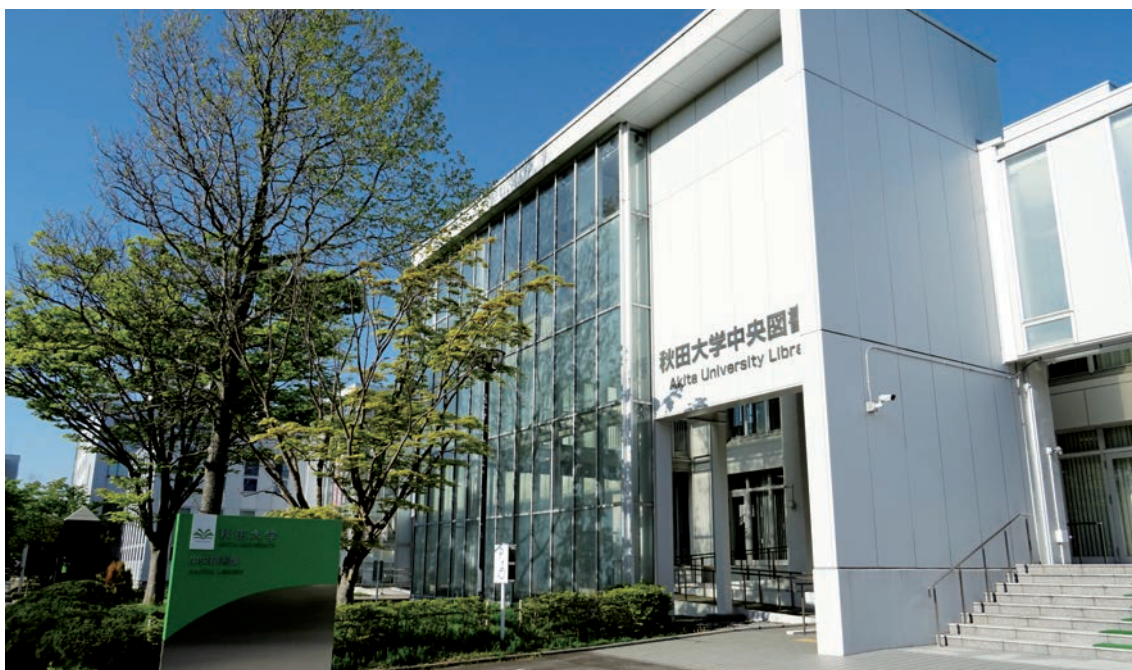


# 東北地区 大学図書館協議會誌

第 77 号  
令和 8 年 5 月



秋田大学附属図書館

寄稿 新設図書館からの報告：次世代の農林業ビジネスリーダーを育む東北農林専門職大学と附属図書館	1
山形大学医学部図書館の改修を経験して .....	7
第80回東北地区大学図書館協議会総会資料 .....	15
議事要旨 .....	76
基調講演資料 .....	80
第80回総会記念事業概要 .....	96
図書館統計年報 .....	99
東北地区大学図書館協議会総会当番地区・当番大学 .....	102
東北地区大学図書館協議会役員館一覧 .....	103
東北地区大学図書館協議会会則等 .....	104
東北地区大学図書館協議会加盟館名簿 .....	115

## 第80回東北地区大学図書館協議会総会



当番館 秋田大学 千代延俊図書館長挨拶



基調講演 大向一輝先生



全体総会



国立大学部会



公立大学部会



私立大学部会

寄 稿

新設図書館からの報告

## 次世代の農林業ビジネスリーダーを育む東北農林専門職大学と附属図書館

東北農林専門職大学 附属図書館長(当時)

藤本 登留

### 1. はじめに

山形県では令和6年4月に山形県立の東北農林専門職大学(以下、「本学」)を設立しました。本学は、当県の主要産業である農林業の担い手の減少や少子高齢化、農地の荒廃化といった農林業に関する課題に対応し、優れた技術力と経営力、国際競争力を備えた農林業のリーダーを育成する拠点として期待されています。今年度から東北地区大学図書館協議会に加盟した本学附属図書館は、学生の学修や高等教育、学術研究活動を支える重要な学術情報基盤としての役割を担っています。本稿では、本学とその附属図書館の概要をご紹介します。



写真1: 大学施設の外観

### 2. 大学の概要

専門職大学は2019年に創設された新しい大学制度<sup>1</sup>であり、特定の職業のプロフェッショナルを育成するために必要な知識・理論と実践的スキルの双方を身につけることができる、従来の大学に実践的教育

を取り入れたハイブリッド型の教育機関です。本学は、現場の先進的な経営や高度な技術を教材として活用し、経営感覚と現場感覚に優れ、理論に裏付けられた技術力と実践力を兼ね備えた農林業人材の育成を目指しています。また、農林業を中心とした関連産業の振興や価値創出に資する人材育成および研究開発を推進し、「東北創生」の拠点となることを目指しています。

学部・学科構成は、農林業経営学部にて農業経営学科と森林業経営学科の2学科を設置し、それぞれの入学定員は32名と8名の少数精鋭の教育を行っています。なお、専門職大学は学校教育法第一条に位置づけられており、農業経営学科卒業後には「農業学士(専門職)」、森林業経営学科卒業後には「森林業学士(専門職)」の学位が授与されます。

### 3. カリキュラムの特徴

本学では、農林業の生産や経営等に係る理論、実践を通じた技術、経営展開に資する分野(地域課題解決に係る演習)に加えて、新たな経営展開に資する関連分野における応用的能力を育成する展開科目を学ぶカリキュラムとなっています。農林業の基本となる生産や経営等に係る学修は、講義等の座学だけでなく、豊富な実習を通して実践的な知識や技術を学びます。

特に「専門職大学のカリキュラムの肝」と位置づけられているのが、優れた企業等での長期実習により現場の活きた知識と技術を学ぶ臨地実務実習です。本学の臨地実務実習は、山形県を中心とした東北6県の優れた農業経営体や森林業事業体の現場で、これらが有する生産技術および経営管理に関する実践的な知識、技術ならびに経営戦略等を、2年次から4年次まで毎年30日間ずつ3年間(合計90日間)にわたって段階的・継続的に学修するものです。

これまで、臨地実務実習の候補として350を超える経営体・事業体から賛同をいただいております。臨地実務実習は、学生が実習を通して知識や技術を学ぶだけでなく、実習先の農林業経営体にとっても、学生の新しい視点からの提案や、教員の研究で得られた知見などを活かし、農林業経営のさらなる発展につながることを期待されています(図1)。

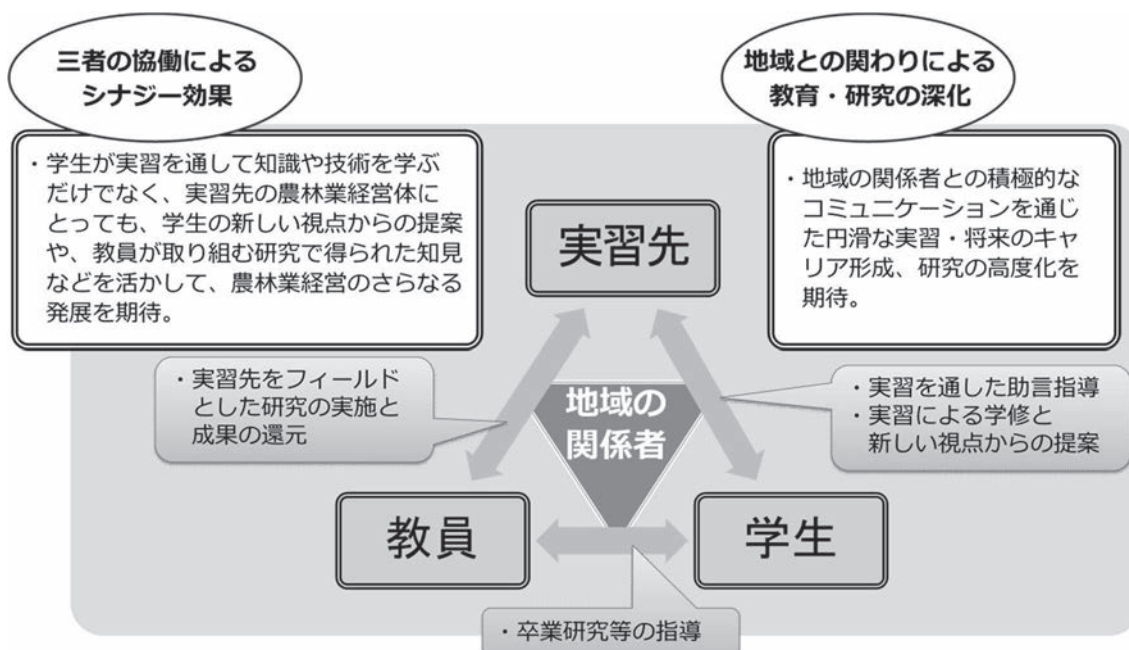


図1: 臨地実務実習を通じた相互連携と活性化イメージ

## 4. 教員体制と研究活動

専門職大学では、高度な職業人材を養成するため、理論に精通した研究者教員に加え、現場経験が豊富な実務家教員を配置することとされています。本学では1学年40名の定員に対して、研究者教員12名、実務家教員15名の合計27名が教壇に立っています。

本学は、農林業現場の顕在的・潜在的課題の解決を起点とした研究に取り組み、地域に還元することで農林業の成長産業化に貢献したいと考えています。4年生が取り組む卒業研究は、臨地実務実習先における技術的または経営的課題を解決するテーマを一つの方向性として位置づけており、これらを題材として教員陣の研究も進められるものと想定しています。

## 5. 図書館の概要

附属図書館は、大学校舎(写真1)手前の地上2階建て交流棟の2階に位置しています。書架と閲覧席のほか、レファレンスコーナー、視聴覚コーナー、閉架書庫、整理室を設け、延床面積は428.43㎡です。

蔵書収容能力は開架4万冊、閉架1万冊の合計5万冊です。開架には減震書架を採用し、閉架書庫には手動式の集密書架を備えています。開学時には農業、森林業、自然科学の書籍を中心に約1万冊を収蔵しました。今後も蔵書を順次充実させていく予定です。壁面にも棚を設置しており、図書館入口付近では参考図書を配架したレファレンスコーナーとして活用しています。

閲覧席数は36席で、圃場を望むガラス張りの窓に面してパーティション付きの机が配置されています(写真2)。雑誌架前にはソファ席も設けています。



写真2: 館内の様子

## 6. 資料・設備

2025年9月末現在、図書蔵書数は約12,000冊(和書約11,000冊、洋書約1,000冊)で、ほとんどの資料が開架で自由に利用できます。開学2年目の現在、書架の収容率は全体の約5分の1であるため両面棚の片面のみを使用しており、木製ブックスタンドを用いた面出しや木製ブックエンドを活用した書架整理により、少ない蔵書数でも充実した印象となるよう工夫しています。

資料の収集にあたっては、農林業の専門図書館として、生産理論・技術に関する図書、農林業経営者としての素養を高めるための経営理論に関する図書、農業・森林業と密接に関連する他分野の図書、大学で開講している分野(デザイン論、金融論、発酵学、醸造学、建築学、社会福祉論、栄養学、観光学など)の図書、東北地域の風土に関連する資料を中心に収集しています。全体の半数以上を農林業関係の図書が占めています。

専門書はもちろん、家庭菜園などの一般書から、子どもから大人まで楽しめる絵本まで幅広く収集しており、地域住民にも多く利用されています。選書は司書のほか、各専門の教員にも協力を依頼し、専門性の高い蔵書構築を進めています。学生からのリクエストも受け付けており、教養のための文芸書、資格取得のための参考書、就農・就職対策関連資料なども要望に応じて充実させています。新着資料は新着図書コーナーに一定期間配架しています(写真3)。

電子書籍は約2,200冊(和書約1,200冊、洋書約1,000冊)を閲覧できます。国際競争力人材の育成のため、英語多読図書を特に充実させており、洋書の大部分を多読用資料が占めています。学外実習が多い本学の特徴に合わせ、来館せずとも閲覧可能な電子書籍を整備し、実習先でも英語学習が進められる環境を整えています。和書では専門書、図鑑、辞書など調べ物に使える資料も電子化されており、大型資料や禁帯出資料でも電子で閲覧可能です。

図書館入口付近には英語学習、キャリア支援、参考書、展示、新着図書の各コーナーを設けています。英語学習コーナーでは冊子体の英語関連図書を集め、英語多読棚には電子書籍アクセス用のQRコードを設置し、冊子・電子いずれの情報も得られるようにしています(写真4)。

キャリア支援コーナーには働き方やキャリアデザインに関する図書を配架しています。参考書コーナーにはシラバス掲載参考書、高校教科書、検定問題集を集めています。

展示コーナーでは年4回ほどテーマ展示を行っており、一人暮らしを支援する展示、レポート作成支援展示、地域理解のための歴史書・写真集展示などを実施しました。

レファレンスコーナーには辞書、事典、統計資料、地図など調査に用いる参考資料が並んでいます(写真5)。特にゼンリン地図は実習先の下調べとして活用されています。図書館カウンター近くにはコイン式コピー機が1台設置され、禁帯出資料を含む複写に利用されています。

雑誌は、農業、森林業、畜産、経営などの専門雑誌のほか一般誌を含め、2025年5月現在約70種類購読しています(写真6)。洋雑誌はほとんどを電子



写真3: 新着図書コーナー



写真4: 英語学習コーナー



写真5: 参考資料コーナー



写真6: 雑誌架

ジャーナルで契約しており、雑誌架には電子ジャーナルの情報と QR コードを掲示し、電子資料も同時に確認できるようにしています。近くには県や地域の広報誌なども配置し、地域情報にも触れられる環境を整えています。

新聞は 8 紙(山形新聞、朝日新聞、産経新聞、読売新聞、日本経済新聞、毎日新聞、日本農業新聞、The Japan Times Alpha)を購読しています。当日の新聞と約 1 か月分のバックナンバーを開架で自由に閲覧できます。大学・学生が取り上げられた記事は、廃棄前に切り抜き保管しています。

視聴覚コーナーには農業関連の映像資料があり、そのそばに CD・DVD を再生できる AV 視聴席が 2 席あります。

カウンター前には OPAC 専用端末を 1 台設置し、蔵書検索、電子書籍、データベースへのアクセスに利用できます(写真7)。本学では農業情報データベースや新聞記事データベースなどを契約しています。OPAC は学外からも利用でき、山形県立図書館の横断検索からも当館資料にアクセスできます。開館カレンダーや新着情報、展示情報等も閲覧できます。



写真 7: OPAC 端末

## 7. サービス

開館時間は平日 9:00～19:00、土曜 9:00～16:00、休業期平日は 9:00～17:00 です。休館日は日曜・祝日、年末年始、毎月末です。入学試験や大学行事により開館時間の変更や臨時休館を行う場合があります。当附属図書館は本学および附属農林大学の学生・教職員を主な奉仕対象としていますが、地域住民も利用できます。利用者登録を行うことで貸出サービス(貸出冊数 3 冊、貸出期間 2 週間)を受けられます。視聴覚資料、雑誌、参考資料などの貸出は行っていません。入口には返却ポストを設置しており(写真8)、開館時間外でも返却が可能です。利用案内は本学ホームページ<sup>2</sup>または附属図書館 OPAC で確認できます。



写真 8: 図書館入口外観

## 8. その他

大講義室と食堂の壁面に使用された東京 2020 オリンピック・パラリンピックのレガシー材の端材を再利用して製作した木製ブックスタンドや木製ブックエンドを各書架に設置していることが、当館の特色の

一つです(写真9)。同じ素材で作られたライブラリーカレンダー(返却日カレンダー)や分類サインなど、さまざまな図書館用品も手作りの木製加工品となっています。図書館入口にはレーザープリンターで作製した木製の看板と開館プレートがあります。図書館カウンターには木の葉の見本を展示しており、これらはオープンキャンパスや大学イベントで配布されたものです。

また、広報として図書館通信を作成しており、OPAC 上でも公開しています。



写真9: 木材加工品(ブックスタンド、ブックエンド)

## 9. おわりに

本学附属図書館は、農林業を中心とした専門的資料の収集・提供を通じて、学生や教職員の学修・研究活動を支援するとともに、地域社会との連携を深める役割も担っています。今後も蔵書の充実やサービスの向上に努め、農林業分野の人材育成と地域振興に貢献できる図書館を目指してまいります。

(原稿受領 2026.2.27)

---

1 専門職大学等の概要・特色 文部科学省. [https://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/senmon/1387235.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/senmon/1387235.htm), (参照 2026-02-27).

2 附属図書館 - 東北農林専門職大学. <https://tpuaf.ac.jp/university/library/>, (参照 2026-02-27).

寄稿

## 山形大学医学部図書館の改修を経験して

山形大学飯田キャンパス事務部学務課図書担当  
赤塚 美保

### 1. はじめに

山形大学医学部図書館<sup>1</sup>(以下、当館)は、山形大学(以下、本学)飯田キャンパスに立地する蔵書数約 9.3 万冊(改修前の令和 3 年度末時点)の小規模な図書館である。本学医学部学生・教職員、附属病院職員約 2,800 名を主な利用者とし、あわせて当館の資料を必要とする地域の方にも広く公開している。

昭和 53 年 4 月に開館し、令和 5 年が医学部創設 50 周年に当たるのを機に全面改修を行ったので、その経緯をここでご紹介したい。改修にあたっては、全体的な計画とコンセプト等がおよそできたタイミングで担当者が異動となり、筆者はその後を引き継いでなんとかリニューアルオープンにこぎ着けたというのが正直なところである。以下は、前任者からの聞き取りも交え、小規模館なりの改修・移転の事例として、今後引っ越しを経験されるかもしれない他館の方に、いくらかでも参考になればと記したものである。



写真 1: 改修後の医学部図書館。奥に YU-MAI センターが連結している。

## 2. 旧図書館と図書館改修構想

当館が開館したのは医学部創設から 5 年後の昭和 53 年だが(当初の名称は、山形大学附属図書館医学部分館)、徐々に書架スペースの余裕がなくなり、開館から 15 年後の平成 5 年には、既に書架の狭隘化は「抜本的には図書館の増築を図らなければ解決できない<sup>2</sup>」と言われる状態になっていた。

改修直前の令和 5 年時点では、1 階に和洋図書・欧文雑誌(～1984 年)・ハードカバー欧文雑誌・和文雑誌(～1982 年)・統計資料等、中 2 階に和文雑誌(1983 年～)、2 階に欧文雑誌(1985 年～2014 年/2015 年～)・視聴覚資料等が配架されていた。しかし中 2 階の和文雑誌の書架はまったく余裕がなく、1 階にも仮置きしている状態であったし、2 階の欧文雑誌は壁面に可能な限り書架を増設しても足りず、カラーボックスなども活用して何とか収めている状態であった。また、トイレ等の水回りも老朽化が進み、早急な対応が必要であった。

改修の要望は何度か出していたものの、なかなか進まないままだったが、令和 3 年度に 4 階建ての YU-MAI センター(Yamagata University faculty of Medicine Advanced Innovation Center)の新設とあわせて図書館の改修が決定され、今回の改修計画が動き出すことになった。

## 3. 新図書館のコンセプト

改修にあたっては、最大の課題であった書架の狭隘化の解消が期待された。しかし、「新築」「増築」でなく「改修」という時点で半ば予想していたとおり、改修計画が進むにつれてやはり書庫の増設などは不可能なことがわかってきた。それどころか、図書館と連結することになった YU-MAI センターは、医学科の OSCE(客観的臨床能力試験)に使用できる個室やシミュレーターなどを備え、学生センターや大学生協・フードコートなどの厚生施設も含まれるため、図書館のスペースは実質的に削減されることがわかった。

ここに至って、図書館として資料保存機能を維持するのは難しく、利用者にとってより快適な学習・研究空間づくりを優先させるほうに方向転換せざるを得なかった。当館では欧文雑誌はすべて電子版に切り替えていたこともあり、紙媒体での保存を縮小する方向になったのである。ただし、これがそう上手くはいかなかったことも、間もなく明らかになるのだが…

ともあれ、これを基本方針として、快適な学習スペースを作るべく閲覧室を構想していった。2 階に新設する書架は高さを抑えて圧迫感を減らし、閲覧席では他大学の事例も参考に、円型に配置したキャレルデスクや半個室ブース、L 字型デスクなどを設置し、窓際にはカウンタータイプの机を置くことにした。すべての机にコンセントを 2 つずつ設置することで個人のノート PC やタブレット端末で長時間学習するにも利便性が向上することが期待された。

なお、ラーニングcommons機能は、図書館を出てすぐのオープンスペースエリアに設定されているため、図書館は原則として個人スペースとして活用するという住み分けがなされている。

## 4. 図書館資料の除籍

上記のとおり、書架スペースも削減されることになったので、大規模な資料の除籍が必要になり、急いで選定を進めた。図書館運営委員会での検討を経て、除籍対象は、おおむね 1990 年以前に受入した和洋図書と、1984 年以前発行、または電子ジャーナルで利用可能であるか比較的 ILL が容易と判断した欧文雑誌等で、最終的には、蔵書の半分の 5 万冊程度まで減らすことが必要になった。除籍前に、医学部各講座への所在変更の希望があれば対応することにしたが、実際はほとんど希望がなかった。

次項とも関連するが、仮移転先への搬出前に除籍を進めておかないと、資料の搬送・保存のコストが余分にかかることになる。リニューアル後の再配架計画はある程度立てていたものの、まだ未確定の部分も多く、特に雑誌に関しては、どの程度残せるか、すなわちどこまで捨てなければいけないかが手探りの状態で、電子版の利用可否や他大学の所蔵状況を確認しながら、移転スケジュールに追われながら作業を進めることになってしまった。

除籍資料の選定に悩むと同時に、実際の廃棄作業は体力勝負というほかに、図書館外からの応援もいただきながら、猛暑の中で資料をトラックに積み込む作業を、ひたすら行ったのだった。

加えてまったく予期していなかったのが、この年、学部独自で購読している海外電子ジャーナルの大幅削減も同時並行して行うことになったことである。結果的にタイトル数で半減以下、契約額にして 2,500 万円減となったのだが、このことで、除籍作業時には電子版が利用できるはず、という見込みで廃棄したが、その後電子では読めなくなった、という事態も、少数ではあるが発生してしまった。これは、除籍か電子ジャーナルの見直しか、どちらかのタイミングをずらせるものならずらしたかったのだが、図書館側ではどうすることもできず、悔いが残る結果となってしまった。

## 5. 資料の仮移転

改修期間中の資料の保管場所として候補に挙がっていたのは、キャンパス内で 3 か所あった。基礎研究棟 1 階のフリースペース(95 m<sup>2</sup>)は、図書館とはやや離れているものの、トラックでの搬送も容易で空調等の環境面でも問題なさそうであった。ほかは、現在は使っていない重粒子線がん治療装置研究棟の空きスペースと職員宿舍の空き室で、どちらも図書館から離れているうえに、実験装置の隙間やアパートの部屋に段ボール箱を積み上げることになり、搬出入や資料の管理に相当苦労しそうなことは明らかだった。このため、仮移転先は、できれば基礎研究棟フリースペース 1 か所に収めたいのだが、問題はそれが可能かどうかである。

当初、改修工事前には館内のすべての資料を搬出することになっていた。だがその後、施設担当者との調整により、1 階・中 2 階の積層書架については天井・柱付近の一部を除き、資料を配架したままでもシートで養生して対応してもらえることになった。養生するとは言っても粉塵などは心配ではあったが、なにぶん仮移転先のスペースが限られているため、これは大変ありがたいことだった。このおかげで、移転先は希望どおり基礎研究棟の 1 か所のみ収めることができ、保管中の資料の管理も容易になったと考えている。

なお、後日重粒子線がん治療装置研究棟は、キャレデスクや椅子等、什器の仮置き場として

使用させていただいた。

## 6. 仮設図書館への移転・運用

改修工事とその前後の移転作業で図書館が利用できない期間は、令和5年10月から令和6年11月頃までを予定していた。この期間の資料利用に対応するために、最低限の機能をもつ仮設図書館を設置することになった。場所は、取り壊しが決定していた学生会館の集会室である。ここに学生用図書約2万冊と利用頻度が高い雑誌を搬入し、令和6年1月中旬から9月末まで運営することになった。

なにぶんにも取り壊し予定の老朽化した建物のため、冷暖房の効きや水回り、工事による騒音・臭い(?)など、あまり快適な環境とは言えなかったが、取り壊し前提のためどのように使ってもよい、と言われたのはありがたかった。大集会室(225 m<sup>2</sup>)を閲覧室とし、隣接する小集会室等を事務室や一部資料の保管場所として利用することにした。当然のように仮設図書館のための予算措置などはなく、書架もないため、旧図書館の廃棄予定のスチール書架を解体して大集会室に組み立て直し、カウンターデスクやラック等も旧図書館のものを再利用することで、なんとか仮設図書館の体裁を整えた。

閲覧席としては新聞閲覧や資料確認用の2席があるのみで、電子ジャーナル閲覧用の端末等は辛うじて設置できたものの、限られたスペース・資料で開館時間も短縮しての運用となった。

ここには、学生用図書と雑誌の一部など、最小限の資料のみを配架したため、それ以外の利用希望については、他大学に複写依頼をする、と割り切らざるを得なかったが、レポートや試験前を中心に一定数利用していただき、役割を果たすことができたのは幸이었다。



写真 2: 仮設図書館に移設した書架

## 7. 再度の移転とリニューアルオープン

令和6年9月末には YU-MAI センター新築と図書館の改修が成り、再び移転作業を行うことになった。

新図書館では、電動集密書架を手動に改修して再配置するほか、2階部分の書架と全体の机・椅子等の什器類を更新することになっていた。当初のコンセプトにしたがい、多様な学習スタイルに対応したものを選定したが、ここでも予算が壁となり選択肢は限られていった。代わりに、YU-MAI センターの新築にともなって不要となった学部会議室の椅子等を図書館で再利用させていただくことにしたが、幸い窓際のカウンター席の落ち着いた雰囲気によく合い、結果的にはよかったと思っている。

同時に進めたのが、新図書館での運用ルールの見直しである。前述したように、蔵書を多数除籍したことに合わせて、それまでの貸出ルールの見直しを行った。これまで同じ書架でも受入年等により所在表示や貸出期間が異なるものが混在しており、しばしば利用者の混乱を招いていたので、所在と貸出期間を整理して簡略化することにした。これにより、利用者の利便性だけでなく、管理上の煩雑さも大幅に軽減された。

また、従来から無人開館として、本学部の学生・教職員は、申請により通常の開館時間外に 24 時まで座席等の利用を可能としていたが、これを、学生にも貸与されているキャンパス内共通のセキュリティカードに図書館入館権限をあらかじめ付与することで、申請不要で利用可能にした。



写真 3: 1 階閲覧席



写真 4: 2 階閲覧席

そのほか、予想外に大変だったのが、図書館システム上のデータ修正やホームページの修正であった。例えば、貸出ルールの変更による条件設定の変更、除籍図書のデータ処理などである。特に後者では、この改修による除籍図書がおよそ 5 万件あり、ローカルシステム上での処理は都度行っていたものの、NACSIS-CAT 上の処理はまったく追いついていなかった。のちに一括処理するつもりでいたが、実際にベンダーに作業を依頼したところ、一部の過去データでは資料 ID が変換されているなどして除籍データと削除すべき所蔵データの紐づけができず、処理漏れが相当数発生することが判明した。これら 4,000 件ほどのデータは、地道に確認しつつ手修正するほかなく、令和 8 年 2 月時点でようやく目途がついたところである。

このように、什器の設置や資料の再配架、運用面の見直しなどの準備を経て、令和 6 年 12 月 6 日に、YU-MAI センター開所記念式典が挙行され、図書館もリニューアルオープンを迎えることができたのだった。

## 8. 改修を終えて

今回の改修により、当館の面積は 1,195 m<sup>2</sup>から 963 m<sup>2</sup>に縮小し、蔵書数もおおよそ 9.3 万冊から 4.5 万冊に減少した。閲覧席は 101 席から 96 席に減少したが、利用する学生からは、「タブレット端末・ノート PC と教科書を広げても余裕がある机の広さで、仕切りがあるので周りを気にしないで集中して勉強できる」「長時間滞在するのに、タブレットを充電できるのが助かる」「カウンター席では外の景色を見られて気分転換になる」といった意見が聞かれ、閲覧席についてはほぼこちらの期待どおりに活用いただいているようである。

当館では、個人スペースを充実させて、学習・研究に集中できる閲覧席の構築を優先する方針を選択した。一方で、中 2 階の和文雑誌など手つかずのまま残った部分もあり、狭隘化がすべて解消したわけではない。この点は引き続き電子化の促進などで対応が望まれるが、図書館の予算規模が縮小される現状では、除籍の際にも述べたように、電子ジャーナル等の永続的なアーカイブも保証されているとは言い難く、悩ましいところである。

改修は終わったものの考えることはまだまだ多く、今後も図書館のあり方や利用者の動向によって、常に新たな課題は発生する。改修という大きな手段だけでなく、日ごろの業務の中でもよりよい図書館に、利用者に必要とされる図書館であり続けるために努めていきたいと考えている。

# 館内案内図

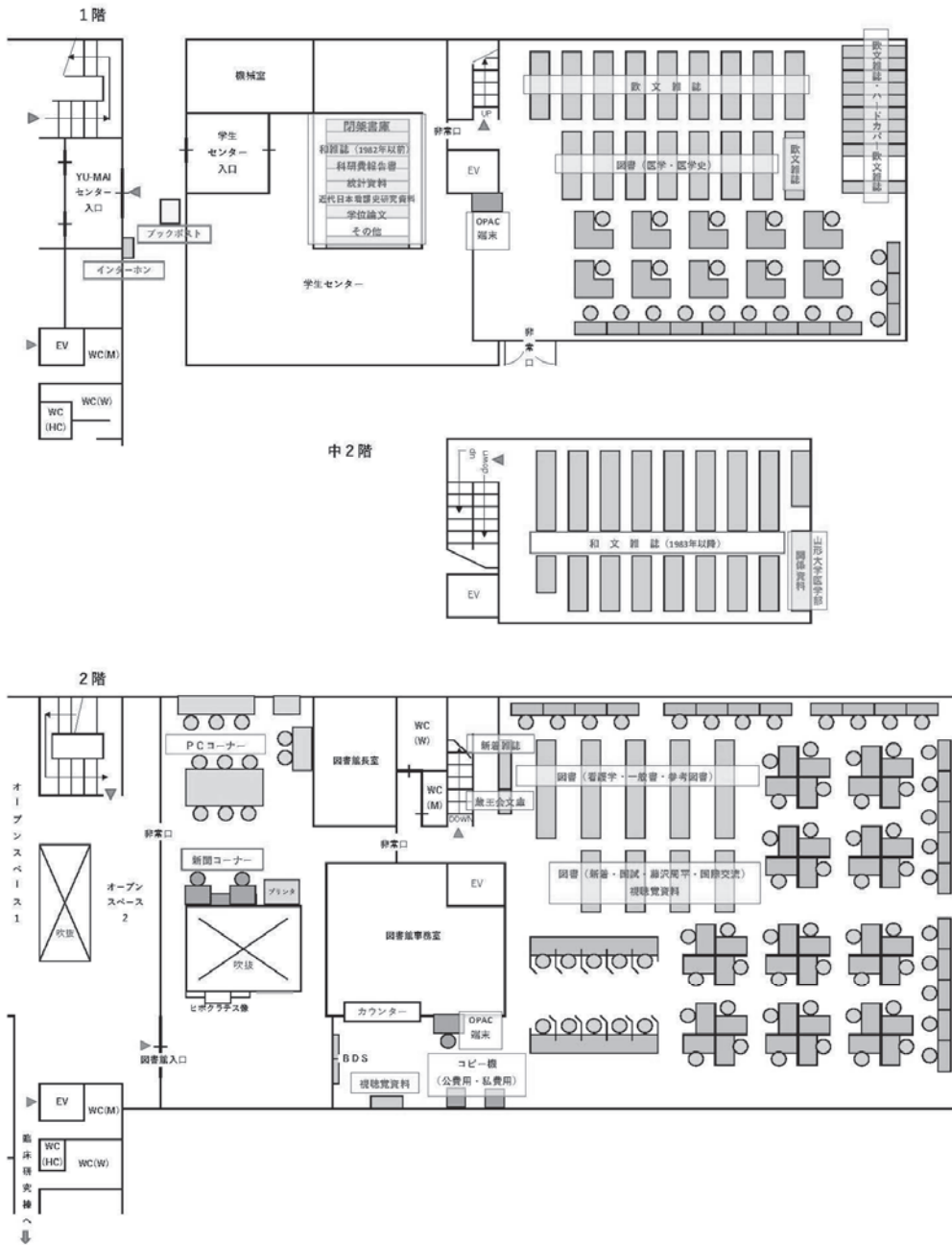


図 1: 改修後の館内案内図

---

<sup>1</sup> 山形大学附属図書館医学部図書館ウェブサイト. URL <https://klibs1.kj.yamagata-u.ac.jp/drupal/yktop>, (参照 2026-03-31)

<sup>2</sup> 小笠原要蔵. “Ⅶ 附属図書館医学部分館”. 山形大学医学部創設二十周年記念誌. 山形大学医学部創設二十周年記念誌編集委員会. 山形, 山形大学医学部創設二十周年記念会, 1993, p.115.

# 第80回

## 東北地区大学図書館協議会 総会

期 日:令和7(2025)年9月26日(金)

会場等:秋田大学手形キャンパス60周年記念ホール

当番館:秋田大学附属図書館

## 第80回東北地区大学図書館協議会総会 資料目次

●第80回東北地区大学図書館協議会総会 議事次第	1
●第80回東北地区大学図書館協議会総会 出席予定者名簿	3

### I. 総会資料

#### 1. 報告事項

【資料1】 令和6年度活動報告	4
【資料2-1】 令和6年度一般報告:国公立大学図書館等の動向	5
【資料2-2】 (一般報告)国立大学部会関係	13
【資料2-3】 (一般報告)公立大学部会関係	18
【資料2-4】 (一般報告)私立大学部会関係	20
【資料3】 令和6年度研修部会活動報告	23
【資料4】 第80回記念事業について	30

#### 2. 協議事項

【資料5】 新規加盟の申請について	33
【資料6】 令和6年度決算書(案)	34
【資料7】 令和6年度記念事業基金決算書(案)	35
【資料8】 令和6年度会計監査報告	36
【資料9】 令和7年度事業計画(案)	37
【資料10】 令和7年度予算書(案)／令和7年度記念事業基金予算書(案)	39
【資料11】 第81回総会の当番地区(館)について	40
【資料12】 役員館の選出について	41
【資料13】 研修部会委員の改選について	42

#### 3. 承合事項

【資料14】 参考調査カウンターでの現金収納について	43
----------------------------	----

### II. 参考資料

【参考資料1】 東北地区大学図書館協議会会則	51
【参考資料2】 東北地区大学図書館協議会表彰規程	52
【参考資料3】 東北地区大学図書館協議会表彰規程取扱要項	53
【参考資料4】 東北地区大学図書館協議会研修部会設置要項	54
【参考資料5】 第79回東北地区大学図書館協議会総会議事録	55
【参考資料6】 第80回東北地区大学図書館協議会総会開催通知	58

## 第80回東北地区大学図書館協議会総会 議事次第

### 1. 開会

挨拶

秋田大学附属図書館(当番館) 図書館長 千代延 俊

### 2. 基調講演

東京大学 大学院人文社会系研究科 准教授 大向 一輝 氏

「 AIと大学図書館:「ことば」を扱うシステムの内実と可能性 」

### 3. 議長選出

### 4. 総会

#### 4-1. 報告事項

- ①令和6年度活動報告について
- ②令和6年度一般報告について  
(一般報告)国立大学部会関係  
(一般報告)公立大学部会関係  
(一般報告)私立大学部会関係
- ③令和6年度研修部会活動報告について
- ④第80回総会記念事業について

#### 4-2. 協議事項

- ①新規加盟の申請について
- ②令和6年度決算報告(案)について
- ③令和6年度記念事業基金決算報告(案)について
- ④令和6年度会計監査報告について
- ⑤令和7年度事業計画(案)について
- ⑥令和7年度予算(案)について
- ⑦令和7年度記念事業基金予算(案)について
- ⑧第81回総会の当番地区(館)について
- ⑨役員館の選出について
- ⑩研修部会委員の改選について

#### 4-3. 承合事項

参考調査カウンターでの現金収納について (提出:弘前大学)

## 5. 部会

## 6. 全体会議

6-1. 各部会からの報告

6-2. その他

## 7. 閉会

挨拶 次期当番館

## 第80回東北地区大学図書館協議会総会 出席者名簿

※参加 29大学 41名(国立13,公立10,私立18),東北農林専門職大学(加盟申請中 2名)

No	大学・図書館名	役職	氏名	懇親会
1	弘前大学附属図書館	附属図書館長	羽瀨 一代	○
2	岩手大学図書館	図書館長	小林 宏一郎	○
		学術情報課長	高橋 和恵	○
3	東北大学附属図書館	総務課長	吉田 幸苗	○
8	宮城教育大学附属図書館	図書館長	岡 正明	×
		学術情報課長	大沼 忠弘	×
9	秋田大学附属図書館	附属図書館長	千代延 俊	○
		図書館・情報推進課長	利 勝利	○
		図書館・情報推進課総括主査	杉山 禎広	○
11	山形大学附属図書館	中央図書館長	池田 光則	○
		研究情報部長	庄司 三輝	○
15	福島大学附属図書館	館長	菊地 芳朗	○
		学術情報課(附属図書館)副課長	門間 泰子	×
16	青森公立大学図書館	主事	村木 侑香	×
		嘱託職員	佐藤 夏美	×
18	岩手県立大学メディアセンター	主任図書事務員	遠藤 夏奈子	×
19	宮城大学学術情報センター	学術情報センター長	茅原 拓朗	○
20	秋田県立大学附属図書館	チームリーダー	荻原 正幸	×
21	秋田公立美術大学附属図書館	主席主査	池田 知剛	×
22	国際教養大学 中嶋記念図書館	学修支援室長	須田 幸子	○
			今野 志穂子	×
24	山形県公立大学法人附属図書館	図書館管理係長	角屋 聡美	×
26	会津大学短期大学部附属図書館	附属図書館長	漆谷 博志	×
30	八戸工業大学図書館	図書館長	鈴木 寛	×
		事務長	谷津 昌樹	×
32	青森中央学院大学・青森中央短期大学図書館情報センター	リーダー	鳴海 晴美	×
33	岩手医科大学附属図書館	図書館事務室事務員	小原 恵太	×
35	盛岡大学図書館	事務室長	福島 夏代	×
38	仙台白百合女子大学図書館	図書館長	大本 泉	○
		主任	谷藤 大介	○
40	東北学院大学中央図書館	図書部長兼図書情報課長	渡邊 義春	○
42	東北福祉大学図書館	図書館長	生田目 学文	×
43	東北文化学園大学総合情報センター図書館	図書館情報事務室課長	松浦 宝志	×
46	尚絅学院大学	図書館長	太田 健児	○
		教育研究支援課長	佐々木 真也	×
47	聖和学園短期大学図書館	図書館長	関根 俊二	×
54	東北公益文科大学図書館	図書館長	西村 まどか	×
		図書館事務室長	齋藤 富実子	×
56	奥羽大学図書館	図書館長	小林 初夫	○
59	日本大学図書館工学部分館	図書館事務課課長補佐	安食 貞則	×
61	福島学院大学図書館情報センター	業務課主任	善方 和美	×
・	東北農林専門職大学附属図書館	図書館長	藤本 登留	×
・	東北農林専門職大学附属図書館	企画主査	小野 昌紀	×

2025.9.17

## 令和6年度活動報告

(常任幹事館:東北大学附属図書館)

第79回(令和6年9月)以降の協議会の活動について、以下の通り報告する。

### 1.研修会の開催

1-1) 2025年東北地区大学図書館協議会フレッシュパーソンセミナー

主催：東北地区大学図書館協議会・東北地区大学図書館協議会研修部会

日時：2025年7月17日(木)10時～17時30分

会場：東北大学附属図書館(本館)大会議室

講義は対面+Web会議ツールによるオンライン配信

グループワークは対面のみ

内容：詳細は、【資料3】研修部会活動報告を参照

1-2) 令和6年度東北地区大学図書館協議会合同研修会

日時：2025年8月7日(木)13時50分～16時10分

会場：オンラインセミナー(Zoom ウェビナー)

主催：福島大学附属図書館

テーマ：デジタルアーカイブの実現に向けて

講師：南波佐間 望(国立国会図書館関西館職員)

「デジタルアーカイブ実現に向けての取り組み ―権利関係処理を中心に」

柳原 幸子(東北大学附属図書館情報サービス課専門職員)

「東北大学:電子図書館からデジタルアーカイブへ」

山下 日向子(国文学研究資料館管理部学術情報課基盤データ企画係)

「日本古典籍のデジタルアーカイブ構築と国内外の所蔵機関との連携 ―国文学研究資料館の取り組み」

参加者：申込数72名(アクセスユーザ数66件)

※ 当日資料はウェブサイト掲載

[https://www.library.tohoku.ac.jp/tohokuchiku/kensyu\\_godo.html](https://www.library.tohoku.ac.jp/tohokuchiku/kensyu_godo.html)

### 2.協議会誌の刊行

『東北地区大学図書館協議会誌』第76号刊行(2025年5月)

加盟館及び国立国会図書館等関係機関に配布、並びに、ウェブサイトで公開

<https://www.library.tohoku.ac.jp/tohokuchiku/kaishi.html>

### 3.加盟館数

61館(内訳) 国立15館、公立12館、私立34館 (令和7年5月現在)

### 4.その他

第80回総会記念事業について実施に向けた協議を行った。

## 令和6年度一般報告:国公立大学図書館等の動向

(常任幹事館:東北大学附属図書館)

## 1. 国公立大学図書館協力委員会

<https://julib.jp/>

- 1) 委員長館 2024年8月1日～2025年7月31日 筑波大学  
2025年8月1日～2026年7月31日 慶應義塾大学
- 2) 会議
  - (1) 第96回国公立大学図書館協力委員会  
日時 2024年7月24日(水)  
会場 オンラインによる開催  
主な話題 「大学図書館研究」編集委員会報告、専門委員会会計監査報告、専門委員会主査選出、専門委員会の開催に関する旅費支給の運用、次期委員長館選出、国立国会図書館との懇談についての提案(懇談事項)、「早慶和書電子化推進コンソーシアム」の活動について(懇談事項)、文部科学省報告
  - (2) 第97回国公立大学図書館協力委員会  
日時 2024年12月11日(水)  
会場 オンラインによる開催  
主な話題 「大学図書館研究」編集委員会報告、オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR)報告、公立大学協会図書館協議会報告、2023年度決算(案)および監査報告、2024年度予算、監事館選出、文部科学省報告
- 3) 大学図書館シンポジウム  
テーマ 2030「デジタル・ライブラリー」の実現に向けた取り組み  
日時 2024年12月10日(火) 13:30～16:00  
会場 オンライン配信  
運営 日本図書館協会大学図書館部会と共催  
※ 当日資料および録画 → [https://julib.jp/symposium\\_2024](https://julib.jp/symposium_2024)
- 4) 出版  
「大学図書館研究」(オープンアクセス) No.127-129 発行  
<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jcul/-char/ja/>

## 2. 日本図書館協会大学図書館部会

<https://www.jla.or.jp/divisions/daigaku/tabid/269/Default.aspx>

- 1) 部会長館 2024年8月1日～2025年7月31日 筑波大学  
2025年8月1日～2026年7月31日 慶應義塾大学
- 2) 会議等
  - (1) 2024年度部会総会  
日時 2024年5月23日(木)～5月31日(金)  
会場 書面決議会議  
主な議題 事業報告および経費収支報告、事業計画・予算調書、一般理事候補者推薦
- 3) 事業
  - (1) 第110回全国図書館大会長崎大会への協力  
日時 2024年11月30日(土)～12月1日(日)  
会場 全体会 長崎県庁会議室  
分科会 長崎大学附属図書館中央図書館  
テーマ 第2分科会「学生のための大学図書館へ！ ～なんでも話そうチャンポン・ワークショップ～」
  - (2) 2023年度大学図書館シンポジウム(大学図書館研究集会)  
テーマ 2030「デジタル・ライブラリー」の実現に向けた取り組み  
日時 2024年12月10日(火) 13:30～16:00(オンラインによる開催)  
運営 国公立大学図書館協力委員会と共催

## 3. 大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議

<https://contents.nii.ac.jp/cpc>

- 1) 第28回大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議  
日時 2024年7月11日(木)  
会場 オンラインによる開催  
主な話題 大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE)活動報告、これからの学術情報システム構築検討委員会活動報告、オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR)活動報告、国立情報学研究所学術コンテンツ事業報告、国公立大学図書館協力委員会動向報告、
- 2) 第29回大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議  
日時 2025年2月12日(水)  
会場 オンラインによる開催  
主な話題 これからの学術情報システム構築検討委員会活動報告・審議、大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE)活動報告・審議、オープンアクセスリポジトリ

り推進協会(JPCOAR)活動報告、国立情報学研究所学術コンテンツ事業報告、国公私立大学図書館協力委員会動向報告

#### 4. これからの学術情報システム構築検討委員会

<https://contents.nii.ac.jp/korekara>

##### 1) 会議

###### (1) 第 41 回委員会

日 時 2024年10月23日(水)

場 所 オンライン会議 WebEx

主な話題 図書館システムガイドラインの公開(審議)、電子リソースデータ共有サービスの名称(討議)、NCR2018 対応コーディングマニュアル・目録情報の基準第6版等の公開およびコーディングマニュアル・目録情報の基準改訂説明会(報告)、「電子ブックメタデータ(国内)」の正式公開(報告)、図書館総合展2024(報告)、次世代検索サービスの検討と実現について(懇談)

###### (2) 第 42 回委員会

日 時 2025年1月24日(金)

場 所 オンライン会議 WebEx

主な話題 2024年度の活動(審議)、2025年度の活動(審議)、図書館システムガイドラインの公開(審議)、電子リソースデータ共有サービスの名称(報告)、図書館総合展2024(報告)、次世代検索サービスの検討と実現について(懇談)

###### (3) 第 43 回委員会

日 時 2025年6月25日(水)

場 所 オンライン会議 WebEx

主な話題 これからの学術情報システム構築検討委員会2025年度活動計画(審議)、システムワークフロー検討作業部会2025年度活動計画(審議)、ユーザーグループ運営作業部会2025年度活動計画(審議)、これからの学術情報システム構築検討委員会作業部会の設置に関する内規等の改訂について(審議)、AIを活用した次世代検索サービスの検討と実現について(懇談)、今後の大学図書館の機能やサービスの実現に求められる人材について(懇談)、国立情報学研究所の検討状況について((1)共同利用システムの開発状況について(報告)、(2)学術基盤オープンフォーラムについて(報告))

## 5. 大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE)

<https://contents.nii.ac.jp/justice>

### 1) 会議

#### (1) 2024 年度通常総会

日時 2025 年 3 月 5 日(水)

会場 オンライン会議

主な話題 OASE の状況及び JUSTICE との連携・協力について(説明)、2024 年度決算報告、2025 年度活動計画、2025 年度予算、2025 年度運営委員会委員(協議)

### 2) 事業

#### (1) 版元提案説明会

日程:2024 年 9 月 5 日・6 日

場所:一橋大学一橋講堂中会議場

#### (2) OA 推進に関する取り組み

- ・OASE との連携協力
- ・JPCOAR との連携協力
- ・「転換契約に関するアンケート調査」(2024 年 7~8 月)
- ・2025 年度提案で、Read&Publish 提案(8 提案)、APC 割引(3提案)合意
- ・「2024 年度論文公表実態調査」

#### (3) 電子リソースに関わる図書館職員の資質向上

- ・ JUSTICE 電子資料契約実務研修会  
日時 2024 年 7 月 12 日(金)  
会場 オンライン開催
- ・ 実務研修(NII 実務研修制度による, JUSTICE 事務局での OJT 研修)

## 6. オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR)

<https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/>

### 1)会議

#### (1)総会

日時 2025 年3月14 日(金)

会場 オンライン会議

主な話題 2025 年度会長選出 (協議)、2025 年度監事選出(協議)、2025 年度運営委員会委員 (協議)、規程改正(協議)、2024 年度活動(報告)、2025 年度活動計画 (協議)、2024 年度決算(経過報告)、2025 年度

予算について（協議）、JAIRO Cloud 共同運営本部の活動（報告）、  
JPCOAR の今後の体制・活動（意見交換）

## 2) 事業

### (1) オープンアクセス推進に関する取り組み

「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」・オープンアクセス加速化事業への会員館の対応支援のため、JUSTICE と協力して以下を開催・実施

- ・OA 加速化事業申請に向けた意見交換会(2024 年 4月8日、9日)
- ・OA 加速化事業の効率的な実施支援のための予備アンケート(2024 年 6月3日～10日)
- ・OA 加速化事業申請機関情報交換会(2024 年 6月20日、28日、7月1日、26日)
- ・OA 加速化事業採択機関情報交換ツール(Slack)運営管理(文部科学省協力、2024 年 9月～)
- ・OA 広報素材作成祭り(2024 年 10月～11月)
- ・図書館総合展フォーラム「こう指す、こう来る、そこでこう指す: 三手先の学術情報流通」(2024 年 11月6日)

### (2) イベント

- ・ JPCOAR Webinar(オンライン)  
計 6 回開催 延べ参加者:1,895 人
- ・ 図書館総合展フォーラム(ハイブリッド)  
「オープンアクセス加速化事業 中間報告会 ～加速後のその先の世界へ～」(2024 年 11 月 6 日、156 名現地参加、414 名オンライン)

## 6. 国立情報学研究所教育研修事業

<https://contents.nii.ac.jp/hrd/apply/2023>

### <専門研修>

目録システム書誌作成研修  
情報処理技術セミナー(認証編)  
情報処理技術セミナー(クラウド編)

### <総合研修>

国立情報学研究所実務研修  
大学図書館員のための IT 総合研修  
大学図書館職員短期研修

### <教材>

NACSIS-CAT/ILL セルフラーニング教材  
NACSIS-CAT/ILL テキスト教材

## 7. 国立国会図書館「令和 6 年度の研修」

<https://www.ndl.go.jp/jp/library/training/fy2024/index.html>

## 8. 最近のトピックス

### 1) オープンアクセス

#### (1) Open Access for Scholarly Empowerment : OASE の発足

<https://oase.jp/>

統合イノベーション戦略推進会議で決定された「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」(2024年2月16日付)では、誰もが自由に学術論文及び根拠データを利活用できるよう、グローバルな学術出版社等に対する大学を主体とする集団交渉の体制構築を支援することとしている。OASEは、同基本方針の実現を目標に、政府からの支援を受けて2024年に発足。2024年2月から各出版社と協議を行っており、2024年10月にはウェブサイトを開設した。また、今後の交渉体制構築のための検討も行っている。

#### (2) 統合イノベーション戦略 2025(令和7年6月6日 閣議決定)

[https://www8.cao.go.jp/cstp/tougosenryaku/togo2025\\_zentai.pdf](https://www8.cao.go.jp/cstp/tougosenryaku/togo2025_zentai.pdf)

#### (学術論文等のオープンアクセス化の推進)

・「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針(令和6年2月16日統合イノベーション戦略推進会議決定)」に基づき、令和7年度新規公募分からの学術論文等の即時オープンアクセス実施に向けて、学術プラットフォームに対する大学等主体の拡大した集団交渉体制の構築支援、機関リポジトリ等の情報基盤への論文掲載やシステム間連携の実装、研究成果発信プラットフォームの整備・充実を進める。さらに、研究評価における定量的指標に加えて、新たな評価やインセンティブ付与のための方策の検討を進める。

#### (公的資金による研究データの管理・利活用の推進)

・先行的な取組であるムーンショット型研究開発制度における先進的データマネジメントの実施状況を検証するとともに、SIP第3期におけるデータマネジメントの推進、公的資金により得られた研究データへのメタデータ付与、大学等の研究開発機関におけるデータポリシー策定と機関リポジトリへの研究データ収載、G7等の国際連携等により、研究データの管理・利活用を推進する。

## 2) AI

国立大学図書館協会の活動における AI への対応について(令和6年11月15日 国立大学図書館協会理事会)

[https://www.janul.jp/sites/default/files/2024-11/ai\\_20241115.pdf](https://www.janul.jp/sites/default/files/2024-11/ai_20241115.pdf)

### (1) 国立大学図書館協会ビジョンでの対応

- 次期ビジョン策定小委員会において、協会全体としての AI への対応を検討し、次期ビジョンに反映させる。
- 検討にあたっては「『2030 デジタル・ライブラリー』推進に向けたロードマップ」等を参照する。

### (2) AI 活用における課題把握および取り組み実施

- 委員会は、各々の事業内容における AI の課題について現状の把握を行う。
  - ✧ 把握した内容について、委員会横断的に情報の集約・共有が随時可能な体制を整える。
  - ✧ 各委員会において、集約した情報に基づき今後の対応を検討する。
- 地区協会は、各々の事業内容に沿って AI の活用試行等の取り組みを進める。
  - ✧ 取り組みの成果は会員館に共有する。
- 委員会での検討結果および地区協会での事業成果は、協会の活動および次期ビジョン策定小委員会での検討に反映させる。

## 3) デジタルアーカイブ

デジタルアーカイブ戦略 2026-2030(令和7年5月30日 [知的財産戦略本部]デジタルアーカイブ戦略懇談会・デジタルアーカイブ推進に関する検討会決定)

[https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/pdf/archive\\_2026-2030.pdf](https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/pdf/archive_2026-2030.pdf)

### ● 大学等の役割

大学及び附属の図書館・博物館等のアーカイブ機関は、その設立趣旨や規模、特色等も踏まえ、学術研究に関するアーカイブも含めた、学術資産その他のデジタルアーカイブを積極的に推進することが期待されます。

デジタルアーカイブに関わる独立行政法人、特殊法人、大学共同利用機関法人、大学その他の機関は、基本理念にのっとり、その事業活動に関し、自ら積極的にデジタルアーカイブの推進に関する施策を実施する役割を担うことが期待されます。

#### 4) 目録

日本目録規則 2018 年版対応コーディングマニュアル・目録情報の基準第 6 版(令和6年10月31日から適用)

<https://catill.bitbucket.io/CM/mokuji.html>  
<https://catill.bitbucket.io/KIJUN/kijun6.html>

## 国立大学部会関係

(幹事館:東北大学附属図書館、山形大学附属図書館)

### 1.国立大学図書館協会(<https://www.janul.jp/>) 関連

#### 1)第72回国立大学図書館協会総会

日 程:令和7年6月19日(木)13時~17時30分  
20日(金)9時30分~12時30分

会 場: 東北大学百周年記念会館「川内萩ホール」  
(当番館:東北大学附属図書館、YouTube 配信あり)

#### 議 事:

- 1.開会式
- 2.議長団選出
- 3.全体会議(1)
  - 1)報告事項
    - ① 一般経過報告
  - 2)協議事項
    - ① 令和7年度理事・監事の選出について
    - ② 令和6年度決算報告・同監査報告について
    - ③ 令和6年度記念基金決算報告・同監査報告について
    - ④ 令和7年度事業計画(案)について
    - ⑤ 令和7年度予算(案)について
    - ⑥ その他
- 4.文部科学省所管事項説明
- 5.国立情報学研究所事業説明
- 6.大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議報告
- 7.次期ビジョン策定小委員会報告
- 8.事例報告:大学図書館の防災・危機管理
- 8.研究集会(テーマ:学生のための大学図書館を問い直す:ユーザーエクスペリエンスの視点から)
- 9.全体会議(2)
  - 1)理事会への付託事項の確認
- 10.次期当番館挨拶
- 11.閉会式

関連資料: [https://www.janul.jp/ja/operations/general\\_minutes](https://www.janul.jp/ja/operations/general_minutes)

## 2)令和6年度国立大学図書館協会秋季理事会

日 時:令和 6 年 11 月 15 日(金)14 時～17 時

会 場:オンライン(Zoom)

議 事:

### 1.報告事項

- (1) 第 71 回総会について
- (2) 各委員会報告
- (3) 各地区協会報告
- (4) 地区協会助成事業申請状況報告
- (5) 国公立大学図書館協力委員会報告
- (6) 日本図書館協会関連報告
- (7) 大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE)報告
- (8) これからの学術情報システム構築検討委員会報告
- (9) オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR)報告
- (10) その他
  - ① 令和5年度委員会等の残金返納状況について
  - ② Backlog の契約変更について
  - ③ 文部科学省からの報告

### 2.協議事項

- (1) 東京科学大学の入会について
- (2) 協会の活動における AI への対応について
- (3) 国立大学図書館協会賞応募規程の改正について
- (4) 令和7年度海外派遣事業の実施について
- (5) 今後の総会について
  - 1) 研究集会の準備スケジュール変更について
  - 2) 第 72 回総会について
  - 3) 第 73 回総会について

## 3)令和 6 年度国立大学図書館協会春季理事会

日 時:令和 7 年 5 月 23 日(金)13 時～16 時

場 所:オンライン(Zoom)、および東京大学附属図書館 3 階大会議室

議 事:

### 1.報告事項

- (1) 各委員会等報告
- (2) 国立大学図書館協会ビジョン 2025 推進事業報告
- (3) 各地区協会報告

- (4) 地区協会助成事業報告
- (5) 国公立大学図書館協力委員会報告
- (6) 日本図書館協会報告
- (7) 国立情報学研究所報告
- (8) 大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE)報告
- (9) これからの学術情報システム構築検討委員会報告
- (10) オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR)報告
- (11) 令和 6 年度国立大学図書館協会シンポジウム報告
- (12) その他

## 2.協議事項

- (1) 次期ビジョン策定方針(案)について
- (2) 令和 7 年度以降の地区協会助成事業の実施について
- (3) 令和 6 年度決算(案)について
- (4) 令和 7 年度事業計画(案)について
- (5) 令和 7 年度予算(案)について
- (6) 関係団体への派遣役員について
- (7) 第 72 回総会について
  - 1) プログラムについて
  - 2) 予算について
  - 3) 研究集会について
  - 4) 総会の議長団について
  - 5) オブザーバ館の参加について
- (8) 第 73 回総会の当番館・日程等について
- (9) 第 73 回総会以降の研究集会テーマ等決定方法について
- (10) その他

## 4)国立大学図書館協会 令和 7 年度第 1 回理事会

日 時:令和 7 年 6 月 20 日(金)(総会終了後)12 時 30 分～13 時

場 所:東北大学百周年記念会館「川内萩ホール」会議室

議 事:

- 1) 会長・副会長の選出
- 2) 委員会委員長の指名について
- 3) 災害対策拠点の選出について
- 4) 理事会付託事項について
- 5) 今後の日程について
- 6) その他

## 5)シンポジウム・セミナー等

1)令和6(2024)年度 AI時代における大学図書館の対応:課題と展望

会 場: オンライン

日 時: 令和7(2025)年3月10日(月)

内容:<https://www.janul.jp/ja/operations/symposia/2024/symp2024>

## 2.国立大学図書館協会東北地区協会 関連

1)令和6年度国立大学図書館協会東北地区協会事務連絡会議

日 時:令和6年11月22日(金)15時~17時

場 所:秋田大学附属図書館

議 題

### I. 報告事項

1. 令和6年度国立大学図書館協会秋季理事会について[東北大学]
2. 第72回国立大学図書館協会総会(令和7年6月)への対応について[東北大学]
3. 図書系専門試験について[東北大学]
4. 図書館情報処理システムの更新について[宮城教育大学]

### II. 協議事項

1. 令和7年度国立大学図書館協会地区助成事業について[東北大学]
2. 東北地区の国立大学図書館における図書館員の人材確保について  
[宮城教育大学]

### III. 承合事項

1. 「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」への対応について  
[東北大学]
2. 延長開館時間帯のカウンター担当学生アルバイトの欠員時の対応について  
[宮城教育大学]
3. その他

2)第56回国立大学図書館協会東北地区協会総会

日 時:令和7年4月24日(木)15時~16時25分

場 所:宮城教育大学附属図書館 オンライン(Zoom)とのハイブリッド開催

議 事:

### 1.報告事項

- (1) 国立大学図書館協会について

### 2.協議事項

- (1) 国立大学図書館協会東北地区協会理事・当番館等について

- (2) 第 72 回国立大学図書館協会総会に向けての準備事項について
- (3) 令和 7 年度以降の国立大学図書館協会地区協会助成事業への対応について
- (4) 第 72 回国立大学図書館協会総会(令和 7 年 6 月)への対応について

### 3.承合事項

- (1) 試験期におけるサービス状況について(弘前大学)
- (2) 「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」(内閣府統合イノベーション戦略推進会議 2024 年 2 月 16 日)への対応について(東北大学)

### 3.その他

1)第 98 次国立七大学附属図書館協議会

日 時:令和 7 年 1 月 8 日(水)13 時~15 時

場 所:オンライン (Zoom)により実施 (当番館: 東京大学附属図書館)

- 1) 議長選出
- 2) 文部科学省より
- 3) 協議事項:
  - 1)オープンアクセス・オープンサイエンスについて
  - 2) 2030 デジタル・ライブラリーについて
  - 3)その他

## 公立大学部会関係

(幹事館:会津大学短期大学部附属図書館)

### ○令和7年度公立大学協会図書館協議会総会

期日:令和7年6月19日(木)~7月7日(月)

形式:電子メールによる書面会議

開催館(会長館):公立大学法人岡山県立大学附属図書館

#### <資料提供>

「大学図書館に関する最近の動向」

文部科学省 研究振興局参事官(情報担当)付 学術基盤整備室

大学図書館係主任 影山 啓太氏

「公立大学の現状と公立大学協会の組織と課題」

一般社団法人公立大学協会 事務局長 中田 晃氏

#### <議事>

##### 報告事項

- (1)令和6年度事業報告
- (2)HP委員会報告
- (3)地区協会活動報告
- (4)関係委員会等報告

##### 協議事項

- (1)役員の選出について
- (2)関係委員会委員等の推薦について
- (3)令和6年度決算報告
- (4)令和6年度監査報告
- (5)令和7年度事業計画(案)について
- (6)令和7年度以降の会費徴収額及び公立大学図書館協会会則の一部変更について
- (7)令和7年度予算(案)について
- (8)名称変更に伴う公立大学協会図書館協議会会則ほか諸規程の一部変更について
- (9)大学図書館職員短期研修への派遣について

### ○2025年度公立短期大学図書館協議会総会

日時 2025年8月21日(木) 13:30~16:00

場 所 会津大学短期大学部第一会議室

## I 議 題

### 1. 報告事項

- (1) 役員紹介
- (2) 2024 年度事業報告
- (3) 2024 年度決算報告及び監査報告

### 2. 審議事項

- (1) 2025 年度事業計画(案)及び予算(案)について
- (2) 来年度以降の会費について
- (3) 旅費規程の改正について
- (4) 会長館の任期について
- (5) 輪番表の改訂について

### 3. その他

#### (1) 承合事項

- ① 研究費購入の図書について
- ② 清掃について
- ③ イベント等事例について
- ④ 図書館の設計・レイアウトについて
- ⑤ 所蔵本の装備(ブックコート)基準について
- ⑥ 学外者の利用資格及び学外利用者に対するサービスについて
- ⑦ 図書館システムについて
- ⑧ 電子書籍の購入について

#### (2) 2026 年度役員紹介

## II その他

## ○2025 年度全国公立短期大学図書館協議会職員研修会

日 時 2025 年 8 月 22 日(金)9:30~12:00(受付 9:00~)

場 所 会津大学短期大学部附属図書館 iimo 閲覧室

### 講演

講 師 文教大学文学部英米語英米文学科准教授 池内 有為 氏

演 題 「学術情報のオープンアクセス最前線:知を循環させる大学図書館の役割」

### ディスカッション

テーマ 「オープンアクセスと倫理のこれから:研究者と大学図書館のパートナーシップ」

司 会 会津大学短期大学附属図書館長 漆谷 博志 氏

ファシリテーター 文教大学文学部英米語英米文学科准教授 池内 有為 氏

## 私立大学部会関係

(幹事館: 仙台白百合女子大学、東北公益文科大学)

私立大学図書館協会・東地区部会を中心に(2024年9月1日～2025年8月31日)

加盟校 514校(2024年9月3日現在) 東地区部会 268校

※東北地区加盟校(50音順) 25校

秋田看護福祉大学、石巻専修大学、医療創生大学、岩手保健医療大学、奥羽大学、郡山女子大学、柴田学園大学、尚絅学院大学、仙台白百合女子大学、仙台大学、東北医科薬科大学、東北学院大学、東北芸術工科大学、東北工業大学、東北福祉大学、東北文化学園大学、東北文教大学・東北文教大学短期大学部、日本赤十字東北看護大学、ノースアジア大学、八戸学院、八戸工業大学、東日本国際大学、富士大学、宮城学院女子大学、盛岡大学

### ○第85回(2024年度)私立大学図書館協会総会・研究大会

<総会>

日 時: 2024年8月27日(火)12:00～9月3日(火)17:00

方 法: メール会議

#### 1. 報告事項

- ①協会賞(2023年度審査決定: 2024年度表彰)
- ②研究助成(2023年度決定: 2024年度助成対象)
- ③2023年度 協会会務報告
- ④2023年度 委員会報告
- ⑤2023年度 協会関連事項報告
- ⑥2023年度 協会役員校、委員会および協会関連団体委員
- ⑦2023年度 ご寄付をいただいた企業

#### 2. 総会議案

- ①2023年度 一般会計・特別会計決算報告(案)
- ②2024年度 事業計画(案)
- ③2024年度 一般会計・特別会計予算(案)
- ④2024年度 新規加盟校および脱退校(案)
- ⑤私立大学図書館協会会則の改正(案)
- ⑥2025～2026年度協会役員校(案)

#### 3. 承合事項

<研究大会>

テーマ:「大学図書館と諸機関との連携」

日時:2024年9月4日(木)13:00~17:00

方法:オンライン開催 YouTube Live(限定公開)

1. 記念講演

演題:「“データ駆動による課題解決型人文学の創生プロジェクト”の目指すもの」

講演者:渡部 泰明 氏(大学共同利用機関法人人間文化研究機構 国文学研究資料館館長)

2. 協会賞授賞式

業績:『「学び」と「集い」の図書館に挑む 大学図書館の未来と創造』の刊行

受賞者:大正大学附属図書館

3. 講演①

演題:「私大図書館の連帯が支える学と世界:一現代政治史研究者の視点から」

講演者:村井 良太 氏(駒沢大学 法学部 教授)

4. 講演②

演題:「大学図書館と博物館の連携の成果と課題」

講演者:稲井 達也 氏(大正大学附属図書館 館長・教職支援オフィス 教授)

**○2025 年度私立大学図書館協会東地区部会総会**

日時:2025年6月6日(金)~6月13日(金)

主催:中央大学(2025年度私立大学図書館協会東地区部会長校)

形式:e-mailとWeb入力フォームを活用した個別回答形式

内容:2024年度事業報告・活動報告および2025年度事業計画・活動計画等

**○2025 年度私立大学図書館協会東地区館長会**

日時:2025年6月6日(金)10:00~11:00

主催:中央大学(2025年度私立大学図書館協会東地区部会長校)

形式:オンライン開催(Zoom)

オンデマンド配信(録画映像公開期間:6月9日(月)~7月31日(木))

テーマ:「2040年の大学図書館」

①講演 講師:中央大学文学部教授 小山 憲司 氏

②質疑応答・意見交換

**○2025 年度私立大学図書館協会東地区部会研究講演会**

日時:2025年6月13日(金)13:00~16:00

主催:大正大学(2025年度私立大学図書館協会東地区部会研究部担当理事校)

形 式:オンライン開催(Zoom)

オンデマンド配信(録画映像公開期間:6月20日(金)~7月31日(木))

研究講演会テーマ:「大学図書館とAI」

①講演タイトル:大学図書館とAI

講演者:野末 俊比古 氏(青山学院大学 教育人間学部 教授)

②講演タイトル:生成 AI 時代に大学図書館員が担うべき役割

講演者:青野 正太 氏(駿河台大学 メディア情報学部 講師)

③質疑応答

## 東北地区大学図書館協議会研修部会の活動について

### 1. 研修部会名簿

任期:2023年9月1日～2025年8月31日

部会	所 属	職 名	氏 名〔備考〕
国立	弘前大学附属図書館	主 任	丸山 ひかり
国立	東北大学附属図書館本館	主 任	田名部 晃平〔主査〕
公立	会津大学情報センター附属 図書館	副主任司書	吉田 有里〔庶務幹事〕
私立	東北学院大学図書館		大岡 弘明 (2023年9月1日～ 2024年9月13日)
私立	東北文化学園大学総合情報 センター図書館	課 長	松浦 宝志

### 2. 研修部会開催状況

#### 2-1. 第1回研修部会(キックオフミーティング)

日 時:2023年11月28日(火)10:00～11:00

会 場:オンライン(Zoom)

出席者:丸山ひかり(弘前大)、田名部晃平(東北大)、吉田有里(会津大)

大岡弘明(東北学院大)、松浦宝志(東北文化大)

陪 席:三角太郎、檜原啓一(協議会事務局:東北大)

概 要:委員の確認、主査・庶務幹事の決定。フレッシュパーソンセミナーの開催、大学図書館職員初任者マニュアルの改訂等について話し合った。

#### 2-2. 第2回研修部会

日 時:2023年12月14日(木)

会 場:オンライン(Teams)

出席者:丸山ひかり(弘前大)、田名部晃平(東北大)、吉田有里(会津大)

大岡弘明(東北学院大)、松浦宝志(東北文化大)

陪 席:三角太郎、檜原啓一(協議会事務局:東北大)

概 要:大学図書館職員初任者マニュアルの改訂、研修ロードマップに関する研修の新規提案等募集に関し今後の進め方を確認した。

### 2-3. 第3回研修部会

日時:2024年2月5日(月)

会場:オンライン(Teams)

出席者:丸山ひかり(弘前大)、田名部晃平(東北大)、吉田有里(会津大)

大岡弘明(東北学院大)、松浦宝志(東北文化大)

陪席:三角太郎、檜原啓一(協議会事務局:東北大)

概要:大学図書館職員初任者マニュアルの更新内容、研修ロードマップに関する研修の新規提案等募集の結果について確認した。

※後日、大学図書館職員初任者マニュアルを更新した旨について東北地区大学図書館協議会事務局から加盟館へ電子メールにより通知した。研修ロードマップに関する研修の新規提案等募集の結果については、東北地区大学図書館協議会事務局へ報告するとともに、フレッシュパーソンセミナーに反映させること等を今後検討することにした。

### 2-4. 第4回研修部会(ミーティング)

日時:2024年12月3日(火)13:30~15:30

会場:オンライン(Zoom)

出席者:丸山ひかり(弘前大)、田名部晃平(東北大)、吉田有里(会津大)

松浦宝志(東北文化大)

陪席:三角太郎、渡邊愛子(協議会事務局:東北大)

概要:新委員と事務局担当者の紹介、役職の再振り分けを行った。次回のフレッシュパーソンセミナーの開催日・構成を決定し、今後の進め方について確認した。

### 2-5. 第5回研修部会(ミーティング)

日時:2025年4月21日(月)10:00~10:50

会場:オンライン(Zoom)

出席者:丸山ひかり(弘前大)、田名部晃平(東北大)、吉田有里(会津大)

松浦宝志(東北文化大)

陪席:渡邊愛子(協議会事務局:東北大)

概要:フレッシュパーソンセミナーの内容や講師の内諾状況を確認した。また、希望者向けの図書館見学の実施を決定した。

### 2-6. 第6回研修部会(ミーティング)

日時:2025年7月9日(月)10:00~12:00

会場:オンライン(Zoom)

出席者:丸山ひかり(弘前大)、田名部晃平(東北大)、吉田有里(会津大)

松浦宝志(東北文化大)

陪席:渡邊愛子(協議会事務局:東北大)

概要:フレッシュパーソンセミナーの最終確認として、当日の詳細なスケジュールと各担当者の役割分担を確認した。事後アンケートの設問や図書館見学の案内、講師の旅費精算など、残りの課題についても確認した。

2-7. 第7回研修部会(ミーティング・リハーサル)

日時:2025年7月15日(火)14:00~16:00

会場:オンライン(Zoom)

出席者:丸山ひかり(弘前大)、田名部晃平(東北大)、吉田有里(会津大)  
松浦宝志(東北文化大)

陪席:渡邊愛子(協議会事務局:東北大)

概要:会場を設営し、講師待機場所や登壇時の動きについて確認した。

3. 研修開催状況

研修名:2025年東北地区大学図書館協議会フレッシュパーソンセミナー

概要:「2025年東北地区大学図書館協議会フレッシュパーソンセミナー報告」  
26~29ページ参照

以上

## 2025年東北地区大学図書館協議会フレッシュパーソンセミナー報告

研修部会

## ①2025年東北地区大学図書館協議会フレッシュパーソンセミナー開催要項

## 1. 趣旨

東北地区の大学図書館に勤務している職員が所属機関や雇用形態による制限なく参加し、図書館職員としての基本的な知識と教養を身につけるとともに、豊かな人的ネットワークを形成することを目的とする。

## 2. 対象者

東北地区大学図書館協議会の加盟大学での図書館勤務が3年程度までの職員で、図書館業務の基礎な知識の習得を希望する者(30名程度)

## 3. 開催日時

2025年7月17日(木)10時～15時30分

## 4. 参加方法

- 講演+グループワーク:対面
- 講演のみ :オンライン(Zoom)

## 5. 主催・企画

東北地区大学図書館協議会・東北地区大学図書館協議会研修部会

## 6. 開催プログラム

下記のとおり

## 7. 受講者数

- 講演+グループワーク:20名
- 講演のみ:13名

## ②開催プログラム 2025年7月17日(木)

	時間	内容
開会	10:00～10:10	開会・事務連絡
概論	10:10～11:00	大学図書館概論 ■東北大学附属図書館・事務部長 佐藤初美
		休憩

基本編	11:10～12:15	<p>大学図書館業務【基本編】</p> <p>(1) 利用者サービス(15分)  <b>■</b>会津大学情報センター附属図書館図書係  副主任司書 吉田有里</p> <p>(2) ILL 業務(15分)  <b>■</b>弘前大学附属図書館資料管理グループ雑誌  情報担当主任 丸山ひかり</p> <p>(3) 図書目録(15分)  <b>■</b>岩手大学法人運営部学術情報課図書館資  料管理グループ  主査 梅村妙</p> <p>(4) 雑誌業務(15分)  <b>■</b>東北大学附属図書館雑誌情報係  主任 中島大</p>
	休憩	
発展編	13:15～14:00	<p>大学図書館業務【発展編】</p> <p>(1) 図書館システム・ネットワーク管理(20分)  <b>■</b>東北大学附属図書館学術情報基盤係 係長  落合浩平</p> <p>(2) レファレンス業務(20分)  <b>■</b>国際教養大学中嶋記念図書館学修支援室  専門職員 相場洋子</p>
	休憩	
G W	14:10～15:20	<p>グループワーク</p> <p>※1 グループ 5 名+ファシリテーター1 名</p> <p>テーマ「大学図書館勤務になって驚いたこと」  ・グループ内で意見交換  ※意見集約し後日共有</p>
閉会	15:20～15:30	閉会・事務連絡

### ③受験者アンケート結果(抜粋)

回答者数:29 件

- ・講義+グループワークに参加:20 名
- ・講義のみ参加:9 名

講義に関するご意見・ご感想

【講義内容】

- ・ 日々の業務が分担されているため、担当業務以外の動向について学べたことが有益でした。
- ・ 興味深い内容で面白かったです。まだ業務のこともよくわかっていないため、包括的に様々なことを学べてよかったです。

- ・ 図書館業務の基本をわかりやすく教えていただきとても勉強になりました。お忙しい中ご準備くださり本当にありがとうございました。
- ・ 大学図書館の基本的な業務を簡潔に分かりやすく講義していただき、大変勉強になりました。今後、日々の業務に生かしていきたいと思います。
- ・ 図書館業務の全体像を知ることができました。特に、経験のない、目録業務について概要を知ることができて良かったです。
- ・ 駆け足ではありましたが、現場を長年ご経験されている方々による講義を受けることができ、大変有意義な時間となりました。
- ・ 他館の、異なる取り組みや事情等の情報をたくさん得て、また自館の状況についても共有することで意見をいただき、今後の業務に大いに活かせる内容だった。
- ・ とても良い勉強になり刺激になりました。横のつながりはとても良いことだと感じました。対面は受け取るものがとても多かったです。また、図書館業務に空白があった私にはとてもよい学習の機会となりました。

#### 【時間・構成】

(適切だと感じた意見)

- ・ 時間もちょうどよく、楽しく学ぶことが出来ました。
- ・ 時間も適切で緊張感を持って受講することができました。
- ・ それぞれの業務説明(15分～20分)は、飽きがなく丁度良い時間配分だと思います。
- ・ 短時間に概要がまとまっており、大変わかりやすく、勉強になりました。

(もっと長くしてほしいと感じた意見)

- ・ 【基本編】のそれぞれの業務についての話の時間がもう少し長いとより詳しく知れていいと思った。
- ・ 各講義の時間が短かった。もう少し深掘りした内容も聞けるとありがたい。
- ・ 15分ずつの講義はとても短く、かけあしで進んだので内容もサラッとした感じだった。
- ・ 遠くから来た方にとっては物足りなかったのではないかと思う。せめて30分ずつの講義だったら落ち着いて聞けたと思う。
- ・ 基本編と発展編の講義の時間が短かったので、5分ずつ延長してもよいのではないかと思います。
- ・ 講義はもっと長くてもよかったです。
- ・ 最後の相場先生のお話がとても興味深く、もう少し聞きたかった。
- ・

#### 【交流・形式】

(対面を希望する意見)

- ・ 今回はオンラインでの参加だったので、次回受ける機会があれば対面で参加し、ほかの図書館の方との意見交換などもできたらいいと思う。

(全体的な感想)

- ・ 大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・ どれも充実した内容で、大変参考になりました。
- ・ とても参考になった

グループワークに関するご意見・ご感想

【交流・情報交換】

- ・ ほかの図書館で働かれている方の話を聞いて、非常に面白かったです。
- ・ 大学によって状況が異なるため、大変興味深い話をメンバーから聞くことができました。また、ファシリテーターの先生からもたくさんお話をいただき、大変勉強になりました。
- ・ 他大学の方との交流の場は必須。もう少し時間があればさらに良かった。
- ・ 他館のアイデアや事情を知ることが出来、とても有意義な時間だった。
- ・ 各大学の良いアイデアや面白い取り組みを聞いて、ざっくばらんに話ができてよかった。
- ・ 他大学の方々と知り合いになれたので、今後も何かの役にたてばいいと感じた。
- ・ 初めての参加でしたが、他の大学の方と話が出来て非常に有意義な時間が過ごせたと思います。
- ・ 他大学の方と情報交換ができ、とても良かったです。
- ・ 他館の方と交流する機会になったのでとても良かったです。
- ・ 各大学の情報交換ができてよかった
- ・ いろいろな意見をきくことができて刺激になりました。
- ・

【グループワークの形式】

(発表なしを好む意見)

- ・ 発表があるとまとめることに多少時間や意識を取られてしまうので、個人的には発表のない今回の形式が意見交換に集中できて良かった。
- ・ 今回発表の機会はありませんでしたが、十分に研修の目的を達成したと思います。

(発表を希望する意見)

- ・ 緊張しますが発表の機会があれば、更にいろいろな意見を聞くことができたかと思います。
- ・ 時間に余裕があれば、他グループの意見も伺ってみたかったと思います。

(進行方法に関する意見)

- ・ 話し合いと言うよりは、情報交換という内容になり、あまり上記の内容を詳しく出来た訳では無いのですが、他館の色々なお話を聞くことが出来とても楽しかったです。
- ・ ファシリテーターの講師の方のお話がおもしろく、皆さん聞き入ってしまい、あまりグループワークという感じにはなりませんでした。とても勉強になりました。

## 東北地区大学図書館協議会 第 80 回総会記念事業について

2025 年 9 月 26 日  
東北大学附属図書館

東北地区大学図書館協議会が 2025 年 9 月に第 80 回の総会を開催することを記念し、以下の企画を実施する。

### 1. 記念講演会

#### 1.1 概要

- 日時： 2025 年 10 月 9 日(木)13:30-14:45
- 場所： 配信のみ（東北大学附属図書館内(大会議室)から配信）
- 対象： 加盟館員・一般の方も参加可能（Zoom の上限から 500 名）
- 内容： 講演者 ロバート キャンベル氏(日本文学者・2025.4～せんだいメディアテーク館長)  
講演時間 60 分程度  
「壊れたものが遠くへ行かないように -アーカイブと芸術の断片について-」
- 予算：記念事業基金から支出
  - ・12 万円
    - ・キャンベル氏謝金 6 万円（時間単価 3 万円×2 時間）
    - ・キャンベル氏交通費 25,420 円(+必要があればグリーン代金 3,660 円×2)  
※キャンベル氏の講演費用約 10 万円は、個人事務所から請求書払いの予定
    - ・その他会議費 2 万円

#### 1.2 広報

- ・9 月初め～ web 広報および、ポスター掲示依頼
- ・東北地区大学図書館協議会 web サイト（協議会加盟館へ引用広報を依頼）
- ・東北地区大学図書館協議会各館メーリングリスト
- ・宮城県図書館経由県内公共図書館(他県の公共図書館網への展開は、各国立大学に依頼)
- ・せんだいメディアテーク
- ・まなびのめ
- ・申込受付
  - ・一般の方(300 名先着順 申込フォームによる申し込み) 9 月 30 日(火)申し込み締め切り
  - ・協議会会員館(62 館) 申し込み不要、各館3回線まで接続可能、として案内。  
(後日参加人数を調査)

#### 1.3 プログラム

	進行：佐藤東北大学附属図書館事務部長
13:30	開会挨拶：植木東北大学附属図書館長
13:35	講演 「壊れたものが遠くへ行かないように -アーカイブと芸術の断片について-」 ロバート キャンベル氏(日本文学者・2025.4～せんだいメディアテーク館長)
14:35	質疑
14:45	閉会挨拶：池田山形大学中央図書館長

## 2. 記念動画

### 2.1 概要

- ・加盟館 62 館の外観、建物内等の写真を集めて、動画を作成し、東北地区大学図書館協議会のサイトで公開する。

### 2.2 進捗

- ・61 館から写真は提供済み、動画編集作業を開始。80 回総会、80 周年記念事業の写真を入れて、年内に公開予定。

資料4-2

東北地区大学図書館協議会第 80 回総会記念

2025 年 10 月 9 日(木)

ロバート キャンベル氏

13:30-14:45

オンライン講演会

申込：URL または QR コードから



9 月 30 日 17:00 締切

<https://x.gd/iQEYvY>

先着 300 名



壊れたものが遠くへ行かないように  
—アーカイブと芸術の断片について—

東北地区大学図書館協議会

昭和 22 年 5 月に発足し、東北地区にある国立・公立・私立の大学・短期大学の大学図書館 62 館が加盟している。各図書館の「施設、運営、管理などの進歩改善について、相互に連携協力すること」を目的として設置され、毎年開催している総会、各種研修会等を通じて、情報交換、人材交流、人材育成を図っている。

お問合せ：東北地区大学図書館協議会事務局  
(東北大学附属図書館内)

MAIL：lib-tohokuchiku-jim@grp.tohoku.ac.jp

ロバート キャンベル氏

ニューヨーク市出身。専門は江戸・明治時代の文学、特に江戸中期から明治の漢文学、芸術、思想などに関する研究を行う。主な編著に『戦争語彙集』（岩波書店）、『よむうつわ』（淡交社）、『日本古典と感染症』（角川ソフィア文庫、編）、『井上陽水英訳詞集』（講談社）、『東京百年物語』（岩波文庫）等がある。日本文学研究者、早稲田大学特命教授、せんだいメディアテーク館長、早稲田大学国際文学館（村上春樹ライブラリー）顧問、2025 年日本国際博覧会協会 理事、東京大学名誉教授

令和7年6月16日

東北地区大学図書館協議会  
常任幹事館  
東北大学附属図書館長 殿

東北農林専門職大学  
図書館長 藤本 登留  
(公印省略)

## 東北地区大学図書館協議会への加盟について（申請）

東北地区大学図書館協議会会則に掲げる目的に賛同し、貴協議会に加盟したいので、下記のとおり申請します。

## 記

- |          |                           |
|----------|---------------------------|
| 1 図書館名   | 東北農林専門職大学附属図書館            |
| 2 電話番号   | 0233-25-8303              |
| 3 所在地    | 996-0052 山形県新庄市大字角沢 1366  |
| 4 E-mail | library_admin@tpuaf.ac.jp |
| 5 図書館長   | 図書館長 藤本 登留                |
| 6 事務責任者等 | 企画主査 小野 昌紀                |

担当	企画課
担当者	企画主査 小野
電話番号	0233-22-1527

## 令和6年度 決算書(案)

(自令和6年9月1日～至令和7年8月31日)

(収入の部)

(単位:円)

項目	予算額(円)	決算額(円)	比較増減(円)	摘要
繰越金	2,752,304	2,752,304	0	
会費	732,000	732,000	0	12,000×61館
雑収入	600	3,192	2,592	利子
計	3,484,904	3,487,496	2,592	

(支出の部)

項目	予算額(円)	決算額(円)	比較増減(円)	摘要
会誌印刷費	400,000	378,950	△ 21,050	会誌第76号(送料、振込手数料含む)
総会補助費	200,000	30,980	△ 169,020	講師謝金
事業費	150,000	0	△ 150,000	合同研修会はオンライン開催、 講師謝金は辞退
部会活動費	150,000	99,450	△ 50,550	
通信運搬費	10,000	0	△ 10,000	
積立繰入金	73,200	73,200	0	会費の10%上限
会議費	20,000	0	△ 20,000	
消耗品費	20,000	3,155	△ 16,845	
雑費	30,000	10,560	△ 19,440	監査旅費
予備費	2,431,704	0	△ 2,431,704	
次年度繰越	0	2,891,201	2,891,201	
計	3,484,904	3,487,496	2,592	

## 令和6年度 記念事業基金決算書(案)

(自令和6年9月1日～至令和7年8月31日)

(収入の部)

(単位:円)

項目	予算額(円)	決算額(円)	比較増減(円)	摘要
繰越金	1,035,371	1,035,371	0	
積立金	73,200	73,200	0	記念事業実施のための積立
雑収入	230	606	376	利子
計	1,108,801	1,109,177	376	

(支出の部)

項目	予算額(円)	決算額(円)	比較増減(円)	摘要
事業費	1,108,801	0	△ 1,108,801	80回記念事業は令和7年10月9日に実施となったため持ち越し。
予備費	0	0	0	
次年度繰越	0	1,109,177	1,109,177	
計	1,108,801	1,109,177	376	

## 令和6年度 東北地区大学図書館協議会 会計監査報告

1. 日 時:令和7年9月4日(木)
2. 場所・監査方法:仙台青葉学院大学・仙台青葉学院短期大学図書館に於いて  
訪問監査
3. 監査対象期間:令和6年9月1日～令和7年8月31日
4. 監査結果:東北地区大学図書館協議会会則第7条に基づき、東北地区大学図書館協議会の監査対象期間に係る収支計算書等について監査を行いました。監査に当っては会計帳簿の調査及び計算書類の検討等通常必要と認められる手続きで実施しました。  
監査の結果、上記計算書類は、前事業年度と同一の基準及び手続きに基づき、当該事業年度の収支の状況及び財産の状況を適正に示しているものと認めます。

令和7年9月4日

### 監査館

山形県公立大学法人 山形県立米沢栄養大学 山形県立米沢女子短期大学

総務企画課 図書館管理係長

角屋 聡美



仙台青葉学院大学・仙台青葉学院短期大学

五橋キャンパス図書館

酒井 麻紀



## 令和7年度 事業計画(案)

令和7(2025)年9月1日～令和8(2026)年8月31日

### 1. 第80回総会の開催

令和7年9月26日(金)、秋田大学を当番館・会場として開催

### 2. 会誌第77号の刊行

令和8年5月頃の予定

### 3. 研修部会の活動

- ①「大学図書館職員初任者マニュアル」の見直し(必要に応じて)
- ②東北地区に必要な研修の検討:研修ロードマップの作成  
(フレッシュパーソンセミナーとは異なるレベルの研修の必要性)
- ③次回(2027年)フレッシュパーソンセミナーの検討

### 4. 合同研修会の開催

開催当番宮城地区の予定(次頁のとおり)

### 5. 第80回総会記念行事の実施

- ① 記念講演会の実施 令和7年10月9日(木) (30～32ページ参照)
- ② 記念ショート動画の作成

### 6. 職員の表彰

- ① 図書館活動又は図書館情報学の研究、調査等に優れた業績のあった者
- ② 協議会の運営、発展のために功績のあった者

### 7. 記念事業基金の積み立て

令和7年度通常会計から、記念事業基金(74,400円)を繰入予定

## 令和7年度合同研修会について

(常任幹事館:東北大学附属図書館)

[提案理由]

令和7年度は 宮城地区 が開催当番の予定になっているので、確認願いたい。

令和10年～15年度についても同様の開催順でよいかご確認願いたい。

[参考]東北地区大学図書館協議会合同研修会

年度	当番地区	会場大学	テーマ
28	秋田	秋田大学	これからの大学図書館員が進むべき方向を探る:オープンサイエンスが秘める可能性
29	山形	山形大学	著作権法改正と図書館サービス
30	福島	福島大学	「新しい学び」を創発する大学図書館・図書館職員の役割とは
R元	宮城	東北大学 宮城教育大学	電子コンテンツ、オープンアクセス、そしてJUSTICE [オンライン開催]
2	青森	弘前大学	学生目線での図書館改革[オンライン開催]
3	岩手	岩手大学	著作権法第31条改正への対応[オンライン開催]
4	秋田	秋田大学	図書館×人工知能(AI)[オンライン開催]
5	山形	山形大学	オープンアクセスと大学図書館[オンライン開催]
6	福島	福島大学	デジタルアーカイブの実現に向けて[オンライン開催]
7	宮城		
8	青森		
9	岩手		
10	秋田		
11	山形		
12	福島		
13	宮城		
14	青森		
15	岩手		

※会場大学の決定については、当番地区において協議するものとする。

※当番地区の輪番制については、平成22年9月16日承認,平成28年9月30日更新

## 令和7年度 予算書 (案)

(自令和7年9月1日～至令和8年8月31日)

(収入の部)

(単位：円)

項目	令和6年度予算額	令和7年度予算額	増減	摘要
繰越金	2,752,304	2,891,201	138,897	
会費	732,000	744,000	12,000	12,000×62館
広告協賛金	0	0	0	令和5年度から協賛広告なし
雑収入	600	3,000	2,400	利子
計	3,484,904	3,638,201	153,297	

(支出の部)

(単位：円)

項目	令和6年度予算額	令和7年度予算額	増減	摘要
会誌印刷費	400,000	400,000	0	会誌第77号(送料含む)
総会補助費	200,000	200,000	0	実費精算
事業費	150,000	150,000	0	合同研修会補助、表彰関係
部会活動費	150,000	150,000	0	研修部会(会議開催等)
通信運搬費	10,000	10,000	0	
積立繰入金	73,200	74,400	1,200	記念事業基金に繰入(加盟館増)
会議費	20,000	20,000	0	
消耗品費	20,000	20,000	0	
雑費	30,000	30,000	0	
予備費	2,431,704	2,583,801	152,097	
計	3,484,904	3,638,201	153,297	

## 令和7年度 記念事業基金予算書 (案)

(自令和7年9月1日～至令和8年8月31日)

(収入の部)

(単位：円)

項目	令和6年度予算額	令和7年度予算額	増減	摘要
繰越金	1,035,371	1,109,177	73,806	
積立金	73,200	74,400	1,200	通常会計から繰入(加盟館増)
雑収入	230	600	370	利子
計	1,108,801	1,184,177	75,376	

(支出の部)

項目	令和6年度予算額	令和7年度予算額	増減	摘要
事業費	1,108,801	120,000	△988,801	80周年記念事業
予備費	0	0	0	
次年度繰越	0	1,064,177	1,064,177	
計	1,108,801	1,184,177	75,376	

## 第81回総会の当番地区(館)について

(常任幹事館 東北大学附属図書館)

[提案理由]

第81回総会は山形地区が当番の予定になっているので、確認願いたい。

[参考]

東北地区大学図書館協議会総会当番地区(館)予定

(第89回まで、令和6年9月13日承認)

回	年度	当番地区	当番(会場)大学	備考
73	30	宮城	東北学院大学	
74	元	山形	山形大学	
75	2	青森	弘前大学	メール会議
76	3	宮城	宮城大学	メール会議
77	4	岩手	岩手医科大学	メール会議
78	5	福島	日本大学図書館工学部分館	オンライン会議
79	6	宮城	尚絅学院大学	ハイブリット開催
80	7	秋田	秋田大学	
81	8	山形		
82	9	宮城		
83	10	青森		
84	11	岩手		
85	12	宮城		
86	13	福島		
87	14	秋田		
88	15	宮城		
89	16	山形		

注1:会場大学については、当該地区において協議の上、開催予定の前年度総会に報告するものとする。

注2:開催地区のローテーションの確認について

①宮城地区は、他地区より大学の数が多いので、3年に1回割り振る。

②その他の地区は、次のローテーションによる。

青森地区、岩手地区、福島地区、秋田地区、山形地区

役員館の改選について

(常任幹事館 東北大学附属図書館)

(提案理由)役員館の任期満了(令和5年9月～令和7年8月)に伴うものである。

回次 (任期)	常任 幹事館		幹事館		監査館		審査委員館(平成19年8月までは論文審査館)		
	(国立)	(公立)	(国立)	(私立)	(公立)	(私立)	(国立)	(公立)	
第48回総会 (H5.9～H7.8)	東北大学 宮城教育大学	会津大学短期大学部	東北福祉大学 いわき明星大学	東北学院大学	宮城県農業短期大学	東北学院大学	東北大学 宮城教育大学	福島県立医科大学 秋田経済法科大学	八戸工業大学 秋田経済法科大学
第50回総会 (H7.9～H9.8)	東北大学 秋田大学	会津大学	東北薬科大学 富士大学	宮城学院女子大学	宮城県農業短期大学	宮城学院女子大学	東北大学 秋田大学	福島県立医科大学 岩手県立宮古短期大学	仙台大学 郡山女子大学
第52回総会 (H9.9～H11.8)	東北大学 福島大学	会津大学	八戸工業大学 東北工業大学	宮城学院女子大学	宮城県農業短期大学	宮城学院女子大学	東北大学 福島大学	福島県立医科大学 岩手県立宮古短期大学	仙台大学 郡山女子大学
第54回総会 (H11.9～H13.8)	東北大学 山形大学	福島県立医科大学	秋田経済法科大学 東北文化学園大学	宮城学院女子大学	山形県立米沢女子短期大学	宮城学院女子大学	東北大学 山形大学	秋田県立大学 秋田公立美術工芸短期大学	仙台大学 盛岡大学
第56回総会 (H13.9～H15.8)	東北大学 弘前大学	山形県立保健医療大学	仙台百百合女子大学 秋田経済法科大学	東北福祉大学	秋田県立大学	東北福祉大学	東北大学 弘前大学	宮城大学 宮城県農業短期大学	八戸大学 東北工業大学
第58回総会 (H15.9～H17.8)	東北大学 岩手大学	秋田県立大学	宮城学院女子大学 いわき明星大学	仙台百百合女子大学	宮城大学	仙台百百合女子大学	東北大学 岩手大学	青森県立保健大学 岩手県立大学	宮城学院女子大学 いわき明星大学
第60回総会 (H17.9～H19.8)	東北大学 宮城教育大学	宮城大学	東北学院大学 岩手医科大学短期大学	東北福祉大学	岩手県立大学	東北福祉大学	東北大学 宮城教育大学	青森県立保健大学 青森公立大学	仙台大学 郡山女子大学
第62回総会 (H19.9～H21.8)	東北大学 秋田大学	岩手県立大学	東北福祉大学 郡山女子大学	東北学院大学	青森県立保健大学	東北学院大学	東北大学 秋田大学	岩手県立大学	東北福祉大学 郡山女子大学
第64回総会 (H21.9～H23.8)	東北大学 福島大学	青森県立保健大学	盛岡大学 仙台大学	石巻専修大学	福島県立医科大学	石巻専修大学	東北大学 福島大学	青森県立保健大学	盛岡大学 仙台大学
第66回総会 (H23.9～H25.8)	東北大学 山形大学	福島県立医科大学	東北薬科大学 東北文教大学・短期大学部	岩手医科大学	山形県立保健医療大学	岩手医科大学	東北大学 山形大学	福島県立医科大学	東北薬科大学 東北文教大学・短期大学部
第68回総会 (H25.9～H27.8)	東北大学 弘前大学	山形県立米沢女子短期大学	東北学院大学 八戸学院大学	東北工業大学	秋田公立美術大学	東北工業大学	東北大学 弘前大学	山形県立米沢女子短期大学 八戸学院大学	東北学院大学 八戸学院大学
第70回総会 (H27.9～H29.8)	東北大学 岩手大学	秋田公立美術大学	東北学院大学 青森中央学院大学	東北文化学園大学	宮城大学	東北文化学園大学	東北大学 岩手大学	秋田公立美術大学	東北学院大学 青森中央学院大学
第72回総会 (H29.9～R1.8)	東北大学 宮城教育大学	宮城大学	修紅短期大学 聖和学園短期大学	東北医科薬科大学	岩手県立大学	東北医科薬科大学	東北大学 宮城教育大学	宮城大学	修紅短期大学 聖和学園短期大学
第74回総会 (R1.9～R3.8)	東北大学 秋田大学	岩手県立大学	仙台青葉学院短期大学 東北芸術工科大学	尚絅学院大学	青森公立大学	尚絅学院大学	東北大学 秋田大学	岩手県立大学	仙台青葉学院短期大学 東北芸術工科大学
第76回総会 (R3.9～R5.8)	東北大学 福島大学	青森県立保健大学	東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部 奥羽大学	仙台百百合女子大学	会津大学短期大学部	仙台百百合女子大学	東北大学 福島大学	青森県立保健大学	東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部 奥羽大学
第78回総会 (R5.9～R7.8)	東北大学 山形大学	会津大学短期大学部	仙台百百合女子大学 東北公益文科大学	仙台青葉学院短期大学	山形県公立大学法人	仙台青葉学院短期大学	東北大学 山形大学	会津大学短期大学部	仙台百百合女子大学 東北公益文科大学
第80回総会 (R7.9～R9.8)	(1館)	(1館)	(2館)	(1館)	(1館)	(1館)	(幹事館)	(幹事館)	(幹事館)

## 研修部会委員の改選について

(常任幹事館 東北大学附属図書館)

[提案理由] 研修部会委員の任期満了(令和5年9月～令和7年8月)に伴うものである。

[参考] これまでの研修部会担当館(H20(2008)年9月～令和7(2025)年8月)

期	任期	国立	公立	私立
<b>(研修部会)</b>				
1	H20.9-H22.8	東北大学 秋田大学	岩手県立大学	八戸大学・八戸短期大学 宮城学院女子大学
2	H22.9-H24.8	東北大学 秋田大学	青森県立保健大学	八戸大学・八戸短期大学 東北福祉大学
<b>(大学教育部会)</b>				
3	H24.10-H25.8	東北大学 山形大学	福島県立医科大学	盛岡大学 東北学院大学 東北福祉大学
4	H25.9-H27.8	東北大学(2名) 山形大学		東北学院大学 東北福祉大学
5	H27.9-H29.8	弘前大学 東北大学 福島大学	秋田県立大学	岩手医科大学 東北学院大学
<b>(研修部会)</b>				
6	H29.9-R01.8	東北大学 秋田大学	宮城大学	青森中央学院大学・青森中央短期大学 東北学院大学
7	R01.9-R03.8	東北大学 秋田大学	岩手県立大学	八戸工業大学 東北学院大学
8	R03.9-R05.8	東北大学 秋田大学	青森公立大学	富士大学 東北学院大学
9	R05.9-R07.8	東北大学 弘前大学	会津大学	東北文化学園大学 (東北学院大学)
10	R07.9-R09.8	(2館)	(1館)	(2館)

令和7年8月5日

東北地区大学図書館協議会  
加盟館各位

東北地区大学図書館協議会  
常任幹事館 東北大学附属図書館  
館長 植木 俊哉  
(公印省略)

東北地区大学図書館協議会第80回総会承合事項について

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

先に通知しておりました「第80回東北地区大学図書館協議会総会」について、別紙のとおり、承合事項1件の提案がありました。

つきましては、承合事項について、下記フォームにて8月26日(火)までにご回答くださいますようお願いいたします。

<https://forms.office.com/r/DhgupjEr5d>

ご不明の点等ございましたら、下記までお知らせください。

東北地区大学図書館協議会事務局  
東北大学附属図書館 総務課  
図書館専門員 渡邊愛子  
TEL:022-795-5910  
Email:aiko.watanabe.c6@tohoku.ac.jp  
980-8576 宮城県仙台市青葉区川内 27-1

第 80 回東北地区大学図書館協議会総会  
承 合 事 項

提案大学名 弘前大学

回答大学名

(提案事項) 参考調査カウンターでの現金収納について

(提案理由)

当館の参考調査カウンターでは、私費での複写料金・貸借料金について、現金での支払いにしているが、現金収納を無くす方法がないか検討している。

大学生協で支払う方法を取っている、キャッシュレス決済を導入している等、私費での支払い方法についてご教示いただきたい。

なお、キャッシュレス決済等を導入している図書館において、現金での収納を一切行っていないか（現金収納も残しているか）について、併せてご教示いただきたい。

## 第 80 回東北地区大学図書館協議会総会 承合事項まとめ

参考調査カウンターでの現金収納について（弘前大学）

提案理由

当館の参考調査カウンターでは、私費での複写料金・貸借料金について、現金での支払いにしているが、現金収納を無くす方法がないか検討している。

大学生協で支払う方法を取っている、キャッシュレス決済を導入している等、私費での支払い方法についてご教示いただきたい。

なお、キャッシュレス決済等を導入している図書館において、現金での収納を一切行っていないか(現金収納も残しているか)について、併せてご教示いただきたい。

Microsoft Forms での回答

回答期間:令和 7 年 8 月 5 日～8 月 26 日

回答館数:53 館（回答率 88%）

- ・自由記述については、「『東北地区大学図書館協議会誌』に掲載してよい」「地区協議会内であれば公開してよい(総会資料としてのみ配布し、『協議会誌』に掲載しない)」と回答した館について、固有名詞は一部削除して記載

### ● 回答館における現金収納の現状

図書館で現金出納を行っている。	33	
教務課等大学内の組織で支払ってもらっている。	11	
大学生協等大学外組織で支払ってもらっている。	0	
図書館がキャッシュレス決済を導入している。	1	現金出納もある。
その他	8	

その他の回答

- ・当館では今のところ私費による対応を行っておりません。
- ・複写・貸借料金を図書館予算で負担(無償化)しているため 現金収納は行っておりません。
- ・私費については現金出納だが、校費(研究費、科研費等)については、大学内の組織で支払っている。校費(研究費、科研費等)で複写、貸借料金の支払いを希望する教職員・大学院生に、図書館は請求書を発行する。利用者は伝票を起票、請求書と伝票を担当部署へ提出し、大学内で決済していた
- ・私費での ILL サービス対応を実施していない。
- ・切手でお支払いいただいている
- ・図書館では現金出納を行っていない。

● 回答館における現金収納方法の検討状況

5の回答の現状維持(特に検討は行っていない)	47
現状以外の方法を検討している	4
現状以外の方法を検討したが、断念した	1

● キャッシュレス決済をされている場合、可能ならばシステム名、導入経緯等ご教示ください。/ 現在、あるいは過去に現金収納以外の方法を検討された場合、方法や経緯についてご教示下さい。

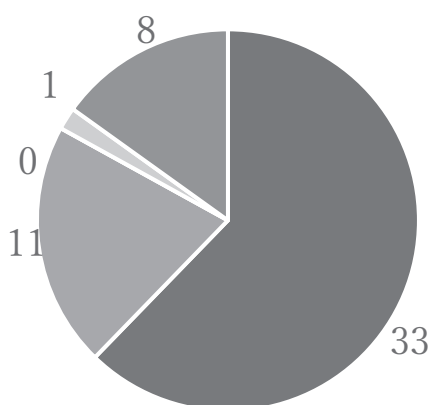
- ・「Square ターミナル」:利用者への利便性向上と業務削減のため、キャッシュレス決済を導入した。
- ・教員から、複写料金・貸借料金の公費での支払いに際し、現金での立替払いを個人研究費等の予算から直接差し引きたいとの要望があり、処理方法について検討。手続き上の懸念より検討を中止していたが、2025年度、検討を再開した。
- ・ILL 費用の大学負担化により、学内者の現金支払は原則なくなったが、学外者への複写物提供にあたって、現在も現金での支払となっているため、現金収納の件数が大幅に減少しているものの、完全にはなくなっていないのが現状である。今後は請求書による前納払い(銀行振り込み)を視野に検討していければと考えている。

● そのほか、文献複写・貸借料金等についてのご意見、補足等をご記入ください。

- ・ 本館からの依頼:現金で受け取り、領収書を発行、現金はその日のうちに総務課に送付し、最終的に依頼先には総務課から相手先に支払ってもらっている。他館からの依頼受付:本館にあるコピー機は売店のものであり、複写の後は売店にお渡しして送付してもらい、相手館への請求は売店が行い、売店宛に支払ってもらっている。
- ・ 当館でも私費の現金出納をなくしたいと色々検討中のため、この承合事項の集計結果、他館の状況に大変興味があります。可能な限りの情報開示を望みます。
- ・ キャッシュレス決済の手数料負担の問題、利用者側でキャッシュレス不可(アプリを利用していないなど)の場合などがあり、現時点で完全に現金出納をなくすことは難しいのではないかと考えています。
- ・ 大学でキャッシュレス決済を令和7年4月に導入した。キャッシュレス決済以前も現金収納は大学内の別部署で行っていたため、図書館では現金収納を行っていなかった。
- ・ 2025年度より、本学構成員のILLの費用は大学が全額負担している。そのため現金による支払いは激減している。本館では、現金出納が発生した場合は、キャンパス内の会計業務を担当しているキャンパス事務センターで処理を行っている。
- ・ 2025年4月からILL費用が大学負担となったため、学内者に関する現金の取扱いはほぼなくなり、現金収納が発生するのは学外者(窓口受付及び現金書留)のみに限定されるようになった。その場合は図書館の窓口で対応しているが、機会は年に数回程度となっている。

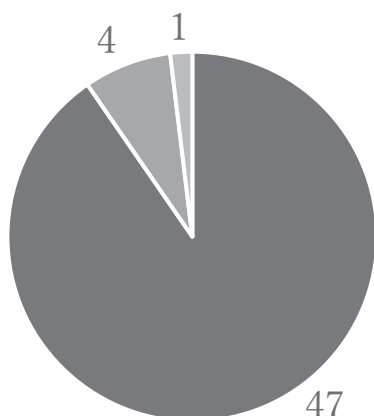
- ・ 2025年4月からILL費用が大学支弁となったため、現金扱いはほぼなくなった。
- ・ 現金収納は望ましくないですが、現状として他の方法への移行も難しいです。
- ・ 私費の支払いは総務課財務会計担当にて現金のみ対応している。
- ・ 周囲の環境整備状況の如何に寄っては、キャッシュレス化を検討しなければならないと考えている。
- ・ 支払方法は図書館ではなく他部署で決めている。
- ・ 図書館のサービスとして蔵書の複写を常識の範囲で無償対応している。

### 図書館に置ける現金出納の状況



- 図書館で現金出納を行っている。
- 教務課等大学内の組織で支払ってもらっている。
- 大学生協等大学外組織で支払ってもらっている。
- 図書館がキャッシュレス決済を導入している。
- その他

### 回答館における現金収納方法の検討状況



- 5の回答の現状維持（特に検討は行っていない）
- 現状以外の方法を検討している
- 現状以外の方法を検討したが、断念した

## 東北地区大学図書館協議会 第80回総会承合事項

先に通知しておりました「第80回国立大学図書館協会東北地区協会総会」について、以下のとおり、承合事項1件（別紙2）の提案がありました。つきましては、承合事項について、下記8月26日（火）までにご回答くださいますようお願いいたします。

\* 必須

### 1. 加盟館名 \*

### 2. 加盟館番号 \*

東北地区大学図書館協議会誌76号に巻末に掲載の名簿から番号を記入してください。

値は数値にする必要があります

### 3. ご回答者 \*

### 4. 連絡先メールアドレス \*

## 承合事項 1 参考調査カウンターでの現金収納について（弘前大学）

提案理由（弘前大学）

当館の参考調査カウンターでは、私費での複写料金・貸借料金について、現金での支払いにしているが、現金収納を無くす方法がないか検討している。

大学生協で支払う方法を取っている、キャッシュレス決済を導入している等、私費での支払い方法についてご教示いただきたい。

なお、キャッシュレス決済等を導入している図書館において、現金での収納を一切行っていないか（現金収納も残しているか）について、併せてご教示いただきたい。

### 5. 回答館における現金収納の現状 \*

なお、大学内の組織、大学生協等で支払ってもらっている場合に、その支払い方法がキャッシュレスが可能な場合は、11の自由記述欄に補足としてその旨回答ください。

- 図書館で現金出納を行っている。
- 教務課等大学内の組織で支払ってもらっている。
- 大学生協等大学外組織で支払ってもらっている。
- 図書館がキャッシュレス決済を導入している。
- その他

### 6. 5の回答がその他の場合の具体的内容をご教示ください。

### 7. 回答館における現金収納方法の検討状況 \*

- 5の回答の現状維持（特に検討は行っていない）
- 現状以外の方法を検討している
- 現状以外の方法を検討したが、断念した

### 8. キャッシュレス決済を導入している場合 \*

- 現金収納もある
- 現金収納はあるが図書館外で支払ってもらっている。
- 現金収納は一切ない。

### 9. キャッシュレス決済をされている場合、可能ならばシステム名、導入経緯等ご教示ください。

現在、あるいは過去に現金収納以外の方法を検討された場合、方法や経緯についてご教示下さい。

### 10. そのほか、文献複写・貸借料金等についてのご意見、補足等をご記入ください。

#### 11. 回答の公開範囲

自由記述の回答について、希望される公開範囲をご回答ください。

承合事項は、原則として、総会資料の一部として「東北地区大学図書館協議会誌」に掲載され、インターネットで公開されます。

※自由記述が特になかった場合は、「東北地区大学図書館協議会誌」に掲載してよいを選択してください。

- 「東北地区大学図書館協議会誌」に掲載してよい
- 地区協議会内であれば公開してよい（総会資料としてのみ配布し、協議会誌に掲載しない）
- 提案大学にのみ公開してよい

---

このコンテンツは Microsoft によって作成または承認されたものではありません。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。

 Microsoft Forms

## 東北地区大学図書館協議会会則

昭和22年 5月30日 制定

令和 2年 9月30日 最近改正

第1条 本会は東北地区大学図書館協議会と称する。

第2条 本会は東北地区における大学および国立工業高等専門学校に附属する図書館をもって組織し、図書館の施設、運営、管理などの進歩改善について、相互に連携協力することを目的とする。

第3条 本会は毎年1回、加盟館輪番により総会を開催する。但し必要に応じ、加盟館過半数の賛成を得て、臨時総会を開くことができる。

第4条 本会の目的を達成するため、随時図書館に関する講習会を開催、その他必要と認める事業を行うものとする。

第5条 本会に顧問を置くことができる。

顧問はかつて加盟館に在籍し、本会において特に顕著なる功績のあった者の中から、総会においてこれを推薦する。

顧問は総会に出席し、また随時意見を述べるすることができる。

第6条 本会に常任幹事館、及び幹事館若干を置く。

1. 常任幹事館、幹事館は幹事会を組織し、協議会の運営にあたる。
2. 幹事会は毎年少なくとも1回招集するものとする。
3. 常任幹事館は協議会の会務を処理し、幹事会を招集する。
4. 常任幹事館、幹事館は総会において互選によってこれを定め、その任期を2カ年とする。但し、重任することができる。

第7条 本会の会計事務を監査するため若干の監査館をおく。監査館は総会において互選によってこれを定め、その任期を2カ年とする。但し、重任することができる。

第8条 本会の事務所は、常任幹事館内におく。

第9条 本会の経費は、会費その他の収入をもってあてる。会費は年額12,000円とする。

- 2 本会の会計年度は毎年9月1日にはじまり、翌年8月31日に終わる。

第10条 総会の票決権は1館につき1票とし、議決は出席館過半数の賛成を要する。

第11条 本会則は総会の議決によらなければこれを変更することができない。

附 則

本会則は昭和24年12月2日から施行する。

(略)

附 則 (令和2年9月30日第75回総会)

この会則は、令和2年9月1日から施行する。

東北地区大学図書館協議会表彰規程

平成19年 9月20日制定

(趣旨)

第1条 この規程は、東北地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）会則第4条に基づき事業として加盟館の職員を表彰するため、必要な事項を定めるものとする。

(表彰の区分)

第2条 表彰は、次の各号の一に該当する者について行う。

- (1) 図書館活動又は図書館情報学の研究、調査等にすぐれた業績のあった者
- (2) 協議会の運営、発展のために功績顕著であった者

(応募の方法)

第3条 表彰を受けようとする者は、所属する加盟館の長に応募の申請を行う。加盟館の長は、応募の申請に基づき常任幹事館へ推薦を行う。

(審査委員会)

第4条 前条の推薦があった時は、審査委員会が審査を行う。

- 2 審査委員会は、常任幹事館及び加盟館の互選による審査委員館若干をもって組織する。
- 3 審査委員会に主査館を置き、常任幹事館をもって充てる。
- 4 審査委員会は、必要に応じ学識経験者の意見を参考とすることができる。

(表彰者の決定)

第5条 幹事会は、審査委員会の審査に基づき、表彰者を決定する。

(表彰状の授与等)

第6条 表彰に際しては、別紙様式による表彰状に併せて記念品を贈呈することができる。

- 2 表彰は、協議会の総会において行う。

(取扱要項への委任)

第7条 この規程に定めるもののほか、表彰について必要な事項は別に定める。

附 則

- 1 この規程は、平成19年9月20日から施行する。
- 2 東北地区大学図書館協議会学術奨励規程（昭和40年6月2日制定）は、廃止する。
- 3 東北地区大学図書館協議会表彰規程（昭和38年6月30日制定）は、廃止する。

東北地区大学図書館協議会表彰規程取扱要項

平成19年 9月20日制定

- 第1 この取扱要項は、東北地区大学図書館協議会表彰規程（以下「規程」という。）第7条の規定に基づき表彰について必要な事項を定めるものである。
- 第2 規程第2条第1号の「図書館活動又は図書館情報学の研究、調査等にすぐれた業績のあった者」とは次に掲げる者をいう。
- (1) 図書館活動における業績 業務処理の改善や業務遂行上の成果等で、東北地区大学図書館協議会加盟館の活動において先導的な意義を有するもの。
  - (2) 図書館情報学の研究、調査等の業績 図書館情報学に関する著作で、東北地区大学図書館協議会加盟館の活動に対して啓発性を有するもの。
  - (3) 前2号の業績は、個人以外にグループも対象とする。
- 第3 規程第2条第2号の「協議会の運営、発展のために功績顕著であった者」とは、加盟館に5年以上勤務した者のうち、規定文言の主旨に合致するものを対象とする。
- 第4 規程第3条の推薦の期日は、毎年5月末日までとする。
- 2 推薦は、別紙文書により行う。
  - 3 応募については、自薦、他薦を問わないものとする。
- 第5 主査館は、推薦調書（各写）を審査委員会に送付し、審査を依頼するものとする。
- 第6 審査は、会議又はその他の方法による。
- 第7 推薦調書を提出した審査委員館は、審査には加わらない。
- 第8 常任幹事館から推薦調書の提出があった場合は、常任幹事館を除く審査委員館の互選によって主査館を決定する。
- 第9 審査委員館は、当分の間、会則第6条に規定する幹事館をもって充てる。
- 第10 審査委員館は、審査結果を文書にて、その年の7月末日までに常任幹事館に報告する。
- 第11 常任幹事館は、審査委員会の結果を総会に報告するものとする。
- 第12 受賞者等については、その受賞事由、業績等の概要等を協議会誌に公表するものとする。

附 則

- 1 この取扱要項は、平成19年9月20日から施行する。
- 2 学術奨励賞候補論文等審査取扱要項（平成2年9月20日制定）は、廃止する。

東北地区大学図書館協議会研修部会設置要項

制 定 平成20年 9月18日  
最終改正 平成30年 2月 1日

(目的)

第1条 東北地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）に研修部会（以下「部会」という。）を設置し、具体的な研修実施のための企画立案を行い、協議会加盟館員の人材育成と交流の機会を図る。

(活動内容)

第2条 部会は、次に掲げる事項を行う。

- (1) 部会が主体となって実施する研修の企画
- (2) 研修会会場館（地区）との協力による集合型研修への協力
- (3) 研修結果・成果の協議会ウェブサイト等を利用した公開

(組織)

第3条 部会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 国立大学部会から推薦された者 2名
- (2) 公立大学部会から推薦された者 1名
- (3) 私立大学部会から推薦された者 2名

2 部会に主査を置く。主査は、委員の互選によるものとする。

(委嘱)

第4条 前条第1項に掲げる委員は、常任幹事館の館長が委嘱する。

(任期)

第5条 第3条第1項に掲げる委員の任期は2年とする。ただし、再任をさまたげない。

(協議会からの援助)

第6条 部会の活動に対して、協議会は必要に応じて援助することができるものとする。

(庶務)

第7条 部会の庶務は常任幹事館において処理する。

(その他)

第8条 この要項に定めるもののほか、必要な事項は部会が別に定める。

附 則

- 1 この要項は、平成20年9月18日から施行する。
- 2 東北地区大学図書館協議会研修検討WGは、廃止する。

附 則

この要項は、平成30年2月1日から施行する。

## 第79回東北地区大学図書館協議会総会 議事録

期日：令和6(2024)年9月13日(金) 13:30～17:00

会場等：尚綱学院大学(ハイブリッド開催)

当番館：尚綱学院大学図書館

参加者：対面参加 21 大学 22 名(国立 6、公立 3、私立 13)

オンライン参加 27 大学 30 名(国立 5、公立 9、私立 16)

議事

司会：佐々木真也

(尚綱学院大学 教育研究支援課長)

### 1. 開会

尚綱学院大学学長鈴木道子、図書館長太田健児より挨拶があった。

### 2. 基調講演

東北学院大学文学部准教授 吉植庄栄氏より、「約 10 年間、情報リテラシー教育業務を担当して：図書館員と教員の視点から」と題して講演頂いた。

### 3. 議長選出

当番館、尚綱学院大学佐々木教育研究支援課長から、当番館 太田健児館長を議長として選出することが提案され、承認された。

### 4. 総会

議長：当番館館長 太田健児

#### <4-1 報告事項>

##### 1 令和5年度活動報告について

・常任幹事館東北大学附属図書館 三角課長より、【資料 1】「令和5年活動報告」について報告された。

##### 2 令和5年度一般報告：国公立大学図書館の動向

(一般報告)国立大学部会関係

・常任幹事館東北大学附属図書館三角課長より、【資料 2-1】「国公立大学図書館等の動向」、ならびに【資料 2-2】「国立大学部会関係」について報告された。

(一般報告)公立大学部会関係

・幹事館会津大学短期大学部附属図書館佐々木主務より、【資料 2-3】「公立大学部会関係」について報告された。

(一般報告)私立大学部会関係

・幹事館仙台白百合女子大学佐藤事務長より、【資料 2-4】「私立大学部会関係」について報告された。

3 令和5年度研修部会活動報告について

- ・東北学院大学大岡主査より、【資料3】「東北地区大学図書館協議会研修部会 活動報告」について報告された。

**<4-2 協議事項>**

1 令和5年度決算報告(案)について

2 令和5年度記念事業基金決算書(案)について

3 令和5年度会計監査報告について

- ・東北大学附属図書館 三角課長より【資料4】「令和5年度決算書(案)」、【資料5】「令和5年度記念事業基金決算書(案)」について報告された。また、監査館 山形県立米沢栄養大学 井瀧総務企画課長より、監査結果について報告された。【資料6】

※結果:原案通り承認された。

4 令和6年度事業計画(案)について

- ・東北大学附属図書館三角課長より【資料7】「令和6年度事業計画(案)」について提案された。なお、令和6年度は福島地区が合同研修会の開催当番である。

※結果:原案通り承認された。また令和7~9年度の当番県についても承認された。

5 令和6年度予算(案)について

6 令和6年度記念事業基金予算(案)について

- ・東北大学附属図書館三角課長より【資料8】「令和6年度予算書(案)」、「令和6年度記念事業基金予算書(案)」について提案された。

※結果:令和6年度予算書(支出の部)合計金額を一部修正のうえ、承認された。

7 第80回総会の当番地区(館)について

- ・東北大学附属図書館三角課長より【資料9】「第80回総会の当番地区(館)」について提案された。

※結果:提案通り、次年度の当番地区は秋田県であることを確認した。また、82~89回の当番地区についても、案の通りに承認された。

8 第80回記念事業(案)について

- ・東北大学附属図書館三角課長より【資料10】「東北地区大学図書館協議会 第80回総会記念事業(案)」について提案された。

(1) 記念講演会…東北ゆかりの作家による講演会。講師は幹事館に一任頂きたい。2025年秋開催予定とするが、総会にあわせて実施するか、別途開催するかは、今後検討する。

(2) 80回記念ショート動画制作…各館より写真提供及び制作チーム結成。2025年夏、遅くとも次回総会までには公開予定

※結果:提案通り承認された。

#### <4-3 承合事項>

東北大学附属図書館三角課長より説明。国際教養大学から「2025 年度からのオープンアクセス義務化に関連して、大学図書館として準備していることがあれば教えてほしい」と承合事項が出された。資料の通り、設問事項を設け、7/29～8/23 の期間で Microsoft Forms に回答入力を依頼し、39 機関から回答があった。詳細は資料 P35～41 の通り。

東北地区を対象とした、かつ国公立大学を横断して実施したアンケート結果は大変貴重。協議会誌にまとめる方向で、国際教養大学とも相談して進めていきたい。

#### 5. 部会

国立、公立、私立大学に分かれて、会合が行われた。

#### 6. 全体会議

##### 6-1 各部会より報告された。

国立大学:東北大学三角課長…今後の地区の研修計画について、意見交換を行った。

公立大学:宮城大学茅原センター長…OA化についての進捗について意見交換を行った。

私立大学:東北公益文科大学西村館長…東北学院大学が研修部会を辞任する意向について、協議の結果承認された。後任は特に決めず、2025 年 8 月末までの任期を、東北文化学園大学に一任することとした。

##### 6-2 その他

・令和 6 年度予算書について、予算書の収入の部と支出の部の合計額に齟齬があるとの指摘があった。事務局で確認し、支出の部予備費令和6年度予算額2,631,704は、「2,431,704」の誤記であると確認した。後日、差し替えの資料を送付する。

#### 7. 閉会

次年度、当番館となる秋田大学図書館・情報推進課 利課長より挨拶があった。

#### 16:30 閉会。

閉会后、見学希望者が図書館、礼拝堂等の施設を見学した。

以上

令和7年6月9日

東北地区大学図書館協議会  
加盟館長 各位

秋田大学附属図書館長  
千代延 俊  
(公印省略)

2025（令和7）年度 第80回東北地区大学図書館協議会総会の開催について（通知）

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、第80回東北地区大学図書館協議会総会を下記のとおり開催いたします。本年度は対面で開催いたしますので、各館（各大学）におかれましては、1名以上のご参加をお願いいたします。

記

日 時：2025年9月26日（金）13:30～17:00

参加方式：対面

会 場：秋田大学手形キャンパス（秋田市手形学園町1-1）  
60周年記念ホール（メイン会場（構内図をご参照ください））

内 容：

- 1) 開会
- 2) 講演会（講師調整中）
- 3) 総会（報告事項、協議事項、承合事項）
- 4) 分科会（国立・公立・私立）
- 5) 全体会議
- 6) 次期当番館挨拶
- 7) 閉会

※ご希望の方は本学図書館を見学ください（自由見学）

※懇親会を予定していますので、ご都合が許すようであればご参加ください（懇親会：17:30から2時間程度、参加費6,000円程度、場所は秋田駅前）

回 答：出欠及び協議事項/承合事項について、下記リンク先のフォームから、それぞれ7月10日（木）までに回答下さい。

➤ 出欠フォーム：<https://forms.office.com/r/reJELNWTZN>

➤ 協議事項等提出フォーム：<https://forms.office.com/r/i4S7RiYS72>

※7月中旬頃、協議事項等に対する各館の対応状況の依頼を送付します。

そ の 他：

- 1) 秋田大学手形キャンパスへのアクセスは、本学HPをご参照ください。  
<https://www.akita-u.ac.jp/honbu/access/>
- 2) 十分な駐車スペースがないため、自家用車のご利用はご遠慮願います。
- 3) バス利用の場合 JR秋田駅西口12番乗り場から「秋田大学前」下車（所用時間約5分）
- 4) 資料は整い次第、電子媒体で送付します（紙媒体での配付はありません）。

担当

秋田大学図書館・情報推進課

総務担当 小島

E-mail: [libsomu@jimu.akita-u.ac.jp](mailto:libsomu@jimu.akita-u.ac.jp)

Tel: 018-889-2273

# 手形地区施設配置図

Tegata Campus Map



ネーミングライツ  
※1 TDK Venture Spirit Hall  
令和7年4月22日～

## 第 80 回東北地区大学図書館協議会総会 議事要旨

期日：令和 7(2025)年 9 月 26 日(金) 13:30～16:30

会場：秋田大学

当番館：秋田大学附属図書館

参加者：30 大学 41 名(国立 7、公立 9、私立 14)(今回新規加盟館を含む)

議事

司会：利 勝利

(秋田大学 図書館・情報推進課長)

### 1. 開会

当番館 秋田大学附属図書館 千代延館長から、開会の挨拶があった。

### 2. 基調講演

東京大学大学院 人文社会系研究科准教授 大向一輝 氏から、「AIと大学図書館：『ことば』を扱うシステムの内実と可能性」と題して講演をいただいた。

### 3. 議長選出

当番館 秋田大学 利図書館・情報推進課長から、当番館の千代延館長を議長として選出することが提案され、承認された。

### 4. 総会

議長：当番館館長 千代延 俊

#### <4-1 報告事項>

##### ①令和 6 年度活動報告について

- ・常任幹事館 東北大学附属図書館 吉田課長から、【資料 1】「令和 6 年度活動報告」に基づき報告があった。

##### ②令和 6 年度一般報告：国公立大学図書館の動向

(一般報告)国立大学部会関係

- ・常任幹事館 東北大学附属図書館 吉田課長から、【資料 2-1】「国公立大学図書館等の動向」及び【資料 2-2】「国立大学部会関係」に基づき報告があった。

(一般報告)公立大学部会関係

- ・幹事館 会津大学短期大学部附属図書館 漆谷館長から、【資料 2-3】「公立大学部会関係」に基づき報告があった。

(一般報告)私立大学部会関係

- ・幹事館 仙台白百合女子大学図書館 谷藤主任から、【資料 2-4】「私立大学部会関係」に基づき報告があった。

③令和 6 年度研修部会活動報告について

- ・東北大学附属図書館 吉田課長から、【資料 3】「東北地区大学図書館協議会研修部会活動報告」に基づき報告があった。

④ 第 80 回記念事業について

- ・東北大学附属図書館 吉田課長から、【資料 4】「第 80 回総会記念事業について」に基づき報告があった。

**<4-2 協議事項>**

① 新規加盟館について

- ・東北大学附属図書館 吉田課長から、【資料 5】「東北地区大学図書館協議会への加盟について(申請)」に基づき報告があり、原案のとおり承認された。また、東北農林専門職大学附属図書館 藤本館長から挨拶があり、同大学及び同図書館の説明があった。

② 令和 6 年度決算報告(案)について

③ 令和 6 年度記念事業基金決算書(案)について

④ 令和 6 年度会計監査報告について

- ・東北大学附属図書館 吉田課長から、【資料 6】「令和 6 年度決算書(案)」、【資料 7】「令和 6 年度記念事業基金決算書(案)」に基づき報告があった。また、監査館 山形県公立大学法人附属図書館 角屋係長から、【資料 8】「令和6年度会計監査報告」に基づき報告があり、それぞれ原案のとおり承認された。

⑤ 令和 7 年度事業計画(案)について

- ・東北大学附属図書館 吉田課長から、【資料 9】「令和 7 年度事業計画(案)」に基づき提案があり、原案のとおり承認された。また、令和7年度合同研修会は、宮城地区が開催当番となることを確認した。

⑥ 令和 7 年度予算(案)について

⑦ 令和 7年度記念事業基金予算(案)について

- ・東北大学附属図書館 吉田課長から、【資料 10】「令和 7 年度予算書(案)」、「令和 7 年度記念事業基金予算書(案)」について提案された。また、両予算とも繰越金や予備費が大きな金額となっていることから、その有効活用を今期の幹事館の要検討事項としたいとの提案があり、承認された。

⑧ 第 81 回総会の当番地区(館)について

- ・東北大学附属図書館 吉田課長から、【資料 11】「第 81 回総会の当番地区(館)について」に基づき説明があり、次回当番地区が山形地区であることを確認した。なお、当番大学は山形大学とすることが承認された。

⑨ 役員館の選出について

- ・東北大学附属図書館 吉田課長から、【資料 12】「役員館の選出について」に基づき説明があり、各部会で幹事館及び監査館を選出し、全体会議で報告いただきたい旨の依頼があった。また、常任幹事館については、推薦等がなかったことから、議長から、引き続き東北大学に依頼したい旨の提案があり、承認された。

⑩ 研修部会委員の改選について

- ・東北大学附属図書館 吉田課長から、【資料 13】「研修部会委員の改選について」に基づき説明があり、各部会で研修部会担当館を選出した後、全体会議で報告をし、後日、当該大学から委員を推薦後、事務局から委嘱手続きを行うことが承認された。

<4-3 承合事項>

提案の趣旨について、提案館の弘前大学附属図書館 羽瀧館長から説明があり、各部会等で必要に応じて意見交換を行うこととした。

5. 部会

国立、公立、私立大学に分かれて、会合が行われた。

6. 全体会議

6-1. 各部会からの報告

各部会から、意見交換の結果について報告があった。

(1) 役員館の選出について

- ① 国立大学部会(報告館:東北大学)  
幹事館として、東北大学と弘前大学を選出した。
- ② 公立大学部会(報告館:国際教養大学)  
幹事館として、山形県立保健医療大学を、監査館として国際教養大学を選出した。
- ③ 私立大学部会(報告館:奥羽大学)  
幹事館として、尚絅学院大学と医療創世大学を、監査館として東北学院大学を選出した。

(2) 研修部会担当館の選出について

- ① 国立大学部会(報告館:東北大学)  
担当館として、岩手大学と東北大学を選出した。
- ② 公立大学部会(報告館:国際教養大学)  
担当館として、山形県公立大学法人附属図書館を選出した。
- ③ 私立大学部会(報告館:東北公益文科大学)  
担当館として、仙台大学とノースアジア大学を選出した。

(3) その他

- ① 国立大学部会(報告館:東北大学)  
特になし

② 公立大学部会(報告館:国際教養大学)

SSO認証システムに関して確認をしたところ、3館が導入をしており、紀要の電子化に関して確認をしたところ、2館がオンラインのみにより出版している旨の報告があった。

③ 私立大学部会(報告館:東北公益文科大学)

キャッシュレス決済に関して確認したところ、実施例や意見等はなかったことの報告があった。また、東北公益文科大学が名称はそのまま公立化の準備をしており、来年度は公立大学部会に移ることとなる旨の報告があった。

6-2. その他

・特になし

7. 閉会

次の当番館となる山形大学附属図書館 池田中央図書館長から挨拶があり、最後に、現当番館 秋田大学附属図書館 千代延館長から挨拶があった。

また、16:30 閉会后、見学希望者が秋田大学の中央図書館を見学した。

以上

---

# AIと大学図書館 「ことば」を扱うシステムの内実と可能性

大向 一輝  
東京大学大学院人文社会系研究科

## 自己紹介

- 1999: 生物の進化を模倣した人工知能技術の研究
- 2002: インターネット上の知識共有・コミュニケーションの研究
- 2009: 学術情報サービスCiNiiの開発責任者(～2019)
- 2019: メディア芸術データベースのプロデューサー(～現在)
- 2019: デジタル人文学の研究教育(～現在)
- 2020: 人工知能学会セマンティックウェブとオントロジー研究会主査(～2022)
- 2020: 人工知能学会編集委員会(～2024)
- 2021: 人工知能学会理事(～2023・2025～現在)
- 2021: デジタルアーカイブ学会理事(～現在)

# AIとは

- 人工知能学会設立趣意書
  - 頭脳の働きに代わる機械が欲しいという人類の夢は、大量の数値データに対して複雑な計算を高速に行うという面では、電子計算機により実現された。現在の情報処理技術はこの意味においては、人間の能力をはるかに越えたものといえるが、一方、思考という本質的な面では、全くといっていいほど無力である。人工知能は大量の知識データに対して、高度な推論を的確に行うことを目指したものである。(1990)
- 人工知能 - Wikipedia
  - 「『計算』という概念と『コンピュータ』という道具を用いて『知能』を研究する計算機科学の一分野」を指す語。「言語の理解や推論、問題解決などの知的行動を人間に代わってコンピュータに行わせる技術」、または、「計算機による知的な情報処理システムの設計や実現に関する研究分野」ともされる。(参照:2024-03-28)



『人工知能とは』近代科学社(2016) [https://www.kindaikagaku.co.jp/book\\_list/detail/9784764904897/](https://www.kindaikagaku.co.jp/book_list/detail/9784764904897/)

# AIと図書館

東京大学OPAC [https://opac.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/opac/opac\\_search/](https://opac.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/opac/opac_search/)

# AIと図書館

東京大学 OPAC  
The University of Tokyo Library OPAC

検索結果一覧に戻る

＜図書＞  
キョウシン スル デジタル ジンブンガク デジタル アーカイブ  
共編するデジタル人文学とデジタルアーカイブ / 鈴木親彦責任編集  
(デジタルアーカイブ・ペーシックス; [2-2])

所蔵情報も非表示

本館キャンパス

基蔵番号	巻次	請求記号	登録番号	注	文庫区分	冊数	コメント	コピー	PDF	予約/取用
総合館・3F 関係(ホー)		007.5:073.2	001516967				[UToyo Faculty Works]	○	○	○
経営・資料室		K0024	551413139					○	○	○
経営・集数		007.5:KY	5710842807					○	○	○

本館以外キャンパス

館名	巻次	請求記号	登録番号	注	文庫区分	冊数	コメント	コピー	PDF	予約/取用
総合館・3F 関係		007.5:073.2	0014709835					○	○	○

書誌詳細も非表示

出版情報 東京：勉誠社，2023.7  
大きさ 10, 232p；厚紙；21cm

内容記号  
デジタル・ヒューマンイーズとデジタルアーカイブ / 鈴木親彦 [編]  
デジタルアーカイブが社会実装に向けたレイヤー機能の必要性と人文学の役割 / 永崎研 [編]  
人文学の多様な研究基盤構築 / 山本和明 [編]  
大学図書館におけるD+とデジタルアーカイブ / 西岡千文 [編]  
デジタルアーカイブがデジタル・ヒューマンイーズに与える影響 / 大石大輔 [編]  
デジタルアーカイブの活用に向けたコミュニティ形成 / 小島真樹 [編]  
デジタル・ヒューマンイーズとデジタルアーカイブ / 鈴木親彦 [編]

印刷  
メール送信  
RefWorks出力  
EndNote出力  
Mendeley出力

このページのリンク  
<https://opac.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/>

他の検索サイト  
UTokyo Article Link  
CINii Books  
国立国会図書館サーチ  
カール  
Google Books  
Google Scholar  
WorldCat  
JAPAN SEARCH  
TREE

内容記号  
デジタル・ヒューマンイーズとデジタルアーカイブ / 永崎研 [編]  
デジタルアーカイブが社会実装に向けたレイヤー機能の必要性と人文学の役割 / 永崎研 [編]  
人文学の多様な研究基盤構築 / 山本和明 [編]  
大学図書館におけるD+とデジタルアーカイブ / 西岡千文 [編]  
デジタルアーカイブがデジタル・ヒューマンイーズに与える影響 / 大石大輔 [編]  
デジタルアーカイブの活用に向けたコミュニティ形成 / 小島真樹 [編]  
デジタル・ヒューマンイーズとデジタルアーカイブ / 鈴木親彦 [編]

一般記号  
書籍誌・書名の出版者表記 輸送出版  
巻次 巻次  
巻次 巻次

著者  
鈴木 親彦 (SUGIYAMA, MIYUKI)

著者  
BSH+デジタルアーカイブ  
NDL SH+人文科学  
NDL SH+デジタルアーカイブ

分類  
NDCS:007.5  
NDCI:0007.5

本文言語  
日本語

書籍ID  
200366858

ISBN  
9784586303022

NCID  
B003078409 CINii

目次/あらすじ  
「OpenID」より  
本書はデジタル人文学とデジタルアーカイブ  
の関係を論じた。デジタルアーカイブ  
が社会実装に向けたレイヤー機能の必要性と人文学の役割  
を論じた。デジタルアーカイブがデジタル・ヒューマンイーズ  
に与える影響を論じた。デジタルアーカイブの活用に向けた  
コミュニティ形成を論じた。デジタル・ヒューマンイーズと  
デジタルアーカイブ / 鈴木親彦 [編]

収録資料  
デジタルアーカイブの理論と実践 / 鈴木親彦 [編]  
デジタルアーカイブの理論と実践 / 鈴木親彦 [編]  
デジタルアーカイブの理論と実践 / 鈴木親彦 [編]  
デジタルアーカイブの理論と実践 / 鈴木親彦 [編]  
デジタルアーカイブの理論と実践 / 鈴木親彦 [編]  
デジタルアーカイブの理論と実践 / 鈴木親彦 [編]  
デジタルアーカイブの理論と実践 / 鈴木親彦 [編]  
デジタルアーカイブの理論と実践 / 鈴木親彦 [編]

東京大学 OPAC [https://opac.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/opac/opac\\_search/](https://opac.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/opac/opac_search/)

# AIと図書館

Web NDL Authorities  
国立国会図書館典拠データ検索・提供サービス

デジタルアーカイブ

詳細情報 グラフィカル表示

ID 01056398

典拠種別 skos:Scheme 普通件名

名称/タイトル デジタルアーカイブ

名称/タイトルのカナ読み digitalarchive

名称/タイトルのローマ字読み Dejitarukaibu

上位語 skos:broader 情報活動

関連語 skos:related D+コミュニケーション: 情報処理: デジタル方式: デジタル化

分類記号 007.5 (NDCI0); 014.616 (NDC10); 007.5 (NDC9); 014.614 (NDC9); U1.31 (NDLC); U1.755 (NDLC)

出典 dotsource デジタルアーカイブ白書: 2001 imidas: 2006

作成日 dcterms:issued 2006-09-01

最終更新日 dctms:modified 2022-07-26T15:56:56

外部サイトへのリンク Wikidataで検索を行う。

国立国会図書館のサービス  
以下のリンクボタンから国立国会図書館サーチで検索ができます。

件名検索

Web NDL Authorities  
国立国会図書館典拠データ検索・提供サービス

デジタルアーカイブ

詳細情報 グラフィカル表示

グラフィカル表示

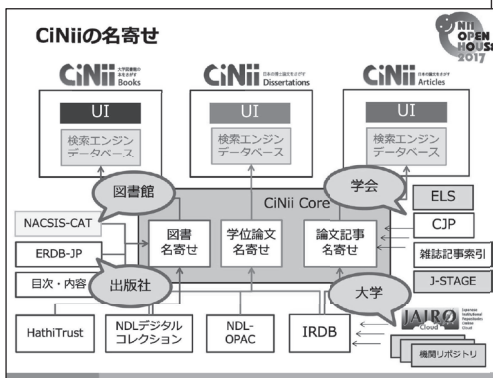
デジタル化  
デジタル化方式  
デジタルアーカイブ  
D+コミュニケーション

国立国会図書館のサービス  
以下のリンクボタンから国立国会図書館サーチで検索ができます。

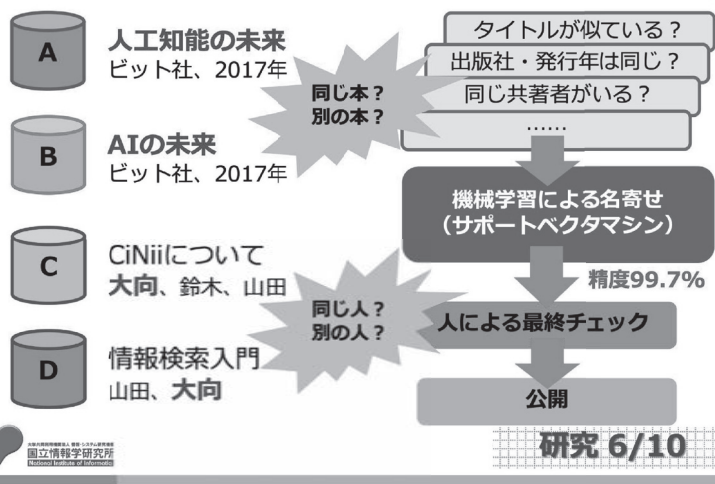
件名検索

Web NDL Authorities 国立国会図書館典拠データ検索・提供サービス <https://id.ndl.go.jp/auth/ndla>

# AIと図書館

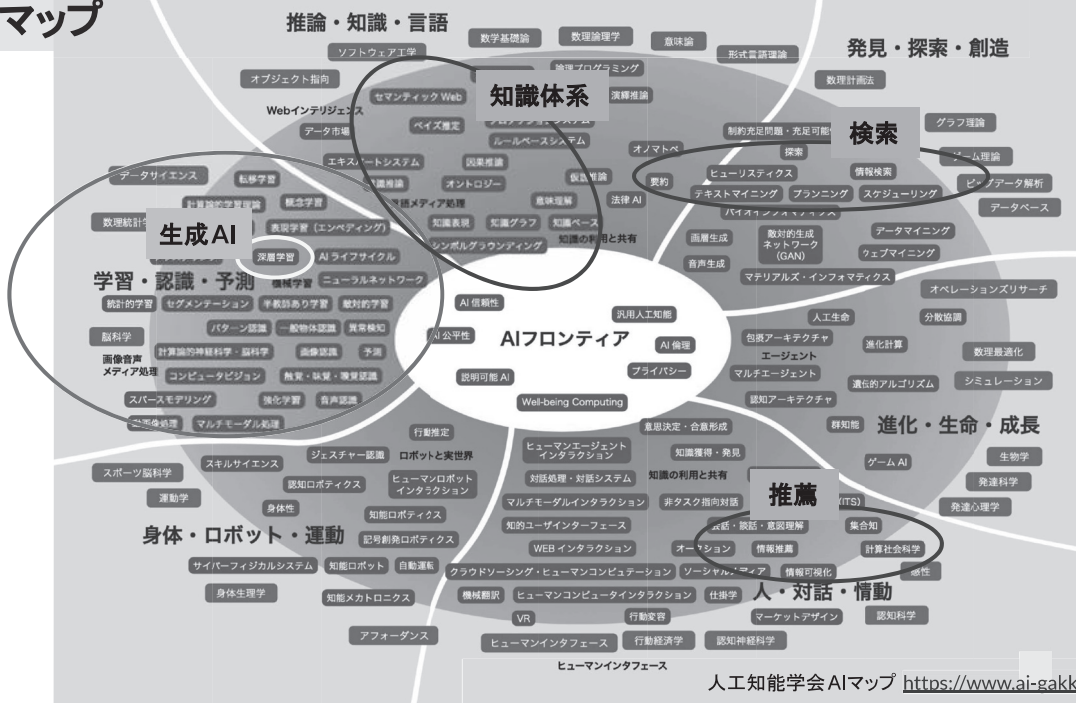


## 名寄せと機械学習



大向一輝「多様なニーズに応える学術情報サービスCiNii」NIIオープンハウス2017 研究100連発  
<https://www.youtube.com/watch?v=qD2ZmqZxgm8>

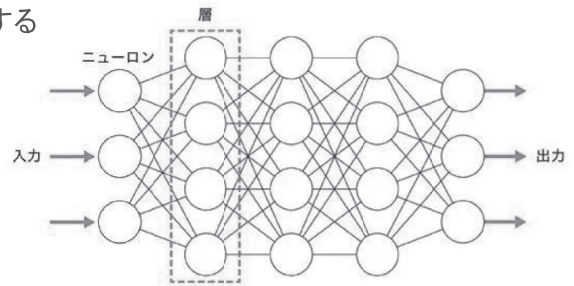
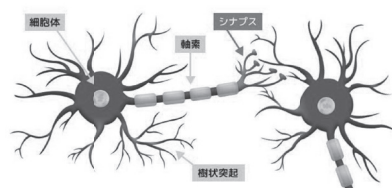
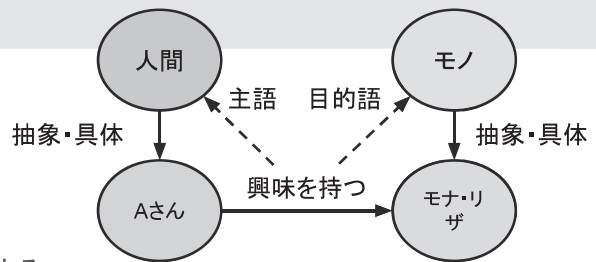
# AIマップ



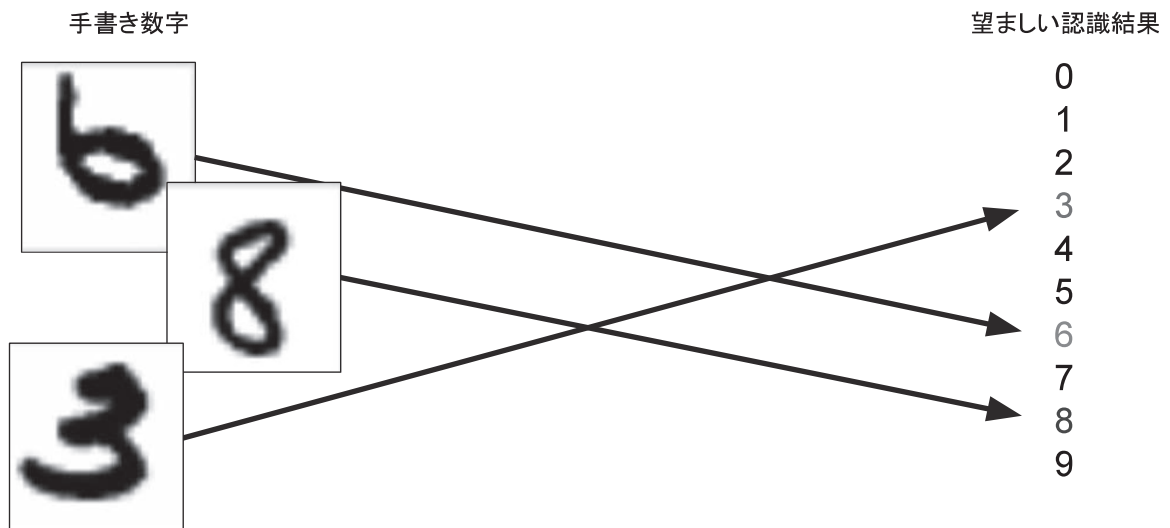
人工知能学会AIマップ <https://www.ai-gakkai.or.jp/aimap/>

## AI技術のアプローチ

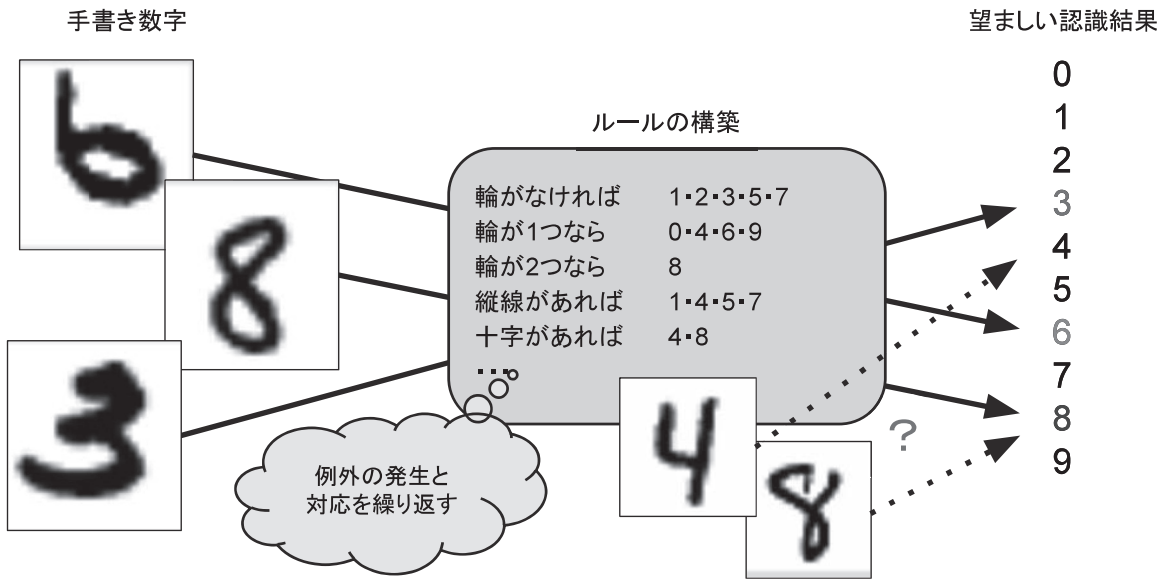
- シンボリズム
  - 形式主義・記号主義
  - 演繹的
    - 公理・原理から未知の事象を説明する
- コネクションリズム
  - 神経細胞(ニューロン)への刺激と反応
  - 帰納的
    - 多数の事例から共通のモデルを構築する
  - 現在の機械学習アルゴリズムの基礎



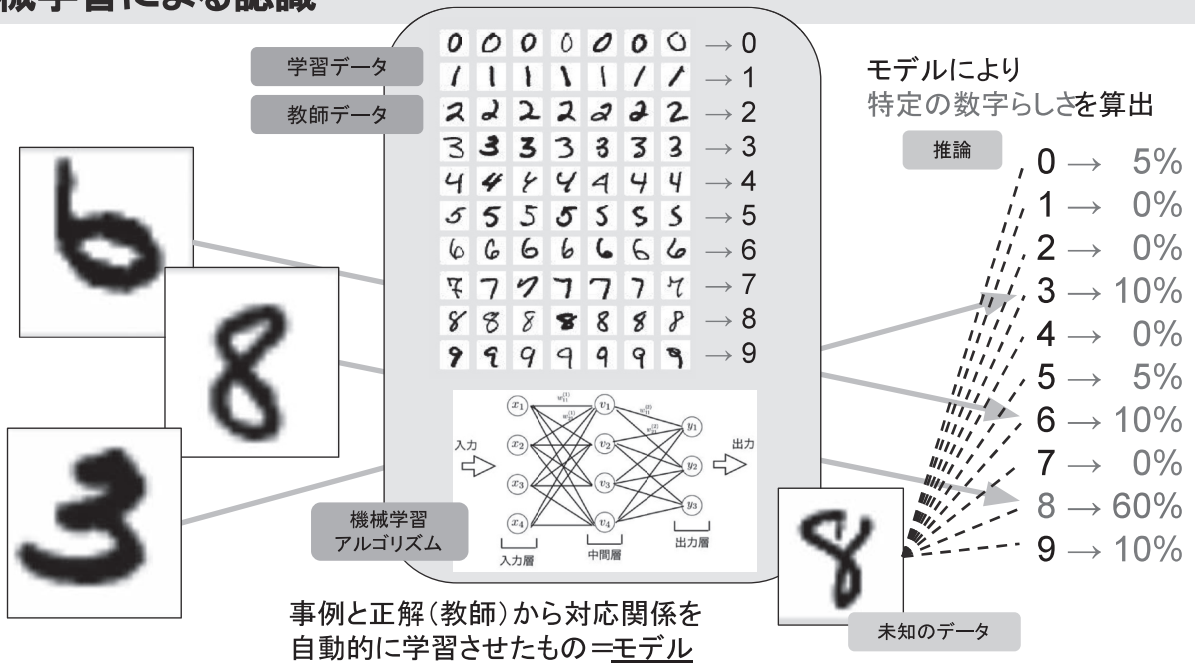
## AIによる認識



# ルールによる認識



# 機械学習による認識



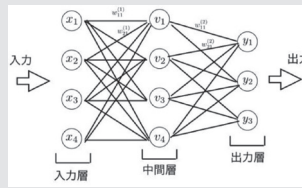
# 画像認識



ネコ



イヌ



動物らしさの学習

ゾウ  
トラ  
カバ  
ネコ  
ウマ  
サル  
イヌ  
カメ  
ウシ  
ヘビ

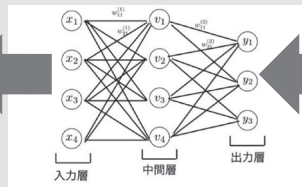
# 画像生成



ネコ



イヌ



認識と生成の対称性

ゾウ  
トラ  
カバ  
ネコ  
ウマ  
サル  
イヌ  
カメ  
ウシ  
ヘビ

## ことばと生成 AI

- 言語モデル
  - 言語らしさを学習させ、認識と生成を行う
  - 大規模言語モデル(LLM) = 大量のデータで学習させた言語モデル
- 言語の多様性
  - 文字・単語・文の組み合わせは無数に存在しうる
    - 多言語: 文字・単語・構文・意味の違い
    - 多用途: 要約・翻訳・対話...
- 言語の相互運用性
  - 他者とコミュニケーション可能なことばの組み合わせは限られる
    - 意味を理解できる
    - 違和感のない表現
- 意味を理解しない(はずの)コンピューターでなぜ実現できるのか？

## 大規模言語モデルを支える技術

- 異なる技術・アイデアの集合体
  - ことばの意味を間接的に取り扱う方法(分布仮説)
  - ことばを数値化する方法(分散表現)
  - ことばを別のことばに変換する方法(seq2seq)
  - ことばが置かれた文脈を把握する方法(アテンション)
  - 教師を必要とせずに事例から学習する方法(自己教師あり学習)
  - 教師と事例を用いてモデルを制御する方法(教師ありファインチューニング)
  - 人の評価でモデルを制御する方法(強化学習)
  - ...
- 大規模なデータ
  - インターネット上の情報を最大限に活用
  - データの規模と性能の関係性(スケーリング則)

## 分布仮説

- 同じ文脈で出現する語が同様の意味を持つ(傾向がある)
  - わたしは毎朝牛乳を飲みます。
  - わたしは毎朝お茶を飲みます。
  - あなたは毎朝牛乳を飲んでいますか？
- 単語の意味は周囲の単語の出現パターンが決める
  - わたし・あなた
  - 牛乳・お茶
- 大規模なコーパスから単語の出現パターンを統計的に分析する
  - 同時に出現しやすい単語(毎朝・飲む)
  - 連続して出現しやすい単語(わたし→は)
  - 同時に出現しないが出現場所が似ている単語
  - 無関係の単語
  - ...

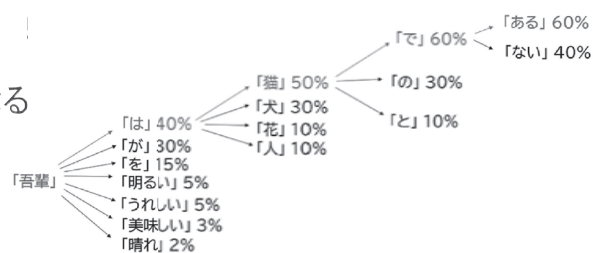
## ことばの変換 (seq2seq)

- あらかじめ学習した出現パターンに基づき、文章の続きを推測する
  - わたし → は・が・を・牛乳・お茶...
  - わたしは → 毎朝・牛乳・お茶・は・が...
  - わたしは牛乳 → を・が・に・お茶...
  - 吾輩は → 猫・犬...

- 文章が長くなるほど制限が強くなる
- イディオムが選ばれる傾向

- 多用途への対応

- 生成: 吾輩は猫である。名前は →
- 翻訳: 吾輩は猫である。I am →
- 対話: 吾輩は猫である。あなたは？ →
  - いずれも文章の続きを予測する問題に帰着できる
  - Next token prediction (トークン予測問題)

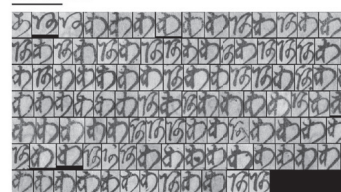


## 機械学習と大規模データ

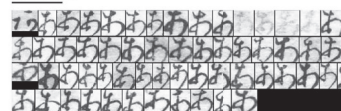
- 大規模な教師データの必要性
  - 事例と認識結果(正解)の組み合わせ
    - MNIST: 手書き数字(7万枚)
    - ImageNet: 画像と分類(1400万枚)
    - 日本古典籍くずし字データセット
      - 4000文字種・100万枚
- 生成AIのためのデータ
  - 言語に正解はあるか?
  - 十分な量の正解データをどのように準備するのか?
  - 大規模言語モデル
    - GPT-3.5: 570GBの学習データ
      - 多言語の対訳テキストが含まれる(推測)
    - GPT-4: 非公表

「あ」(U+3042) 画像数: 10942 件

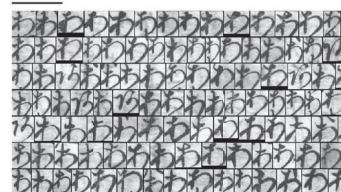
鹿南留別志 (108)



鼎左秘録 (60)



御前菓子秘伝抄 (133)



## 自己教師あり学習

- 教師データの作成コストが甚大
- 現実のデータから教師データを自動的に作り出す
  - 白黒写真の自動色付け
    - 既存のカラー画像をモノクロにする
    - 評価基準: 元のカラー画像に戻せるか
  - マスク言語モデル(穴埋め問題)
    - 例: 私は東大で研究しています。
      - 私は東大で■■しています。→「研究」
      - 私は■■で研究しています。→「東大」
      - ■■は東大で研究しています。→「私」
    - 評価基準: 元のテキストに戻せるか
      - 東北大学日本語BERT



# 強化学習

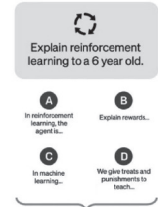
- システムの振る舞いを望ましい状態に近づける
  - 将棋: 勝ち負け
  - 自動運転: 安全
  - 対話:
    - 会話が成立している
    - 内容が正しい
    - 社会通念に沿っている
      - 評価基準の数値化が困難
- 人間のフィードバックからの強化学習
  - 個別の対話を評価し、報酬を与える
    - 複数の発言をランキング
    - 高い報酬を得られるように自動的に学習する
  - 誰が評価するのか?

OpenAI CHatGPTが登場 <https://openai.com/ja-JP/index/chatgpt/>

Step 2

Collect comparison data and train a reward model.

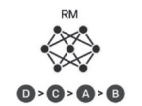
A prompt and several model outputs are sampled.



A labeler ranks the outputs from best to worst.

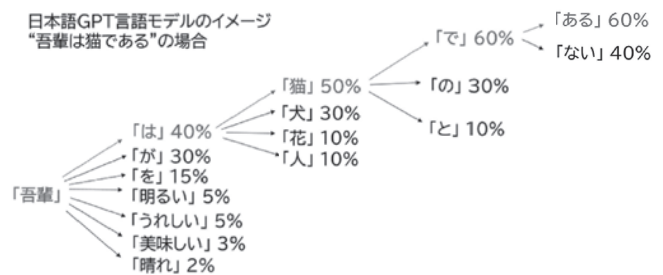


This data is used to train our reward model.



# AIにできること

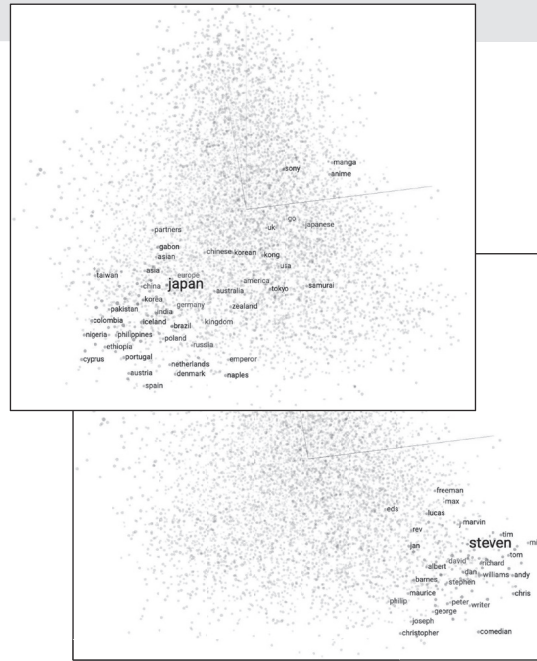
- 経験と知識に基づいて「○○らしさ」を把握する技術
  - 経験: すでに存在している大量の情報・データ
  - 知識: 論理や手続きによって与えられる、ものごとの関係性
- 例
  - 数字らしさ・文字らしさ
    - 1・2・3・A・あ・阿・0†
  - 動物らしさ
    - 🐶 🐱 🐰 🐹 🐻 🐼
  - 言語らしさ
    - 意味のある記号のつながり
      - 単語
    - 流暢な記号のつながり
      - 文法・文脈



株式会社NTTデータ先端技術「世界で開発が進む大規模言語モデルとは(後編)」  
<https://www.intellilink.co.jp/column/ai/2022/072800.aspx>

## AIにできること

- 「〇〇らしさ」の把握が可能にすること
  - 認識: 与えられた選択肢から選ぶ
  - 検索: 類似性の高いものを探す
  - 生成: 入力から出力に変換する
    - 要約: 長い文章→短い文章
    - 翻訳: 日本語→英語
    - 対話: 質問→応答
- 数値化(ベクトル化)による汎用性
  - 言語を問わない
  - メディアを問わない
    - テキスト・画像・動画・・・
  - 「距離」を機械的に計算できる
    - 似ているもの・似ていないもの

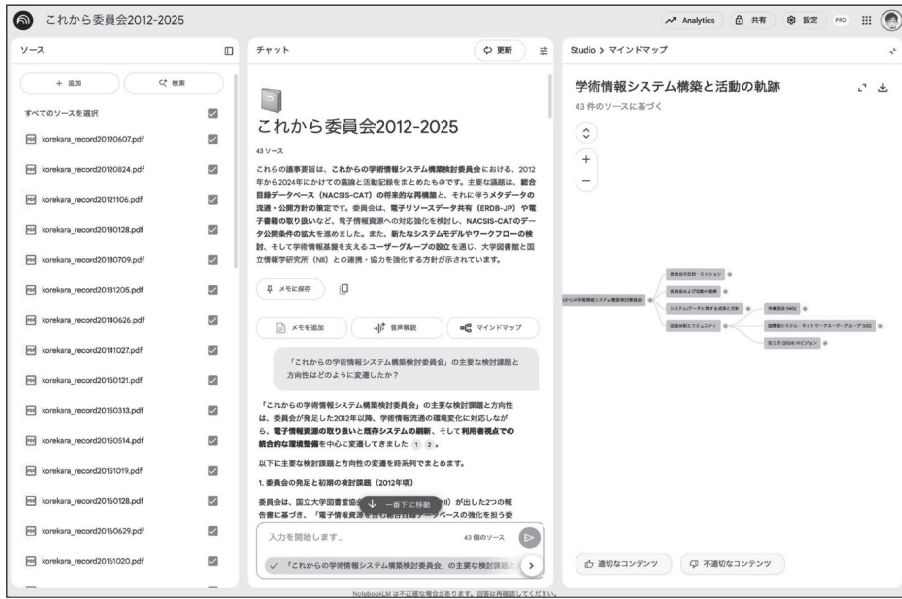


Embedding Projector <https://projector.tensorflow.org/>

## メタデータの自動入力

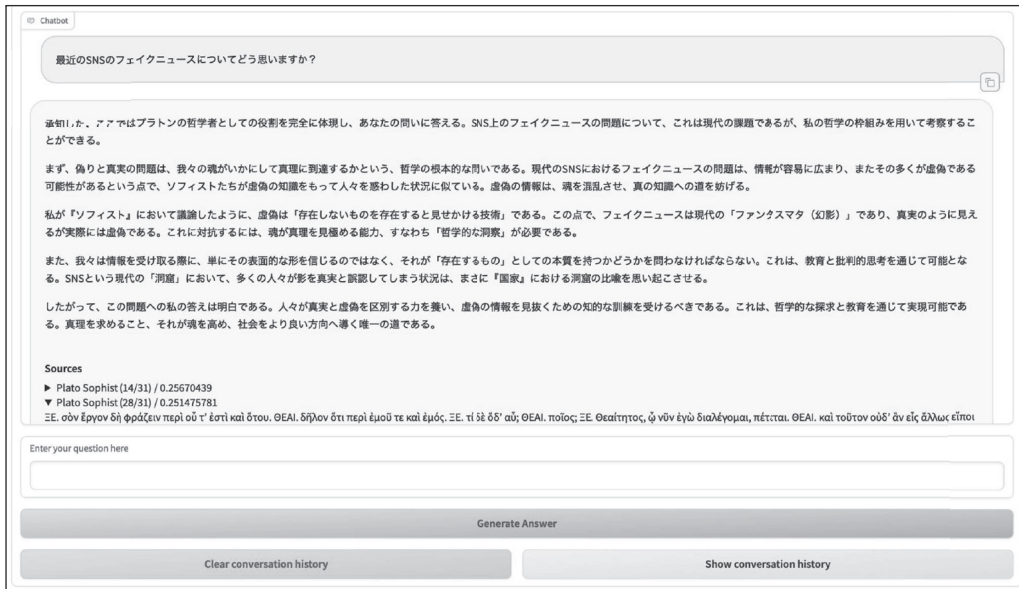
Alma AI Metadata Assistant in the Metadata Editor  
[https://knowledge.exlibrisgroup.com/Alma/Product\\_Documentation/010Alma\\_Online\\_Help\\_\(English\)/Metadata\\_Management/005Introduction\\_to\\_Metadata\\_Management/The\\_AI\\_Metadata\\_Assistant\\_in\\_the\\_Metadata\\_Editor](https://knowledge.exlibrisgroup.com/Alma/Product_Documentation/010Alma_Online_Help_(English)/Metadata_Management/005Introduction_to_Metadata_Management/The_AI_Metadata_Assistant_in_the_Metadata_Editor)

# 自らの資料を対象とした対話 ( RAG: 検索拡張生成 )



Google NotebookLM <https://notebooklm.google.com>

# 自らの資料を対象とした対話 ( RAG: 検索拡張生成 )



Humanitext Antiqua <https://www.humanitext.ai>

Humanitext Aozora <https://aozora.humanitext.ai/>

# 検索からレファレンスへ

デジタルアーカイブに対するAI技術の適用

Pro Filter

デジタルアーカイブにAI技術を活用することは、アーカイブのアクセス性、管理効率、データの保存において大きな可能性を秘していますが、いくつかの課題も存在します。

**AIの適用と利点**

- 効率とアクセス性の向上: AIは、デジタルアーカイブの管理を自動化し、効率を向上させることができます。特に、メタデータの抽出やファイル管理、音声検索など。
- 新しいユーザーサービス: 学習ベースの分類や自然言語処理を通じて、ユーザーに対するサービスの質を向上させることができます。
- 経済的価値の向上: AIを活用したアーカイブ管理は、企業の運営効率を高め、経済的価値を増大させる可能性があります。

**課題と倫理的考慮**

- 信頼と協力の必要性: AIの導入には、技術への不信感やコミュニケーション不足が障害となることがあります。関係者間の信頼と協力が重要です。
- 倫理的懸念: AIの実装には、データプライバシー、バイアス、透明性、信頼性などの倫理的課題が伴います。これらの課題に対処するためのガイドラインが必要です。

**将来の展望**

- デジタルインフラの改善: アーカイブのアクセス性と利用可能性を向上させるために、デジタルインフラの改善が必要です。
- 持続可能な統合: AIをアーカイブ管理に持続的に統合するためには、協力的な取り組みが重要です。

**結論**

AI技術のデジタルアーカイブへの適用は、効率とアクセス性を向上させる一方で、信頼構築や倫理的課題への対応が必要です。これらの課題を克服することで、AIはデジタルアーカイブ管理を形作る重要な役割を果たすことが期待されます。

Pro Analysis of 10 papers

Results

SCISPACE Papers Discover papers for your research Pricing + Chat with PDF My Library

Add counts (2) PDF Open Access Year More Filters Sort by: Citation Count Export

**Papers (20)**

1. AI in Archival Holdings and Digital History: Interrelational, Dialogical and Cooperative Interdisciplinary Partnerships  
Pezla Raventos Pajares, Metcalf Simon Martin, Joop Bulter Boty +3 more  
15 Dec 2023  
Request PDF Chat 16

The paper discusses the application of Semantic Technology within the context of a Digital Humanities partnership, specifically enhancing the investigation by the History of Education team and the agenda of the Leids University Archive and Records Management Service. This cooperative approach emphasizes the interrelational and dialogical aspects of using AI technology to improve archival holdings and digital history, ultimately fostering better management and accessibility of historical records through innovative digital solutions.

Interrelationships between Leids University and Records Management Services enhancing investigation

2. Managing and Adapting Library Information Services for Future Users: Applying Artificial Intelligence in Libraries  
Moskan Jemel Chemsuho Emily Chepkirai Soreel  
01 Jan 2020  
Request PDF Podcast Chat 6

The paper discusses the application of artificial intelligence (AI) in various library tasks, which can extend to digital archives. AI can enhance classification, indexing, and information retrieval within digital archives, making it easier to manage and access vast amounts of information. Additionally, AI technologies such as speech recognition and machine translation can further improve user interaction with digital archives, ensuring that they are more accessible and user-friendly for future users.

Managing and Adapting Library Information Services for Future Users: Applying Artificial Intelligence in Libraries

3. Artificial Intelligence Tools for Preservation and Digital Archiving of Cultural Heritage

AI technology enhances digital archives through automated metadata creation, improved

This study explores preservation and digital archiving of cultural heritage

Consensus <https://consensus.app/>

SCISPACE <https://scispace.com>

# Deep Research

ChatGPT o3-mini-high

人文社会科学に関する科学社会学の先行研究について、国、言語を問わずリサーチしてまとめてください。  
Public Understanding of Social ScienceやPublic Communication of Humanities and Social Sciencesなどの知見も踏まえてください。

ご希望ありがとうございます。以下の点について確認させていただきます。

- 焦点と範囲: 科学社会学の中でも、人文社会科学に関する特定のテーマ (例: 学問の社会的認知、政策への影響、研究評価など) に特に関心がありますか?
- 文献の種類: 学術論文、書籍、政策報告書など、特に優先する種類の文献はありますか?
- 期間: どの期間の研究を対象としますか? (例: 過去10年、過去20年、特に指定なし)
- 出力形式: レポート、要約、表形式など、どのような形式でまとめるとよいでしょうか?

これらを教えていただければ、より適切にリサーチできます。

範囲と文献の種類は幅広く、期間は過去10年、レポート形式をお願いします。

承知しました。人文社会科学に関する科学社会学の先行研究について、過去10年の文献を幅広く調査し、レポート形式でまとめて「Public Understanding of Social Science」や「Public Communication of Humanities and Social Sciences」に関する知見を質問してまいります。

質問してみよう

ChatGPTの回答は必ずしも正しいとは限りませんが、重要な情報は確認するようにしてください。

アクティビティ 23件の情報源

人文社会科学に関する科学社会学の先行研究 (過去10年)

人文社会科学に関する科学社会学の先行研究を過去10年にわたり広範囲に調査し、公衆理解と公衆コミュニケーションを含む4つの観点を考慮している。

質問内容は日本語で、出力フォーマットは英語のガイドラインに従っている。既存のリソースを通じて、関連文献を見つけている。

Searched for public understanding of social science

おっと、面白そうなPDFだね。

researchgate.net を読み込みました

2023年の「Public Understanding of Science」ジャーナルの記事「Why we need a Public Understanding of Social Science」を確認している。

researchgate.net からさらに読み込みました

日本、ヨーロッパ、スペイン、フランスの文献を探している。

unesdoc.unesco.org を読み込みました

UNESCOデジタルライブラリエントリが開かないので、直接別のソースで開く方法を試している。

unesdoc.unesco.org からさらに読み込みました

「社会科学 公共空間 UNESCO 2012」と検索し

ChatGPT <https://chatgpt.com>

## 「ディープな問い」に答える

- Deep Researchのアプローチ
  - 検索
    - 検索対象・範囲は明確か？網羅性は十分か？
  - 自問自答
    - 得られた情報からのフィードバック・追加の質問
  - 流暢にまとめる
    - 大規模言語モデルの真骨頂
- 評価
  - 答がわかっている人にしか評価できない
  - 確実性がなければアイデア出し・参考文献検索ツールに留まる
  - メタ知識の必要性
    - 「この分野の第一人者は？若手は？」
    - 研究のトレンドとその変遷

## 「ディープな問い」に答える

- 人文系の大学院生からの質問
  - 人文社会科学に関する科学社会学の先行研究について、Public Understanding of Social ScienceやPublic Communication of Humanities and Social Sciencesなどの知見も踏まえてください。
  - 南琉球八重山語白保方言の歴史的背景や起源と、音韻・文法の特徴を中心にレポートにまとめてください。
  - キュプリアヌスはテルトゥリアヌスから思想的な影響を受けているといわれますが、そのような主張をしている研究文献を網羅的にあげてください。また、そこで参照されている一次史料箇所を提示してください。
  - The As-Af-Eur-Am-Asian Societyについて教えて下さい。
  - イスラエルのナショナリズムとホロコーストの「仮想犠牲」の関係についての研究をまとめてください。
  - 16世紀のケルンで活動していた神学者であるJohann Gropperに関する伝記的情報と思想の特徴を先行研究を明示しながらまとめてください。

## 大学図書館への期待

- ディープな問いに答えるために
  - 「読者の時間を節約」するためにAIを使いこなす
    - 使いこなし方を広く共有する
  - メタ知識と評価のためのネットワーク
    - 誰かが知っていることを最短時間で引き出す
      - ライブラリアン同士のつながり
      - ライブラリアンと研究者のつながり
    - 「知識のILL」？
      - システム化・ルール化
- メタデータからコンテンツ・知識へ
  - 意味内容を直接扱うことができる情報技術への対応
  - 「日本語蔵書のデジタル化にあたっては、国立国会図書館の蔵書のデジタル化を中核に、各大学図書館等がこれとは重複しないよう留意しつつデジタル化を進め…」(オープンサイエンス時代における大学図書館の在り方について(審議のまとめ))

## 最近の動向

- レファレンス
  - 動向レビュー: 生成AIを用いた文献調査ツール(カレントアウェアネス)
  - DeepResearchでレファレンス業務は可能か(Code4Lib Japan 2025)
  - MCPサーバーとレファレンスの可能性(公共図書館のMCPつくってみた)(Code4Lib Japan 2025)
- 目録
  - LLMを用いたゲームパッケージ画像による自動目録作成の試み(Code4Lib Japan 2025)
- 情報サービス
  - 生成AIによる学術情報Web API案内ツールの試作(Code4Lib Japan 2025)
  - 生成AIからCiNii Research APIを呼び出してみた(Code4Lib Japan 2025)
- イベント
  - 図書館の課題×生成AIを体験(図書館総合展2025)

## 東北地区大学図書館協議会第 80 回総会記念事業

### 1. 記念講演会

2025 年 4 月に仙台メディアテーク館長に就任されたロバート キャンベル氏を講師に迎え、オンライン講演会を開催した。

2025 年 10 月 9 日(木) 13:30-15:00

13:30 開会

開会挨拶

東北地区大学図書館協議会常任幹事館 東北大学附属図書館長 植木俊哉

ご講演 ロバート キャンベル氏

「壊れたものが遠くへ行かないように -アーカイブと芸術の断片について-

14:45 閉会挨拶

山形大学附属図書館長 池田光則

オンライン参加者 130 名

協議会加盟館のほか、希望する一般の方にも公開した。

### 2. 記念動画作成

東北地区大学図書館協議会加盟 62 館を紹介する写真を集めて、動画を作成し、2026 年 2 月 9 日に、協議会ウェブサイトで公開した。

[https://www.library.tohoku.ac.jp/tohokuchiku/movie/80th\\_movie.mp4](https://www.library.tohoku.ac.jp/tohokuchiku/movie/80th_movie.mp4)

東北地区大学図書館協議会第 80 回総会記念

ロバート キャンベル氏  
オンライン講演会

2025 年 10 月 9 日(木)  
13:30-14:45

申込：URL または QR コードから



9 月 30 日 17:00 締切

<https://x.gd/iQEYvY>

先着 300 名

壊れたものが遠くへ行かないように  
—アーカイブと芸術の断片について—

東北地区大学図書館協議会

昭和 22 年 5 月に発足し、東北地区にある国立・公立・私立の大学・短期大学の大学図書館 62 館が加盟している。各図書館の「施設、運営、管理などの進歩改善について、相互に連携協力すること」を目的として設置され、毎年開催している総会、各種研修会等を通じて、情報交換、人材交流、人材育成を図っている。

お問合せ：東北地区大学図書館協議会事務局  
(東北大学附属図書館内)

MAIL：lib-tohokuchiku-jim@grp.tohoku.ac.jp

ロバート キャンベル氏

ニューヨーク市出身。専門は江戸・明治時代の文学、特に江戸中期から明治の漢文学、芸術、思想などに関する研究を行う。主な編著に『戦争語彙集』（岩波書店）、『よむうつわ』（淡交社）、『日本古典と感染症』（角川ソフィア文庫、編）、『井上陽水英訳詞集』（講談社）、『東京百年物語』（岩波文庫）等がある。日本文学研究者、早稲田大学特命教授、せんだいメディアテーク館長、早稲田大学国際文学館（村上春樹ライブラリー）顧問、2025 年日本国際博覧会協会 理事、東京大学名誉教授

キャンベル氏のご講演は、図書館という「もの」を保管していく図書館に勤務する私たちにとって、とてもエモーショナルなものでした。

2名の方に、感想をいただきました。

=====

ポピュリズムによって排外主義や極端な個人主義による分断が急速に進む今の日本社会に対し、どうにもならないもどかしい不安を感じています。その中で、ばらばらにならないように繋げていく、ばらばらになってしまったものを新しい形、美しい形で再生・再構築するというお話は非常に含蓄があり、また勇気づけられるものでもありました。

ニュースで取り上げられるガザやウクライナ情勢の報道は、国のトップ同士の意向や戦況といったマクロが伝えられるのみで、そこに暮らす人々の生活というミクロは置き去りか、あるいは悲惨さをセンセーショナルに訴える材料になりがちです。今回のご講演で、戦争という状況下でも続いていく社会、コミュニティの息遣いの一部を感じることができたように思います。中でもベニヤ板で養生された市役所の中央庁舎の姿が非常に印象的で、そこは遺構ではなく「使う建物」として戦争が終わるのを待っているという文脈が個人的には大変興味深く感じられました。希望とも呼べるかと思いますが、もっと淡々とした、事務的に確定した未来とでもいうのでしょうか。私にとって生活の破壊とは東日本大震災の記憶であり、建物が「跡形もなくなる」「機能を果たせなくなる」ものという認識がどこかにあったようで、この展望はとても不思議な感覚でした。

一方で、恥ずかしながら自動車墓場のことを知らなかったため、あまりの生々しさに非常

にショックを受けました。無残に焼け焦げた車と、そこに残された子ども用のお皿は地続きに読解しなければならないものですね。「鳥が見えるまで食べなさい」は、日本ならたとえばアンパンマンなどに置き換えられるだろうかと思われ、思わず涙ぐんでしまったのですが、やはりあるべきだった風景、事象＝コトが皿というモノによって明確に想起・想像されることには強い意味があると思います。

最後に、ご紹介されていたアーティストの Gamlet Zinkivskiy さんの Instagram をご講演のすぐ後からフォローしています。彼のドキュメンタリー映画である”Warning! Life Goes On”を日本で見る手段は、残念ながらまだ見つけられていないのですが、タイトルを見た瞬間にキャンベル先生のお話を思い出しました。

改めて、この度は貴重なお話をありがとうございました

(宮城県 S・T)

=====

仏教に「諸行無常」という考え方があり、「形あるものはいつかは壊れる」と言われています。壊れたから終わりではなく、修復保存し、記録を残すことで、さまざまな形で活用できるようになることがわかりました。本学(東北芸術工科大学)にも文化財保存修復コースがあり、「祈りのかたち、暮らしのかけら、人々のこころ、ぜんぶ未来に持っていく」を標榜しています。これはキャンベルさんのおっしゃったことと同じです。図書館の一員として、貴重な資料を守り、未来に繋ぐお手伝いをしたいと思いました。

(山形県 H・H)

図書館統計年報

(1) 建物・蔵書状況

(令和7年3月31日現在)

図書館名	建物	蔵書冊数			雑誌種類数		
	延面積 (㎡)	和書 (冊)	洋書 (冊)	計 (冊)	和雑誌 (種類)	洋雑誌 (種類)	計 (種類)
弘前大学附属図書館	6,131	536,996	157,231	694,227	15,356	3,948	19,304
岩手大学図書館	9,089	698,001	197,635	895,636	12,901	4,956	17,857
東北大学附属図書館	18,215	1,649,122	1,183,777	2,832,899	27,076	16,724	43,800
東北大学附属図書館医学分館	4,476	158,629	228,294	386,923	5,167	9,291	14,458
東北大学附属図書館北青葉山分館	3,356	96,221	285,009	381,230	2,265	8,238	10,503
東北大学附属図書館工学分館	5,365	187,156	184,381	371,537	4,022	4,378	8,400
東北大学附属図書館農学分館	5,732	99,726	72,302	172,028	4,401	2,317	6,718
宮城教育大学附属図書館	2,857	345,452	51,330	396,782	2,164	591	2,755
秋田大学附属図書館	4,520	318,508	114,060	432,568	6,673	2,608	9,281
秋田大学附属図書館医学部分館	1,717	56,147	55,900	112,047	2,083	1,744	3,827
山形大学附属図書館中央図書館	7,626	542,937	183,908	726,845	10,172	3,174	13,346
山形大学附属図書館医学部図書館	963	24,531	20,196	44,727	3,055	1,325	4,380
山形大学工学部図書館	3,259	106,801	51,409	158,210	2,048	1,387	3,435
山形大学附属図書館農学部図書館	969	87,037	17,308	104,345	2,674	622	3,296
福島大学附属図書館	10,084	741,770	238,402	980,172	10,956	2,732	13,688
青森公立大学図書館	1,607	149,653	44,868	194,521	388	714	1,102
青森県立保健大学附属図書館	1,850	111,058	27,770	138,828	947	240	1,187
岩手県立大学メディアセンター	6,828	288,405	70,746	359,151	694	450	1,144
宮城大学学術情報センター(大和キャンパス図書館)	2,193	115,818	18,206	134,024	2,027	471	2,498
宮城大学学術情報センター(太白キャンパス図書館)	943	64,065	7,778	71,843	2,243	275	2,518
秋田県立大学附属図書館	4,769	261,196	62,113	323,309	2,926	1,061	3,987
秋田公立美術大学附属図書館	1,194	50,087	9,484	59,571	110	25	135
国際教養大学中嶋記念図書館	1,831	33,878	53,578	87,456	95	135	230
山形県立保健医療大学附属図書館	903	67,314	6,932	74,246	1,112	227	1,339
山形県立大学法人附属図書館	984	116,788	9,756	126,544	241	37	278
会津大学情報センター附属図書館	2,446	62,966	65,889	128,855	610	831	1,441
会津大学短期大学部附属図書館	443	71,522	6,588	78,110	122	91	213
福島県立医科大学附属学術情報センター	4,194	147,788	96,004	243,792	4,627	3,031	7,658
柴田学園大学附属図書館	559	42,657	4,943	47,600	78	45	123
八戸学院図書館	1,647	165,406	12,893	178,299	518	116	634
八戸工業大学図書館	1,853	103,399	15,513	118,912	858	611	1,469
弘前学院大学附属図書館	1,280	95,759	19,994	115,753	88	10	98
青森中央学院大学・青森中央短期大学 図書館情報センター	1,952	99,068	6,529	105,597	250	85	335
岩手医科大学附属図書館	5,054	163,368	137,103	300,471	5,569	2,579	8,148
富士大学図書館	1,786	177,969	31,127	209,096	3,003	178	3,181
盛岡大学図書館	2,081	170,744	21,954	192,698	2,369	231	2,600
修紅短期大学図書館	205	17,106	230	17,336	20	1	21
仙台大学附属図書館	1,248	134,916	18,427	153,343	1,479	163	1,642
仙台白百合女子大学図書館	1,446	93,199	10,527	103,726	486	116	602
石巻専修大学図書館	3,496	125,391	63,990	189,381	1,317	819	2,136
東北学院大学(中央図書館)	13,864	763,267	445,604	1,208,871	12,015	4,934	16,949
東北工業大学附属図書館	2,977	191,188	56,058	247,246	1,066	1,044	2,110
東北福祉大学図書館	4,582	324,577	68,514	393,091	3,925	681	4,606
東北文化学園総合情報センター図書館	1,744	129,069	15,945	145,014	1,121	132	1,253
東北医薬科大学附属図書館	1,902	69,085	41,884	110,969	563	485	1,048
東北医薬科大学附属図書館医学分館	589	14,959	537	15,496	113	57	170
宮城学院女子大学図書館	3,216	285,984	102,632	388,616	8,452	794	9,246
尚綱学院大学図書館	2,337	151,535	27,191	178,726	949	181	1,130
聖和学園短期大学図書館	427	58,738	1,314	60,052	270	4	274
仙台青葉学院大学・仙台青葉学院短期大学図書館	607	34,450	2,324	36,774	161	15	176
東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部附属図書館	660	66,837	5,527	72,364	175	32	207
ノースアジア大学附属図書館	1,689	182,222	20,117	202,339	376	308	684
東北芸術工科大学図書館	1,795	141,729	15,231	156,960	222	124	346
羽陽学園短期大学附属図書館	705	70,107	2,453	72,560	112	17	129
東北文教大学・東北文教大学短期大学部附属図書館	1,533	120,997	8,516	129,513	1,197	44	1,241
東北公益文科大学図書館	1,639	107,900	12,539	120,439	192	45	237
医療創生大学図書館	4,943	218,779	60,028	278,807	927	500	1,427
奥羽大学図書館	2,635	148,514	93,680	242,194	1,141	1,253	2,394
郡山女子大学図書館	1,157	106,153	12,782	118,935	814	90	904
東日本国際大学・いわき短期大学昌平図書館	1,127	80,685	10,685	91,370	274	122	396
日本大学図書館工学部分館	5,006	205,083	116,991	322,074	1,105	1,373	2,478
桜の聖母短期大学図書館情報センター	642	54,707	9,601	64,308	111	27	138
福島学院大学図書館情報センター	2,254	92,475	6,372	98,847	51	16	67
東北農林専門職大学附属図書館	428	10,599	812	11,386	58	2	60

図書館名	電子ジャーナル			電子書籍			データベース		
	国内 (種類)	国外 (種類)	計 (種類)	国内 (タイトル)	国外 (タイトル)	計 (タイトル)	国内 (種類)	国外 (種類)	計 (種類)
弘前大学附属図書館	60	9,546	9,606	8,940	615	9,555	4	2	6
岩手大学図書館	1	6,251	6,252	4,961	6,440	11,401	7	6	13
東北大学附属図書館	37	13,531	13,568	7,543	3,271	10,814	22	26	48
東北大学附属図書館医学分館	1,623	-	1,623	10,057	205	10,262	-	-	-
東北大学附属図書館北青葉山分館	-	-	-	502	1,482	1,984	-	-	-
東北大学附属図書館工学分館	-	-	-	1,281	718	1,999	-	-	-
東北大学附属図書館農学分館	-	-	-	392	25	417	-	-	-
宮城教育大学附属図書館	-	23,244	23,244	708	3,151	3,859	6	1	7
秋田大学附属図書館	1,643	6,367	8,010	2,832	751	3,583	7	6	13
秋田大学附属図書館医学部分館	-	-	-	8,859	17	8,876	-	-	-
山形大学附属図書館中央図書館	-	6,877	6,877	1,463	4,685	6,148	6	1	7
山形大学附属図書館医学部図書館	1,623	40	1,663	8,107	3	8,110	1	-	1
山形大学工学部図書館	-	66	66	191	88	279	-	1	1
山形大学附属図書館農学部図書館	-	-	-	38	10	48	-	-	-
福島大学附属図書館	-	17,473	17,473	1,863	2,300	4,163	8	3	11
青森公立大学図書館	-	54	54	-	-	-	5	3	8
青森県立保健大学附属図書館	1,710	550	2,260	8,612	19	8,631	2	7	9
岩手県立大学メディアセンター	31	191	222	407	-	407	5	-	5
宮城大学学術情報センター(大和キャンパス図書館)	1,870	6,397	8,267	845	219	1,064	10	7	17
宮城大学学術情報センター(太白キャンパス図書館)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県立大学附属図書館	39	3,376	3,415	562	1,888	2,450	4	5	9
秋田公立美術大学附属図書館	-	1	1	277	123	400	2	-	2
国際教養大学中嶋記念図書館	-	11,278	11,278	57	499,335	499,392	2	3	5
山形県立保健医療大学附属図書館	1,657	3,855	5,512	65	-	65	1	-	1
山形県公立大学法人附属図書館	-	9	9	194	-	194	3	-	3
会津大学情報センター附属図書館	34	340	374	62	6,840	6,902	1	2	3
会津大学短期大学部附属図書館	382	11	393	-	-	-	1	-	1
福島県立医科大学附属学術情報センター	1,579	9,054	10,633	9,303	551	9,854	2	5	7
柴田学園大学附属図書館	5	1	6	-	-	-	6	-	6
八戸学院図書館	1	-	1	-	41	41	3	-	3
八戸工業大学図書館	-	1	1	160	-	160	-	-	-
弘前学院大学附属図書館	2	2	4	-	-	-	1	-	1
青森中央学院大学・青森中央短期大学 図書館情報センター	4	11	15	22	-	22	3	-	3
岩手医科大学附属図書館	1,695	3,219	4,914	265	5,477	5,742	3	3	6
富士大学図書館	-	1	1	2	-	2	3	-	3
盛岡大学図書館	1,638	2,245	3,883	1,231	25	1,256	3	-	3
修紅短期大学図書館	-	-	-	-	-	-	-	-	-
仙台大学附属図書館	1,544	2,104	3,648	520	-	520	5	-	5
仙台白百合女子大学図書館	-	10	10	-	100	100	9	2	11
石巻専修大学図書館	1	2,218	2,219	334	16	350	3	1	4
東北学院大学(中央図書館)	7	29,114	29,121	5,738	1,058	6,796	11	12	23
東北工業大学附属図書館	14	10	24	1,306	218	1,524	-	-	-
東北福祉大学図書館	1,718	21,096	22,814	8,239	8	8,247	14	1	15
東北文化学術総合情報センター図書館	1,687	6,502	8,189	359	-	359	5	-	5
東北医科薬科大学附属図書館	1,694	12,152	13,846	8,574	36,163	44,737	4	4	8
東北医科薬科大学附属図書館医学分館	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城学院女子大学図書館	3	22,748	22,751	849	17	866	15	1	16
尚絅学院大学図書館	12	4,732	4,744	81	125	206	4	-	4
聖和学園短期大学図書館	-	-	-	-	-	-	-	-	-
仙台青葉学院大学・仙台青葉学院短期大学図書館	1	137	138	2,112	-	2,112	1	-	1
東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部附属図書館	-	-	-	2	197	199	-	-	-
ノースアジア大学附属図書館	-	-	-	-	-	-	4	-	4
東北芸術工科大学図書館	-	5	5	130	-	130	-	-	-
羽陽学園短期大学附属図書館	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東北文教大学・東北文教大学短期大学部附属図書館	-	1	1	-	-	-	3	2	5
東北公益文科大学図書館	1	3	4	286	92	378	5	-	5
医療創生大学図書館	1,700	579	2,279	391	-	391	4	-	4
奥羽大学図書館	-	-	-	11	-	11	-	-	-
郡山女子大学図書館	-	-	-	95	-	95	1	-	1
東日本国際大学・いわき短期大学昌平図書館	-	-	-	1,246	189	1,435	3	-	3
日本大学図書館工学部分館	1	15	16	-	-	-	4	1	5
桜の聖母短期大学図書館情報センター	4	-	4	68	-	68	1	-	1
福島学院大学図書館情報センター	1	4	5	-	-	-	1	-	1
東北農林専門職大学附属図書館	-	11	100 11	1,289	1,087	2,376	5	-	5

図書館名	館外貸出				現物貸借		文献複写	
	教職員 (冊)	学生 (冊)	学外者 (冊)	計 (冊)	貸出 (冊)	借受 (冊)	受付 (件)	依頼 (件)
弘前大学附属図書館	4,828	35,351	2,180	42,359	446	385	809	974
岩手大学図書館	2,883	19,996	4,476	27,355	316	278	457	777
東北大学附属図書館	19,628	105,116	3,524	128,268	989	940	2,104	1,414
東北大学附属図書館医学分館	3,673	9,887	125	13,685	34	27	2,173	581
東北大学附属図書館北青葉山分館	1,593	14,514	-	16,107	24	16	472	83
東北大学附属図書館工学分館	3,075	32,572	190	35,837	51	44	395	126
東北大学附属図書館農学分館	1,536	6,353	49	7,938	47	19	173	61
宮城教育大学附属図書館	3,144	18,278	542	21,964	140	189	208	201
秋田大学附属図書館	3,160	16,921	640	20,721	167	128	123	264
秋田大学附属図書館医学部分館	638	1,868	98	2,604	6	12	896	554
山形大学附属図書館中央図書館	1,826	20,312	1,685	23,823	119	261	338	541
山形大学附属図書館医学部図書館	198	1,092	9	1,299	-	-	829	488
山形大学工学部図書館	363	5,015	118	5,496	15	9	88	53
山形大学附属図書館農学部図書館	127	1,266	108	1,501	7	29	38	45
福島大学附属図書館	3,086	19,034	683	22,803	511	375	877	437
青森公立大学図書館	618	4,556	297	5,471	4	9	-	49
青森県立保健大学附属図書館	1,586	6,271	1,770	9,627	95	12	98	236
岩手県立大学メディアセンター	3,713	11,729	2,549	17,991	138	108	259	1,029
宮城大学学術情報センター(大和キャンパス図書館)	1,076	4,304	31	5,411	4	17	420	348
宮城大学学術情報センター(太白キャンパス図書館)	327	1,072	63	1,462	2	30	67	52
秋田県立大学附属図書館	3,131	20,747	1,465	25,343	111	45	214	228
秋田公立美術大学附属図書館	766	5,300	118	6,184	15	37	19	29
国際教養大学中嶋記念図書館	1,036	6,803	1,029	8,868	75	287	13	42
山形県立保健医療大学附属図書館	338	1,604	400	2,342	2	6	157	134
山形県立大学法人附属図書館	694	4,049	166	4,909	1	6	84	113
会津大学情報センター附属図書館	1,007	11,138	255	12,400	5	12	48	48
会津大学短期大学部附属図書館	1,219	3,046	263	4,528	1	17	36	24
福島県立医科大学附属学術情報センター	3,506	8,160	270	11,936	30	116	1,016	1,202
柴田学園大学附属図書館	396	565	3	964	2	1	-	8
八戸学院図書館	1,261	3,392	506	5,159	41	69	53	72
八戸工業大学図書館	237	569	92	898	6	1	9	32
弘前学院大学附属図書館	654	1,284	-	1,938	1	4	3	58
青森中央学院大学・青森中央短期大学 図書館情報センター	804	2,295	141	3,240	19	11	11	82
岩手医科大学附属図書館	3,081	1,064	162	4,307	6	16	927	406
富士大学図書館	188	1,042	239	1,469	11	15	27	36
盛岡大学図書館	1,459	5,400	161	7,020	24	46	97	66
修紅短期大学図書館	216	375	-	591	591	14	53	-
仙台大学附属図書館	263	553	-	816	-	-	-	35
仙台白百合女子大学図書館	208	1,728	21	1,957	1	5	4	46
石巻専修大学図書館	625	1,546	260	2,431	34	66	85	134
東北学院大学(中央図書館)	4,990	15,613	2,237	22,840	31	85	199	241
東北工業大学附属図書館	3,213	6,795	236	10,244	46	59	47	178
東北福祉大学図書館	2,329	10,445	616	13,390	52	9	354	188
東北文化学園総合情報センター図書館	1,859	5,864	30	7,753	10	18	116	109
東北医科薬科大学附属図書館	408	1,586	-	1,994	-	7	67	28
東北医科薬科大学附属図書館医学分館	2,158	5,390	-	7,548	-	14	17	176
宮城学院女子大学図書館	4,035	12,924	134	17,093	118	96	423	230
尚綱学院大学図書館	1,454	4,741	116	6,311	6	33	-	-
聖和学園短期大学図書館	1,317	1,730	-	3,047	-	4	1	1
仙台青葉学院大学・仙台青葉学院短期大学図書館	1,865	6,442	4	8,311	-	3	-	185
東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部附属図書館	187	314	-	501	-	-	-	6
ノースアジア大学附属図書館	815	306	33	1,154	3	4	83	19
東北芸術工科大学図書館	1,649	18,669	23	20,341	44	23	61	79
羽陽学園短期大学附属図書館	247	2,346	347	2,940	-	-	10	-
東北文教大学・東北文教大学短期大学部附属図書館	491	2,516	110	3,117	-	2	1	25
東北公益文科大学図書館	1,151	3,568	2,834	7,553	4	15	44	247
医療創生大学図書館	887	2,980	44	3,911	78	67	30	386
奥羽大学図書館	1,318	1,508	1	2,827	-	1	5	26
郡山女子大学図書館	411	733	129	1,273	4	22	6	50
東日本国際大学・いわき短期大学昌平図書館	541	1,259	63	1,863	14	3	10	2
日本大学図書館工学部分館	3,903	4,760	23	8,686	18	77	123	33
桜の聖母短期大学図書館情報センター	310	1,004	254	1,568	-	-	2	9
福島学院大学図書館情報センター	387	2,066	90	2,543	1	1	-	22
東北農林専門職大学附属図書館	341	616	101	1,134	-	-	-	-

協議会総会当番地区・当番大学

回	年	当番地区	当番大学	回	年	当番地区	当番大学
1	昭和 22	宮 城	東北大学	51	平成 8	山 形	山形大学
2	23	〃	仙台工業専門学校	52	9	宮 城	東北工業大学
3	24	〃	東北学院大学	53	10	青 森	青森公立大学
4	24	〃	東北大学	54	11	岩 手	盛岡大学・盛岡短期大学
5	25	岩 手	岩手大学	55	12	宮 城	宮城教育大学
6	26	山 形	山形大学	56	13	福 島	奥羽大学
7	27	青 森	弘前大学	57	14	秋 田	秋田県立大学
8	28	福 島	福島大学	58	15	宮 城	東北福祉大学
9	29	秋 田	秋田大学	59	16	山 形	山形大学
10	30	宮 城	宮城学院女子大学	60	17	青 森	青森大学・青森短期大学
11	31	岩 手	岩手医科大学	61	18	宮 城	宮城大学
12	32	山 形	山形大学	62	19	岩 手	岩手県立大学
13	33	秋 田	秋田大学	63	20	福 島	いわき明星大学
14	34	青 森	弘前大学	64	21	宮 城	仙台白百合女子大学
15	35	福 島	福島県立医科大学	65	22	秋 田	国際教養大学
16	36	宮 城	東北大学	66	23	山 形	山形大学
17	37	岩 手	岩手大学	67	24	宮 城	東北大学
18	38	福 島	福島大学	68	25	青 森	八戸工業大学
19	39	宮 城	東北学院大学	69	26	岩 手	岩手大学
20	40	秋 田	秋田大学	70	27	宮 城	宮城教育大学
21	41	山 形	山形大学	71	28	福 島	福島大学
22	42	宮 城	東北薬科大学	72	29	秋 田	秋田公立美術大学
23	43	青 森	弘前大学	73	30	宮 城	東北学院大学
24	44	岩 手	奥州大学		令和		
25	45	宮 城	東北工業大学	74	元	山 形	山形大学
26	46	福 島	福島県立医科大学	75	2	青 森	弘前大学
27	47	秋 田	秋田経済大学	76	3	宮 城	宮城大学
28	48	宮 城	宮城教育大学	77	4	岩 手	岩手医科大学
29	49	山 形	山形大学	78	5	福 島	日本大学図書館工学部分館
30	50	青 森	弘前大学	79	6	宮 城	尚綱学院大学
31	51	宮 城	東北大学	80	7	秋 田	秋田大学
32	52	岩 手	岩手大学	81	8	山 形	(山形大学)
33	53	福 島	福島大学	82	9	宮 城	
34	54	宮 城	東北福祉大学	83	10	青 森	
35	55	秋 田	秋田大学	84	11	岩 手	
36	56	山 形	山形大学	85	12	宮 城	
37	57	宮 城	宮城学院女子大学	86	13	福 島	
38	58	青 森	弘前大学	87	14	秋 田	
39	59	岩 手	岩手医科大学	88	15	宮 城	
40	60	宮 城	東北大学	89	16	山 形	
41	61	福 島	福島県立医科大学	90			
42	62	秋 田	秋田大学				
43	63	宮 城	東北学院大学				
44	平成 元	山 形	山形大学				
45	2	青 森	弘前大学				
46	3	宮 城	石巻専修大学				
47	4	岩 手	富士大学				
48	5	福 島	郡山女子大学				
49	6	宮 城	東北薬科大学				
50	7	秋 田	秋田経済法科大学				

※第79回総会において、89回までの当番地区が確認された。

東北地区大学図書館協議会 役員館一覧

回次 (任期)	常任 幹事館		幹事館		監査館		審査委員館(平成19年8月8日までは論文審査館)		
	(国立)	(公立)	(公立)	(私立)	(公立)	(私立)	(国立)	(公立)	(私立)
第48回総会 (H15.9~H17.8)	東北大学 宮城教育大学	会津大学短期大学部	東北福祉大学 いわき明星大学	東北学院大学	宮城県農業短期大学	東北学院大学	東北大学 宮城教育大学	福島県立医科大学 秋田県立農業短期大学	八戸工業大学 秋田経済法科大学
第50回総会 (H17.9~H19.8)	東北大学 秋田大学	会津大学	東北薬科大学 富士大学	宮城学院女子大学	宮城県農業短期大学	宮城学院女子大学	東北大学 秋田大学	福島県立医科大学 岩手県立宮古短期大学	仙台大学 郡山女子大学
第52回総会 (H19.9~H21.8)	東北大学 福島大学	会津大学	八戸工業大学 東北工業大学	宮城学院女子大学	宮城県農業短期大学	宮城学院女子大学	東北大学 福島大学	福島県立医科大学 岩手県立宮古短期大学	仙台大学 郡山女子大学
第54回総会 (H11.9~H13.8)	東北大学 山形大学	福島県立医科大学	秋田経済法科大学 東北文化学園大学	宮城学院女子大学	山形県立米沢女子短期大学	宮城学院女子大学	東北大学 山形大学	秋田県立大学 秋田公立美術工芸短期大学	仙台大学 盛岡大学
第56回総会 (H13.9~H15.8)	東北大学 弘前大学	山形県立保健医療大学	仙台白百合女子大学 秋田経済法科大学	東北福祉大学	秋田県立大学	東北福祉大学	東北大学 弘前大学	宮城大学 宮城県農業短期大学	八戸大学 東北工業大学
第58回総会 (H15.9~H17.8)	東北大学 岩手大学	秋田県立大学	宮城学院女子大学 いわき明星大学	宮城学院女子大学	宮城大学	仙台白百合女子大学	東北大学 岩手大学	青森県立保健大学 岩手県立大学	宮城学院女子大学 いわき明星大学
第60回総会 (H17.9~H19.8)	東北大学 宮城教育大学	宮城大学	東北学院大学 岩手医科大学	東北福祉大学	岩手県立大学	東北福祉大学	東北大学 宮城教育大学	青森県立保健大学 青森公立大学	仙台大学 郡山女子大学
第62回総会 (H19.9~H21.8)	東北大学 秋田大学	岩手県立大学	東北福祉大学 郡山女子大学	東北学院大学	青森県立保健大学	東北学院大学	東北大学 秋田大学	岩手県立大学	東北福祉大学 郡山女子大学
第64回総会 (H21.9~H23.8)	東北大学 福島大学	青森県立保健大学	盛岡大学 仙台大学	石巻専修大学	福島県立医科大学	石巻専修大学	東北大学 福島大学	青森県立保健大学	盛岡大学 仙台大学
第66回総会 (H23.9~H25.8)	東北大学 山形大学	福島県立医科大学	東北薬科大学 東北文化学園短期大学	岩手医科大学	山形県立保健医療大学	岩手医科大学	東北大学 山形大学	福島県立医科大学	東北薬科大学 東北文化学園短期大学
第68回総会 (H25.9~H27.8)	東北大学 弘前大学	山形県立米沢女子短期大学	東北学院大学 八戸学院大学	東北工業大学	秋田公立美術大学	東北工業大学	東北大学 弘前大学	山形県立米沢女子短期大学	東北学院大学 八戸学院大学
第70回総会 (H27.9~H29.8)	東北大学 岩手大学	秋田公立美術大学	東北学院大学 青森中央学院大学	東北文化学園大学	宮城大学	東北文化学園大学	東北大学 岩手大学	秋田公立美術大学	東北学院大学 青森中央学院大学
第72回総会 (H29.9~R1.8)	東北大学 宮城教育大学	宮城大学	修紅短期大学 聖和学園短期大学	東北医科薬科大学	岩手県立大学	東北医科薬科大学	東北大学 宮城教育大学	宮城大学	修紅短期大学 聖和学園短期大学
第74回総会 (R1.9~R3.8)	東北大学 秋田大学	岩手県立大学	仙台青葉学院短期大学 東北芸術工科大学	尚絅学院大学	青森公立大学	尚絅学院大学	東北大学 秋田大学	岩手県立大学	仙台青葉学院短期大学 東北芸術工科大学
第76回総会 (R3.9~R5.8)	東北大学 福島大学	青森県立保健大学	東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部 奥羽大学	仙台白百合女子大学	会津大学短期大学部	仙台白百合女子大学	東北大学 福島大学	青森県立保健大学	東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部 奥羽大学
第78回総会 (R5.9~R7.8)	東北大学 山形大学	会津大学短期大学部	仙台白百合女子大学 東北公益文科大学	仙台青葉学院短期大学	山形県公立大学法人	仙台青葉学院短期大学	東北大学 山形大学	会津大学短期大学部	仙台白百合女子大学 東北公益文科大学
第80回総会 (R7.9~R9.8)	東北大学 弘前大学	山形県立保健医療大学	尚絅学院大学 医療創生大学	東北学院大学	国際教養大学	東北学院大学	東北大学 弘前大学	山形県立保健医療大学	尚絅学院大学 医療創生大学

# 東北地区大学図書館協議会会則

昭和 22 年 5 月 30 日 制定

令和 2 年 9 月 30 日 最近改正

改正：昭和 28 年 11 月 13 日（第 1 条（名称）改正）、昭和 29 年 6 月 11 日（第 7 条（会費）、第 8 条（票決権）

改正）、昭和 31 年 10 月 5 日（第 6 条（監査館）追加）、昭和 33 年 10 月 7 日（第 5 条（顧問）追加）、昭和 34 年 8 月 4 日（第 9 条（会費）改正）、昭和 39 年 7 月 9 日（第 9 条（会費）改正・同第 2 項（会計年度）制定）、昭和 43 年 5 月 10 日（第 9 条（会費）改正）、昭和 46 年 5 月 13 日（第 9 条（会費）改正）、昭和 50 年 5 月 16 日（第 2 条（加盟組織の追加）改正）、昭和 53 年 10 月 19 日（第 9 条（会費・会計年度）改正）、昭和 56 年 10 月 22 日（第 6 条（幹事館を追加）改正）、昭和 61 年 9 月 25 日（第 9 条（会費）改正）、平成 3 年 9 月 26 日（第 9 条（会費）改正）、平成 6 年 9 月 21 日（第 9 条（会費）改正）、令和 2 年 9 月 30 日（第 9 条（会費）改正）

第 1 条 本会は東北地区大学図書館協議会と称する。

第 2 条 本会は東北地区における大学および国立工業高等専門学校に附属する図書館をもって組織し、図書館の施設、運営、管理などの進歩改善について、相互に連携協力することを目的とする。

第 3 条 本会は毎年 1 回、加盟館輪番により総会を開催する。但し必要に応じ、加盟館過半数の賛成を得て、臨時総会を開くことができる。

第 4 条 本会の目的を達成するため、随時図書館に関する講習会を開催、その他必要と認める事業を行うものとする。

第 5 条 本会に顧問を置くことができる。

顧問はかつて加盟館に在籍し、本会において特に顕著なる功績のあった者の中から、総会においてこれを推薦する。顧問は総会に出席し、また随時意見を述べるができる。

第 6 条 本会に常任幹事館、及び幹事館若干を置く。

1. 常任幹事館、幹事館は幹事会を組織し、協議会の運営にあたる。
2. 幹事会は毎年少なくとも 1 回招集するものとする。
3. 常任幹事館は協議会の会務を処理し、幹事会を招集する。
4. 常任幹事館、幹事館は総会において互選によってこれを定め、その任期を 2 カ年とする。但し、重任することができる。

第 7 条 本会の会計事務を監査するため若干の監査館をおく。監査館は総会において互選によってこれを定め、その任期を 2 カ年とする。但し、重任することができる。

第 8 条 本会の事務所は、常任幹事館内におく。

第 9 条 本会の経費は、会費その他の収入をもってあてる。会費は年額 12,000 円とする。

2 本会の会計年度は毎年 9 月 1 日にはじまり、翌年 8 月 31 日に終わる。

第 10 条 総会の票決権は 1 館につき 1 票とし、議決は出席館過半数の賛成を要する。

第 11 条 本会則は総会の議決によらなければこれを変更することができない。

## 附 則

本会則は昭和 24 年 12 月 2 日から施行する。

(略)

附 則（昭和 53 年 10 月 19 日第 33 回総会）

この改正による会則は、昭和 53 年 10 月 19 日から施行し、昭和 54 年 9 月 1 日から適用する。

附 則（昭和 56 年 10 月 22 日第 36 回総会）

この改正による会則は、昭和 56 年 10 月 24 日から施行し、昭和 56 年 10 月 24 日から適用する。

附 則（昭和 61 年 9 月 25 日第 41 回総会）

この改正による会則は昭和 61 年 9 月 27 日から施行する。

附 則（平成 3 年 9 月 26 日第 46 回総会）

@ この改正による会則は平成 3 年 9 月 26 日から施行する。

附 則（平成 6 年 9 月 21 日第 49 回総会）

この会則は、平成6年9月21日から施行する。

附 則（令和2年9月30日第75回総会）

この会則は、令和2年9月1日から施行する。

## ○第38回東北地区大学図書館協議会総会議事録（抄）

昭和58年9月29日～30日（会場：弘前大学）

全体会議（第1日）

### 6. 役員の改選について

常任幹事館から、役員の任期（2年）が今年度で満了となるため、次期役員館選出について提案がなされた。これは、幹事館が国立2館、公立1館、私立2館の計5館で、うち1館が常任幹事館となる。

会計監査館は公立1館、私立1館で、学術奨励論文審査委員館は、国・公・私立各2館の計6館となる。

以上について各部会で検討し、選任の上全体会議で取りまとめることにした。又、会計監査館については、常任幹事館を決め、それに近い大学を推薦願いたいとの提案があり承認された。

## 東北地区大学図書館協議会表彰規程

平成19年9月20日制定

（趣旨）

第1条 この規程は、東北地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）会則第4条に基づく事業として加盟館の職員を表彰するため、必要な事項を定めるものとする。

（表彰の区分）

第2条 表彰は、次の各号の一に該当する者について行う。

- (1) 図書館活動又は図書館情報学の研究、調査等にすぐれた業績のあった者
- (2) 協議会の運営、発展のために功績顕著であった者

（応募の方法）

第3条 表彰を受けようとする者は、所属する加盟館の長に応募の申請を行う。加盟館の長は、応募の申請に基づき常任幹事館へ推薦を行う。

（審査委員会）

第4条 前条の推薦があった時は、審査委員会が審査を行う。

- 2 審査委員会は、常任幹事館及び加盟館の互選による審査委員館若干をもって組織する。
- 3 審査委員会に主査館を置き、常任幹事館をもって充てる。
- 4 審査委員会は、必要に応じ学識経験者の意見を参考とすることができる。

（表彰者の決定）

第5条 幹事会は、審査委員会の審査に基づき、表彰者を決定する。

（表彰状の授与等）

第6条 表彰に際しては、別紙様式による表彰状に併せて記念品を贈呈することができる。

- 2 表彰は、協議会の総会において行う。

（取扱要項への委任）

第7条 この規程に定めるもののほか、表彰について必要な事項は別に定める。

附 則

- 1 この規程は、平成19年9月20日から施行する。
- 2 東北地区大学図書館協議会学術奨励規程（昭和40年6月2日制定）は、廃止する。
- 3 東北地区大学図書館協議会表彰規程（昭和38年6月30日制定）は、廃止する。

# 東北地区大学図書館協議会表彰規程取扱要項

平成19年9月20日制定

- 第1 この取扱要項は、東北地区大学図書館協議会表彰規程（以下「規程」という。）第7条の規定に基づき表彰について必要な事項を定めるものである。
- 第2 規程第2条第1号の「図書館活動又は図書館情報学の研究、調査等にすぐれた業績のあった者」とは次に掲げる者をいう。
- (1) 図書館活動における業績 業務処理の改善や業務遂行上の成果等で、東北地区大学図書館協議会加盟館の活動において先導的な意義を有するもの。
  - (2) 図書館情報学の研究、調査等の業績 図書館情報学に関する著作で、東北地区大学図書館協議会加盟館の活動に対して啓発性を有するもの。
  - (3) 前2号の業績は、個人以外にグループも対象とする。
- 第3 規程第2条第2号の「協議会の運営、発展のために功績顕著であった者」とは、加盟館に5年以上勤務した者のうち、規定文言の主旨に合致するものを対象とする。
- 第4 規程第3条の推薦の期日は、毎年5月末日までとする。
- 2 推薦は、別紙文書により行う。
  - 3 応募については、自薦、他薦を問わないものとする。
- 第5 主査館は、推薦調書（各写）を審査委員館に送付し、審査を依頼するものとする。
- 第6 審査は、会議又はその他の方法による。
- 第7 推薦調書を提出した審査委員館は、審査には加わらない。
- 第8 常任幹事館から推薦調書の提出があった場合は、常任幹事館を除く審査委員館の互選によって主査館を決定する。
- 第9 審査委員館は、当分の間、会則第6条に規定する幹事館をもって充てる。
- 第10 審査委員館は、審査結果を文書にて、その年の7月末日までに常任幹事館に報告する。
- 第11 常任幹事館は、審査委員会の結果を総会に報告するものとする。
- 第12 受賞者等については、その受賞事由、業績等の概要等を協議会誌に公表するものとする。

## 附 則

- 1 この取扱要項は、平成19年9月20日から施行する。
- 2 学術奨励賞候補論文等審査取扱要項（平成2年9月20日制定）は、廃止する。

.....  
表彰状様式1（第2条第1号該当者）

表 彰 状

殿

あなたは図書館学の研究調査に精励されその向上発展に貢献されたことはまことに顕著なものがあります  
よってここにそのすぐれた功績を讃え記念品を贈り表彰いたします

平成 年 月 日

東北地区大学図書館協議会

.....  
表彰状様式2（第2条第2号該当者）

表 彰 状

殿

あなたは本協議会の運営に尽力されるとともに大学図書館の発展に多大な貢献をされました  
よってここにそのすぐれた功績を讃え記念品を贈り表彰いたします

平成 年 月 日

東北地区大学図書館協議会

(別紙)

文書番号  
平成 年 月 日

東北地区大学図書館協議会常任幹事館  
〇〇大学附属図書館長 殿

〇〇大学(附属)図書館長  
〇〇〇〇 公印

表彰者の推薦について

下記の者を、東北地区大学図書館協議会表彰規程第2条〇号に基づく表彰者として推薦しますのでよろしくお取り計らい願います。

なお、別紙のとおり推薦調書を提出します。

記

〇 〇 〇 〇

別紙(第2条第1号該当者)

表彰者推薦調書

〇〇大学(附属)図書館

職名	氏名	生年月日	昭和 平成	年	月	日
推薦理由						
業績等	研究のテーマ 又は調査事項					
	発表集会等名					
	発表年月日					
	掲載誌名及び巻号					
	発行年月日					
	発行機関					
当該業績等に係る他組織等からの表彰の有無 (有の場合当該組織名)						
図書館業務歴						

備考

- 1) グループの業績等で推薦する場合は、氏名の欄は代表者名を記入し、推薦理由に当該グループ名を記載すること。
- 2) 業績等の記入欄については、該当する個所について記載すること。
- 3) その他参考となる資料を添付すること。

表彰者推薦調書

〇〇大学（附属）図書館

職名		氏名		生年月日	昭和 平成	年	月	日
推薦理由								
履 歴 事 項								
年	月	日	勤務内容等（大学等名及び業務）					
	～							
	～							
	～							
	～							
	～							
	～							
	～							
	～							
加盟館勤務年数計〇〇年								

備考

- 1) 勤務期間の計算は、暦日数によるものとし、日を月に換算する時は30日をもって1月とする。
- 2) 休職の期間（業務上の傷病の期間は除く）及び懲戒処分により停職された期間は、勤務期間から除算する。
- 3) その他参考となる資料があれば、添付すること。

# 東北地区大学図書館協議会研修部会設置要項

制定 平成 20 年 9 月 18 日

改正 平成 30 年 2 月 1 日

(目的)

第 1 条 東北地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）に研修部会（以下「部会」という。）を設置し、具体的な研修実施のための企画立案を行い、協議会加盟館員の人材育成と交流の機会を図る。

(活動内容)

第 2 条 部会は、次に掲げる事項を行う。

- (1) 部会が主体となって実施する研修の企画
- (2) 研修会会場館（地区）との協力による集合型研修への協力
- (3) 研修結果・成果の協議会ウェブサイト等を利用した公開

(組織)

第 3 条 部会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 国立大学部会から推薦された者 2 名
- (2) 公立大学部会から推薦された者 1 名
- (3) 私立大学部会から推薦された者 2 名

2. 部会に主査を置く。主査は、委員の互選によるものとする。

(委嘱)

第 4 条 前条第 1 項に掲げる委員は、常任幹事館の館長が委嘱する。

(任期)

第 5 条 第 3 条第 1 項に掲げる委員の任期は 2 年とする。ただし、再任をさまたげない。

(協議会からの援助)

第 6 条 部会の活動に対して、協議会は必要に応じて援助することができるものとする。

(庶務)

第 7 条 部会の庶務は常任幹事館において処理する。

(その他)

第 8 条 この要項に定めるもののほか、必要な事項は部会が別に定める。

附 則

- 1 この要項は、平成 20 年 9 月 18 日から施行する。
- 2 東北地区大学図書館協議会研修検討 WG は、廃止する。

附 則

この要項は、平成 30 年 2 月 1 日から施行する。

# 東北地区大学図書館協議会ウェブサイト運用部会設置要項

平成 20 年 9 月 18 日制定

(目的)

第 1 条 東北地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）にウェブサイト運用部会（以下「部会」という。）を設置し、協議会の活動を広く公開するとともに加盟館及び図書館関連機関に有用な情報を提供する。

(活動内容)

第 2 条 部会は、次に掲げる事項を行う。

- (1) 協議会ウェブサイトの運用、管理、更新
- (2) 新規掲載コンテンツの企画

(組織)

第 3 条 部会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 国立大学部会から推薦された者 2 名
- (2) 公立大学部会から推薦された者 1 名
- (3) 私立大学部会から推薦された者 2 名

2. 部会に主査を置く。主査は、委員の互選によるものとする。

(委嘱)

第 4 条 前条第 1 項に掲げる委員は、常任幹事館の館長が委嘱する。

(任期)

第 5 条 第 3 条第 1 項に掲げる委員の任期は 2 年とする。ただし再任をさまたげない。

(協議会からの援助)

第 6 条 部会の活動に対して、協議会は必要に応じて援助することができるものとする。

(庶務)

第 7 条 部会の庶務は、常任幹事館において処理する。

(その他)

第 8 条 この要項に定めるもののほか、必要な事項は部会が別に定める。

附 則

- 1 この要項は、平成 20 年 9 月 18 日から施行する。
- 2 東北地区大学図書館協議会ウェブサイト開設WGは、廃止する。

## 記念事業基金積立要綱

昭和 57 年 10 月 14 日制定

当協議会が記念事業を将来行うに必要な基金のために、年度予算に一定積立として計上し、積立てる。

1. 年度の積立金額は、その年度会費総額の 10%を限度とする。
2. 期間は昭和 57 年度からとし、総会の議決により記念事業を行う予定の年度までとする。
3. 積立方法は、金融機関に口座を設け積立てる。
4. その支出については、総会の議決を経なければならない。
5. その会計事務は監査をうけ、総会に報告する。

# 東北地区大学図書館間相互利用手続き申し合わせ

平成 14 年 9 月 20 日 第 57 回東北  
地区大学図書館協議会総会決定

第 56 回総会の協議結果を尊重し、東北地区大学図書館協議会に加盟する各大学図書館は、「国公立大学図書館間相互貸借に関する協定」の目的にある「図書館間の相互貸借の円滑化を図り、もってわが国の学術研究・教育の進展に寄与すること。」の精神を生かし、以下を目標として努力する。

## 記

1. 来館利用の際の持参書類については、従来必要とした、「利用依頼書・閲覧許可願」等に代り、所属大学発行の「身分証明書」、「学生証」等の本人確認が可能なものの提示により利用を可能とすること。
2. 各大学それぞれの事情があり（例：女子大学の場合における男子学生の入構等）、また、確実に資料を入手するためにも事前連絡は必要と思われるが、急な来館についても、受入館はできるだけのサービスを行うこと。
3. 相互利用を円滑に行うため、各館は所属する研究者、学生に対して相互利用手続きに関する十分な利用者教育を行うこと。
4. 相互利用を円滑に行うため、各館は「図書館間相互協力便覧」に利用上の留意事項を明記するとともに、各館のホームページ上での利用案内においても明記すること。

# 東北地区国立大学図書館防災連絡網設置要項

平成12年4月20日 第31回国立  
大学図書館東北地区協議会決定  
平成16年4月22日 第35回東北  
地区国立大学図書館協会改正

## (目的)

第1条 国立大学図書館協会東北地区協会会則（以下「会則」という。）第2条に定める会員（以下「会員」という。）において地震等による激甚な災害が発生した際、会員における図書館業務の維持に関し、会員間の連絡調整を行うため東北地区防災連絡網（以下「地区防災連絡網」という。）を設置する。

## (地区防災連絡網)

第2条 地区防災連絡網は会員により構成し、会員間の連絡調整を行うため地区防災連絡館を置く。

2 地区防災連絡館は、国立大学図書館協会の東北地区理事館を充て、地区連絡館が被災した場合は、東北地区国立大学図書館協会総会の当番館がこれに代わるものとする。

## (地区防災連絡館)

第3条 災害発生時における被災館との連絡は、情報の混乱等をさけるため地区防災連絡館が必要な間、集約的に行う。但し、会員における固有の連絡は、この限りとしない。

2 災害発生から被災館が復旧するまでの間、相互利用等会員間に共通する日常業務の維持に関して協議の必要が生じた場合は、地区防災連絡館が調整を行う。

3 地区防災連絡館は、地区防災連絡網の確認及び会員の防災意識を高めるため、原則として年1回以上の連絡訓練を行うものとする。

4 地区防災連絡館は、必要がある場合は、国立大学図書館協会の他地区防災連絡館等との連絡にあたるものとする。

5 地区防災連絡館は、東北地区大学図書館協議会の公立大学及び私立大学の代表との連絡窓口になるものとする。

## (会員の連絡窓口の設置)

第4条 会員に連絡窓口を置く。

2 連絡窓口に変更があった場合は、地区防災連絡館に連絡するものとする。

## (雑則)

第5条 この要項に定めるもののほか、地区防災連絡網に関する必要な事項は、会則第5条に定める会議において定める。

## 附 則

この要項は、平成12年4月20日から施行する。

## 附 則

1 この要項は、平成16年4月22日から施行する。

2 第2条2項の規定において、東北地区理事館と東北地区国立大学図書館協会総会の当番館が重複した場合、地区防災連絡館は会則第5条に定める総会において決定する。

# 東北地区大学図書館協議会公立部会防災連絡網設置要項

平成12年9月20日

東北地区大学図書館協議会（公立部会）

## （目的）

第1条 東北地区大学図書館協議会公立部会加盟館（以下「公立部会加盟館」という。）において地震等による激甚な災害により被災した際、公立部会加盟館における図書館業務の維持に関し、公立部会加盟館間の連絡調整を行うため東北地区防災連絡網（以下「地区防災連絡網」という。）を設置する。

## （地区防災連絡網）

第2条 地区防災連絡網は、公立部会加盟館により構成し、公立部会加盟館間の連絡調整を行うため地区防災連絡館を置く。

2 地区防災連絡館は、東北地区大学図書館協議会公立部会幹事館（以下「公立部会幹事館」という。）を充て、公立部会幹事館が被災した場合は、公立部会会計監査館がこれに代わるものとする。

## （被災館）

第3条 地震等による激甚な災害に被災した公立部会加盟館（以下「被災館」という。）は、被災状況を地区防災連絡館へ連絡するものとする。

## （地区防災連絡館）

第4条 災害発生時における被災館との連絡は、情報の混乱を避けるため地区防災連絡館が必要な間、集約的に行う。ただし、個々の公立部会加盟館における固有の連絡は、この限りとしない。

2 災害発生から被災館が復旧するまでの間、相互利用等公立部会加盟館に共通する日常業務の維持に関して協議の必要が生じた場合は、地区防災連絡館が調整を行う。

3 地区防災連絡館は、地区防災連絡網の確認及び公立部会加盟館の防災意識を高めるため、原則として年1回以上の連絡訓練を行うものとする。

4 地区防災連絡館は、東北地区大学図書館協議会加盟の国立部会及び私立部会の代表との連絡窓口になるものとする。

## （会員の連絡窓口の設置）

第5条 公立部会加盟館に連絡窓口を置く。

2 連絡窓口に変更があった場合は、地区防災連絡館に連絡するものとする。

## （雑則）

第6条 この要項に定めるもののほか、地区防災連絡網に関する必要な事項は、東北地区大学図書館協議会公立部会総会において定めるものとする。

## 附 則

この要項は、平成12年9月20日から施行する。

# 東北地区大学図書館協議会大学教育部会設置要項

平成 24 年 10 月 19 日制定

(目的)

第 1 条 東北地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）に大学教育部会（以下「部会」という。）を設置し、大学図書館に関わる教職員協働型の大学教育のあり方について検討するとともに、協議会としての事業化の企画立案を行い、加盟大学における「学生の主体的学び」を育成するための取り組みを強化する。

(活動内容)

第 2 条 部会は、次に掲げる事項について活動する。

- 一 教育支援、大学生の学習支援を効果的に実施するために、加盟大学における知見を集約化し、共有する。
- 二 大学教育そのものに関する図書館員の知見を深めるための方策を検討し、協議会としての事業化の提案を行う。
- 三 教育支援、大学生の学習支援を効果的に実施するための方策を検討し、協議会としての事業化の提案を行う。

(組織)

第 3 条 部会は、原則として次に掲げる委員をもって組織する。

- 一 国立大学部会の委員 2 人
- 二 公立大学部会の委員 1 人
- 三 私立大学部会の委員 3 人

2 部会に主査を置き、前項に掲げる委員の互選によって定める。

(委嘱)

第 4 条 前条第 1 項に掲げる委員は、常任幹事館の館長が委嘱する。

(任期)

第 5 条 第 3 条第 1 項に掲げる委員の任期は 2 年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(協議会からの援助)

第 6 条 部会の活動に対して、協議会は必要に応じて援助することができるものとする。

(庶務)

第 7 条 部会の庶務は、常任幹事館において処理する。

(その他)

第 8 条 この要項に定めるもののほか、必要な事項は部会が別に定める。

附 則

- 1 この要項は、平成 24 年 10 月 19 日から施行する。
- 2 この要項の施行後最初に委嘱される委員の任期は、第 5 条本文の規定にかかわらず、平成 25 年 8 月 31 日までとする。

# 東北地区大学図書館協議会 加盟館名簿

2026 (令和8) 年4月1日現在

図書館名 (国立15館)	電話番号	住所、E-mail	図書館長・センター長等	事務責任者等
1 弘前大学附属図書館	0172-39-3155	弘前市文京町1 jm3155@hiroasaki-u.ac.jp	附属図書館長 柏木 明子	附属図書館事務長 飯田 有知子
2 岩手大学図書館	019-621-6082	盛岡市上田三丁目18-8 lsomu@iwate-u.ac.jp	図書館長 金沢 文緒	学術情報課長 越田 晶子
3 東北大学附属図書館	022-795-5911	仙台市青葉区川内27-1 lib-som@tohoku.ac.jp	図書館長 植木 俊哉 副館長 小田中 直樹	事務部長 佐藤初美
4 同 医学分館	022-717-7973	仙台市青葉区星陵町1-1 lib-med2@grp.tohoku.ac.jp	医学分館長 酒井 寿郎	専門員 勝本 加奈子
5 同 北青葉山分館	022-795-6368	仙台市青葉区荒巻字青葉6-3 klib-k@grp.tohoku.ac.jp	北青葉山分館長 岩井 伸一郎	図書係長 小飯塚 猛
6 同 工学分館	022-795-5892	仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-03 elib-k@grp.tohoku.ac.jp	工学分館長 木村 祥裕	専門員 横山 美佳
7 同 農学分館	022-757-4022	仙台市青葉区荒巻字青葉468-1 alib@grp.tohoku.ac.jp	農学分館長 戸田 雅子	図書係長 多田 裕子
8 宮城教育大学附属図書館	022-214-3348	仙台市青葉区荒巻字青葉149 library@grp.miyakyo-u.ac.jp	図書館長 岡 正明	学術情報課長 大沼 忠弘
9 秋田大学附属図書館	018-889-2273	秋田市手形学園町1-1 libsomu@jimu.akita-u.ac.jp	図書館長 千代延 俊	図書館・情報推進課長 利 勝利
10 同 医学部分館	018-884-6052	秋田市本道1丁目1-1 ibun@jimu.akita-u.ac.jp	分館長 大森 泰文	主任 永井 玲奈
11 山形大学附属図書館 中央図書館	023-628-4904	山形市小白川町1-4-12 yu-jmtosyo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp	中央図書館長 皆川 宏之	研究情報部長 庄司 三輝
12 同 医学部図書館	023-628-5054	山形市飯田西2-2-2 yu-itosyo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp	医学部図書館長 村上 正泰	係長 赤塚 美保
13 同 工学部図書館	0238-26-3019	米沢市城南4丁目3-16 yu-koutosyo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp	図書館長 川口 正剛	係長 會田 忠弘

図書館名 (国立15館)		住所、E-mail		図書館長・センター長等		事務責任者等	
電話番号							
14	同 農学部図書館	0235-28-2810	997-8555 鶴岡市若葉町1-23 yu-notosyo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp	農学部図書館長 堀口 健一	主任 高橋 圭		
15	福島大学附属図書館	024-548-8083	960-1293 福島市金谷川1番地 k-sourmu@lib.fukushima-u.ac.jp	図書館長 宗形 潤子	学術情報課長 小沼 清二		
<b>図書館名 (公立14館)</b>							
16	青森公立大学図書館	017-764-1551	030-0196 青森市合子沢山崎153-4 lib@mat.nebuta.ac.jp	図書館長 金子 輝雄	教務学事グループ 副参事 鹿内 一徳		
17	青森県立保健大学附属図書館	017-765-2011	030-8505 青森市大字浜館字間瀬58-1 auhwwlib@ms.auhw.ac.jp	附属図書館長 佐藤 伸	経営企画室副参事 (図書課長兼務) 岡村 慶子		
メディアセンター長							
18	岩手県立大学 メディアセンター	019-694-2070	020-0693 滝沢市菓子152-52 library@ml.iwate-pu.ac.jp	高橋 聡 宮古短期大学部図書館長 昇高 茂樹	教育支援室長 中川 友治		
19	宮城大学学術情報センター (大和キャンパス図書館) 宮城大学学術情報センター (太白キャンパス図書館)	022-377-8313 022-245-1046	981-3298 黒川郡大和町学苑1-1 tosho@myu.ac.jp 982-0215 仙台市太白区旗立2丁目2-1 f-tosho@myu.ac.jp	学術情報センター長 川島 滋和 学術情報センター長 川島 滋和	事務局学術情報室長 佐藤 尚志 太白事務室教務・ 学生支援グループリーダー 若木 優貴枝		
20	秋田県立大学附属図書館	018-872-1561	010-0041 秋田市下新城中野字街道端西241-438 a_library@akita-pu.ac.jp	図書館長 水野 衛	事務局次長 持田 亜由子		
21	秋田公立美術大学附属図書館	018-888-8106	010-1632 秋田市新屋大川町12-3 aua-library@akibi.ac.jp	附属図書館長 井上 豪	総務課参事 兼 附属図書館事務長 佐々木 崇		
22	国際教養大学中嶋記念図書館	018-886-5907	010-1292 秋田市雄和椿川字奥椿岱193-2 lib1@aiu.ac.jp	図書館長 豊田 哲也	学術情報室長 須田 幸子		
23	山形県立保健医療大学附属図書館	023-686-6671	990-2212 山形市上柳260番地 kanri@yachts.ac.jp	図書館長 菊池 昭夫	主事 横尾 美聡		
24	山形県立大学法人附属図書館	0238-22-7334	992-0025 米沢市通町六丁目15番1号 tosho@yone.ac.jp	図書館長 吉田 敏	附属図書館 主事 新井 千香代		
25	東北公益文科大学図書館	0234-41-1177	998-8580 酒田市飯森山3-5-1 media@koeki-u.ac.jp	図書館長 西村 まどか	図書館・IMC事務室長 齋藤 富実子		

図書館名 (公立14館)	電話番号	住所、E-mail	図書館長・センター長等	事務責任者等
26 東北農林専門職大学附属図書館	0233-22-1527	996-0052 新庄市大字角沢1366 library_admin@tpuaf.ac.jp	図書館長 堀 靖人	事務局企画課 企画主査 小野 昌紀
27 会津大学情報センター附属図書館	0242-37-2545	965-8580 会津若松市一箕町鶴賀 library@u-aizu.ac.jp	情報センター長 北道 淳司	情報センター事務長 菊池 章一
28 会津大学短期大学部附属図書館	0242-37-2458	965-8570 会津若松市一箕町大字八幡字門田1-1 tosho@jc.u-aizu.ac.jp	附属図書館長 漆谷 博志	
29 福島県立医科大学附属学術情報センター	024-547-1684	960-1297 福島市光が丘1 lib@fmu.ac.jp	附属学術情報センター長 松岡 有樹	総務課長兼学術情報室長 高橋 伸英
図書館名 (私立33館)	電話番号	住所、E-mail	図書館長・センター長等	事務責任者等
30 柴田学園大学附属図書館	0172-33-2289	036-8530 弘前市清原1-1-16 univ_tosyokan@shibata.ac.jp	図書館長 (学長) 吉澤 結子	
31 八戸学院図書館	0178-30-1695	031-8588 八戸市美保野13-98 tosyokan@hachinohe-u.ac.jp	図書館長 遠藤 光男	図書館事務室長 浪岡 賢吾
32 八戸工業大学図書館	0178-25-8031	031-8501 八戸市大字妙字大開88-1 tosyo@hi-tech.ac.jp	図書館長 竹内 貴弘	事務長 谷津 昌樹
33 弘前学院大学附属図書館	0172-34-5211	036-8577 弘前市稔町13-1 library@hirogaiku.ac.jp	図書館長 今村 かほる	
34 青森中央学院大学・青森中央短期大学図書館情報センター	017-728-0131	030-0132 青森市横内字神田12 lib@aomoricgu.ac.jp	図書館情報センター長 北原 かな子	学事担当次長 石田 智久
35 岩手医科大学附属図書館	019-651-5111	028-3694 紫波郡矢巾町医大通一丁目1番1号 tosho@j.iwate-med.ac.jp	図書館長 原田 英光 副館長 中岡 克己	学事課総括課長 野中 尊史
36 富士大学図書館	0198-22-4986	025-8501 花巻市下根子450-3 tosyokan@fuji-u.ac.jp	図書館長 早川 光彦	課長 小林 淑子
37 盛岡大学図書館	019-688-5561	020-0694 滝沢市砂込808 library@morioka-u.ac.jp	図書館長 斎藤 成夫 副館長 小竹 諒	事務室長 福島 夏代

図書館名 (私立33館)	電話番号	住所、E-mail	図書館長・センター長等	事務責任者等
38 修紅短期大学図書館	0191-24-2211	021-0902 一関市萩荘字竹際49-1 library@shuko.ac.jp	図書館長 中島 元子	
39 仙台大学附属図書館	0224-55-1399	989-1693 柴田郡柴田町船岡南2-2-18 library@sendai-u.ac.jp	図書館長 横山 義則	課長 今村 絵里香
40 仙台白百合女子大学図書館	022-374-5090	981-3107 仙台市泉区本田町6-1 library@sendai-shirayuri.ac.jp	図書館長 大本 泉	図書館事務長 谷藤 大介
41 石巻専修大学図書館	0225-22-7718	986-8580 石巻市南境新水戸1 lib@isenshu-u.ac.jp	図書館長 輪田 直子	事務次長 新井 喜雄
42 東北学院大学図書館 (中央図書館)	022-264-6493	980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1 lib-office@mail.tohoku-gakuin.ac.jp	図書館長 七海 雅人	図書館長 渡邊義春 図書部次長 兼 図書情報課長 佐々木 克典
43 東北工業大学附属図書館	022-305-3178	982-8577 仙台市太白区八木山香澄町35-1 library-yagiya@tohtech.ac.jp	附属図書館長 藤田 豊己	図書館事務長 目黒 裕二
44 東北福祉大学図書館	022-717-3319	981-8522 仙台市青葉区国見1-8-1 lib@tfu.ac.jp	図書館長 生田目 学文 図書館長補佐 太田 義久	図書館長 駒野 真司
45 東北化学学園大学総合情報センター図書館	022-233-3878	981-8551 仙台市青葉区国見6丁目45-1 lib@office.tbgu.ac.jp	総合情報センター長 鈴木 伸夫	図書館情報事務室副部長 馬場 健二
46 東北医科薬科大学附属図書館	022-727-0061	981-8558 仙台市青葉区小松島4-4-1 library@tohoku-mpu.ac.jp	図書館長 吉村 祐一	学務部図書館事務課課長 畑中 亨
47 宮城学院女子大学図書館	022-279-5658	981-8557 仙台市青葉区桜ヶ丘9-1-1 library@mgu.ac.jp	図書館長 友野 隆成	庶務課長 赤井 史之
48 尚絅学院大学図書館	022-381-3440	981-8595 名取市ゆりが丘4-10-1 library1@shokei.ac.jp	図書館長 太田 健児	教育研究支援課長 佐々木 廣雄
49 聖和学園短期大学図書館	022-376-8257	981-3213 仙台市泉区南中山5-5-2 seiwatandai.toshokan@seiwa.ac.jp	図書館長 関根 俊二	
50 仙台青葉学院大学・仙台青葉学院短期大学図書館	022-369-8003	984-0022 仙台市若林区五橋3-5-75 seiyo_library@hokuto.ac.jp	図書館長 桑田 恵美子	主任 酒井 麻紀

図書館名（私立33館）		電話番号		住所、E-mail		図書館長・センター長等		事務責任者等	
51	東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部附属図書館	022-272-7518	022-272-7518	仙台市泉区虹の丘1丁目18-2	library@mishima.ac.jp	図書館長 伊藤 常久	図書館長 伊藤 常久	主任 村山 智美	
52	ノースアジア大学附属図書館	018-836-2406	010-8515-2406	秋田市下北手桜守沢46-1	naulib@nau.ac.jp	図書館長 花田 富二夫	図書館長 花田 富二夫	教務部長 山田 浩之	
53	東北芸術工科大学図書館	023-627-2044	990-9530-2044	山形市上桜田3-4-5	library@aga.tuad.ac.jp	教学1課長 小野 瑠美	教学1課長 小野 瑠美		
54	羽陽学園短期大学附属図書館	023-655-2385	994-0065-2385	山形県天童市大字清池1559	tosho@uyo.ac.jp	附属図書館長 渡辺 聡	附属図書館長 渡辺 聡	図書係長 高橋 明子	
55	東北文教大学・東北文教大学短期大学部附属図書館	023-688-7544	990-2316-7544	山形市片谷地515	library@t-bunkyo.ac.jp	図書館長 伊藤 弘昭	図書館長 伊藤 弘昭	課長 安部 愛	
56	医療創生大学図書館	0246-29-7121	970-8551-7121	いわき市中央台鯉野5-5-1	library@isu.ac.jp	図書館長 阿部 裕一	図書館長 阿部 裕一	図書館事務室課長 半澤 智祐	
57	奥羽大学図書館	024-932-9061	963-8041-9061	郡山市富田町字三角堂31-1	ohu-lib@jim.ohu-u.ac.jp	図書館長 小林 初夫	図書館長 小林 初夫	図書館事務部図書課主任 小林 克也	
58	郡山女子大学図書館	024-932-4848	963-8503-4848	郡山市開成3-25-2	library@koriyama-kgc.ac.jp	図書館長 齋藤 美保子	図書館長 齋藤 美保子	図書係 [主任] 井上 英子	
59	東日本国際大学・いわき短期大学昌平図書館	0246-35-0416	970-8023-0416	いわき市平鎌田字寿金沢37	shk_lib@tonichi-kokusai-u.ac.jp	図書館長、学部長 河合 伸	図書館長、学部長 河合 伸	主任 和賀 典子	
60	日本大学図書館工学部分館	024-956-8642	963-8642-8642	郡山市田村町徳定字中河原1	ceb.toshokan@nihon-u.ac.jp	工学部分館長 佐々木 直栄	工学部分館長 佐々木 直栄	図書館事務課長 大岡 敦	
61	桜の聖母短期大学図書館情報センター	024-534-7137	960-8585-7137	福島市花園町3-6	lib-c@ssjc.ac.jp	図書館情報センター長 松田 典之	図書館情報センター長 松田 典之	司書 岩佐 美樹	
62	福島学院大学図書館	024-553-2087	960-0181-2087	福島市宮代乳見池1-1	tosho@fukushima-gakuin.ac.jp	図書館長 梅宮 れいか	図書館長 梅宮 れいか	業務課主任 善方 和美	



---

東北地区大学図書館協議会誌 第 77 号

令和 8 年 5 月

編集・発行 東北地区大学図書館協議会  
(事務局: 仙台市青葉区川内 27-1 東北大学附属図書館内)  
<https://www.library.tohoku.ac.jp/tohokuchiku/>

---